



明るい!! 優しい!!

あったかい!! あ



しあわせ信州

笑顔あふれる 村づくり計画

信州 青木村

2022年 第6次青木村長期振興計画

基本構想…令和4年度～13年度

第2期総合戦略…令和4年度～8年度

前期基本計画…令和4年度～8年度



信州青木村

2022年 第6次青木村長期振興計画



笑顔あふれる 村づくり計画

基本構想…令和4年度～13年度
第2期総合戦略…令和4年度～ 8年度
前期基本計画…令和4年度～ 8年度



はじめに

令和4年3月31日より遡ること65年、昭和32年3月31日、青木村は浦里村の一部であった当郷地区と合併し、新生青木村としてスタートしました。この65年間、村民・議会・行政・地区・各種団体が一体となりその力の結晶が今日の青木村であります。

この節目に、村では、村づくりの最も基本となる、第6次青木村長期振興計画を策定しました。本計画は、令和4年度から令和13年度の計画期間で、10年後の青木村の将来像を見据えて、サステナブル（持続可能）な地域として村づくりを進めるためには、「安心・安全」に加えて、「豊かさ・笑顔」を実感できる施策の展開が必要になります。

今後10年間、青木村を取り巻く環境は大きく変わることが予想されます。新型コロナとの共存・克服、国道143号新バイパスの整備、岡石工業地での東証一部上場企業による新工場の開業、五島慶太未来創造館をプラットホームとした東急グループなどとの関係人口の拡大など、大きく変わる環境に対応した村づくりが重要です。

そのため本計画では、村づくりの6つの重点プロジェクトを掲げ、変化する時代と環境にいち早く対応を図るとともに、青木村が発展するための基軸として、この6つの重点プロジェクトを中心に、将来を見据えた施策を着実に実行してまいります。また、時代の潮流でもありますSDGs・ゼロカーボン・DXなど新しい時代の要求にも的確に対応してまいります。

本計画の策定にあたりまして、できるだけ多くの皆さんの参加・意見をいただくなかで作業を進めてまいりました。2,000名に対しての村づくりアンケート、全地区での村づくり懇談会、公募委員を含めた策定審議会、各種団体へのヒアリングやパブリックコメントなど多くの皆さんにご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

本計画のキャッチフレーズは、青木中学校の生徒をはじめ策定審議会での提案により、「明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村～人と自然と産業が融和した豊かな郷～」としました。村民の皆さんの幸せと、村とつながっている皆さんも幸せになる村づくり、「ひと」を中心に青木村らしい地域の資源を活かして、多くの人を呼び込み、つながり、豊かな自然と、青木村が育む・育んでいく産業と融和して、笑顔で豊かな暮らしを実感できる村づくりが、本計画のコンセプト（将来像・目標）となっております。本計画のもと、明るい未来に向けて、村づくりを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年3月

村長 北村政夫





村 章

「あおき」村の「あ」の字と青木三山を図案化、青木村を象徴している。
上部は青木三山を描き、下部は村民の「和」と結びつきをもとに、躍進
する青木村の姿を表現している。

青木村 村民憲章

青木村は温泉と古塔に象徴される自然と、古い文化に恵まれた美しい村
です。正義と郷土愛に献身した先人を誇りに、さらに清新にして明るく
豊かな村にするために、この憲章を定めます。

- 一、村の自然と大切にし環境を美しくしよう。
- 一、あたたかい家庭づくりに、思いやりの深い村づくりをしよう。
- 一、心もからだも健康な青少年を育てよう。
- 一、勤労を尊び創意と活力ある産業を伸ばそう。
- 一、スポーツに親しみ教養を高め香り高い文化を創造しよう。

目 次

第6次青木村長期振興計画体系図	6
-----------------	---

村の概況	8
------	---

1 序 論	18
-------	----

計画策定にあたって	18
-----------	----

2 基本構想	26
--------	----

第1章 基本事項と目標	26
-------------	----

第2章 村づくりの将来像	28
--------------	----

3 第2期総合戦略	30
-----------	----

総合戦略（重点プロジェクト）	30
----------------	----

4 前期基本計画	38
----------	----

分野別計画	38
-------	----

分野1 子育て・健康・福祉	40
---------------	----

分野2 安全・安心・快適	44
--------------	----

分野3 農業・林業・工業・商業・観光・雇用	48
-----------------------	----

分野4 教育・文化・スポーツ	52
----------------	----

分野5 生活基盤・環境保全	56
---------------	----

分野6 自治・協働・交流	62
--------------	----

5 計画の進め方	66
----------	----

6 付属資料	69
--------	----

第6次青木村長期振興計画体系図

基本構想

10年間の村づくりのコンセプト

キャッチフレーズと目指す将来像

キャッチ
フレーズ

明るい！ 優しい！ あったかい！ 笑顔あふれる青木村
人と自然と産業が融和した豊かな郷

分野1 子育て・健康・福祉

みんなが生き生きと輝ける村

関連するSDGs（世界共通の目標）



→ P 40

分野2 安全・安心・快適

生活の安全・安心を確保し、心地よく暮らせる村

関連するSDGs（世界共通の目標）



→ P 44

分野3 農業・林業・工業・商業・観光・雇用

農・林・工・商業の共存を実現し、雇用と賑わいを創出する村

関連するSDGs（世界共通の目標）



→ P 48

分野4 教育・文化・スポーツ

義民の精神から学び、主体性を持った次世代を育てる村

関連するSDGs（世界共通の目標）



→ P 52

分野5 生活基盤・環境保全

豊かな自然と共生し、地球にも人にも優しい村

関連するSDGs（世界共通の目標）



→ P 56

分野6 自治・協働・交流

多様な人たちと融合して創る持続可能な村

関連するSDGs（世界共通の目標）



→ P 62

村の概況

時代の潮流・社会の要請

村のトピックス

村民の意見
アンケート

第2期総合戦略

6つの重点プロジェクト

分野を超えて重点的かつ早期に取り組むプロジェクト

プロジェクト1
コロナの克服と災害等に強い村づくり
＜目標＞安全・安心を実感できる暮らしの実現

● 危機管理体制の強化
● 緊急事態への柔軟な対応力の育成

→ P 32

プロジェクト2
国道143号整備促進・活用した村づくり
＜目標＞医療圏・経済圏・通勤・通学圏・生活圏の拡大による地域活性化

● 防災・医療・経済・産業等の最大限活用

→ P 33

プロジェクト3
産業を育む村づくり
＜目標＞安定した雇用の創出と財政基盤の確保

● 農業・商業・工業・観光の育成・企業誘致
● 青木村に根付いた産業からの雇用創出
● 村と村民の安定した財政基盤の構築

→ P 34

プロジェクト4
健康で元氣な村づくり
＜目標＞健康で生涯活躍できる環境の充実、医療・介護・福祉支援体制の更なる充実

● 保健・医療・福祉・介護予防・日常生活支援の更なる充実
● 村民の健康寿命の延伸

→ P 35

プロジェクト5
小・中2クラス化・次世代を育てる村づくり
＜目標＞若者・子育て世代の転入者の増加と転出者の抑制、小・中学校2クラス化、青木村教育の更なる充実、村を担う次世代の育成

● 婚活・結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで村全体での次世代の育成

→ P 36

プロジェクト6
関係・交流人口拡大・創出による村づくり
＜目標＞地域活性化と移住・定住者の増加、青木村サポーターの拡大、関係団体等との関係強化

● 村の資源を最大限に活用
● 東急グループなど関係団体との連携の拡大・強化

→ P 37

前期基本計画

分野別計画

将来像に向けて必要な施策

取り組む主な施策項目

- 地域医療体制
- 子ども・子育て支援(少子化対策)
- 社会保険制度
- 高齢者対策
- 健康管理
- 障がい者福祉

取り組む主な施策項目

- 消防防災・危機管理体制
- 治山・砂防・治水
- 防犯対策
- 交通安全対策
- 公共交通
- 情報通信環境
- 消費者保護

取り組む主な施策項目

- 雇用対策・企業誘致
- 農業振興
- 商業
- 林業
- 観光振興
- 工業

取り組む主な施策項目

- 学校教育
- 保育(幼児教育)
- 家庭教育・地域教育
- 社会教育・生涯学習・人権教育
- 芸術・文化
- スポーツ・レクリエーション

取り組む主な施策項目

- 道路・河川
- 住宅
- 上下水道
- 公園・緑地
- 生活環境保全
- 公共建築物
- 土地利用
- 自然環境保全
- 地球環境保全
- 景観形成

取り組む主な施策項目

- 財政
- 住民参加
- 住民サービス・行政事務
- 地方分権・地方自治
- 広域行政
- 移住・定住
- 男女共同参画
- 地域活動
- 自治体間交流・国際交流

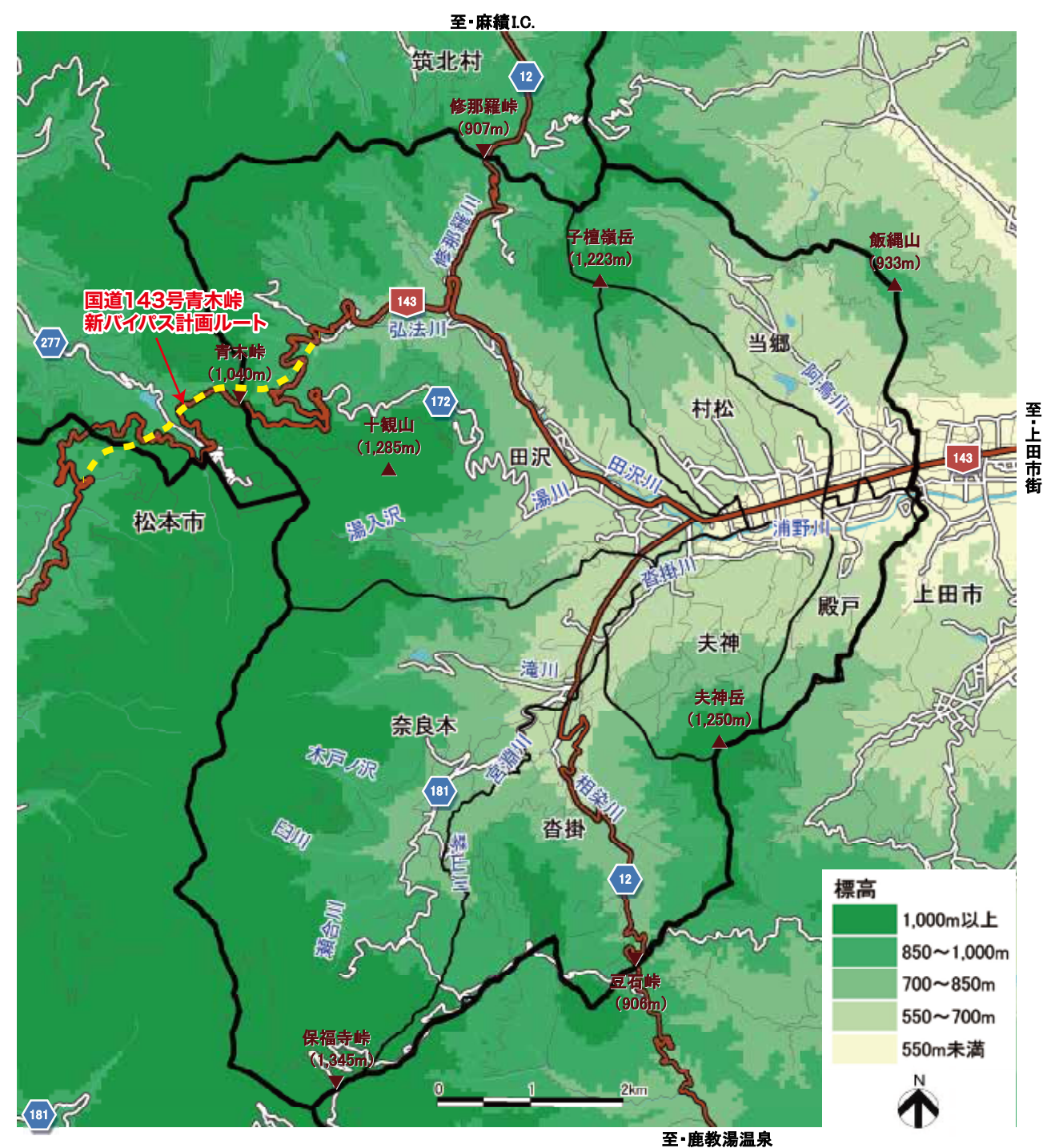
村の概況

(1) 位置・地勢等

① 位置
青木村は長野県の東北部、小県郡の西部に位置しています。東南に上田市、西に松本市、北に東筑摩郡筑北村と3自治体に隣接しています。東西約 8.0km、南北約 10.4km で、面積は 57.10k m²で、役場の位置を経緯度でみると、東経 138 度 07 分 32 秒、北緯 36 度 22 分 02 秒となっています。

② 地勢
青木村は三方を山に囲まれた山間地帯にあります。北に子檀嶺岳（1,223m）、西に十観山（1,284m）、南に夫神岳（1,250m）の青木三山は、緑豊かな山並みを形成しています。また、南に大明神岳（1,232m）、青木峠から保福寺峠まで御鷹山（1,623m）を主峰とする屏風状の滝山連峰は、青木村の周囲を囲み、豊かな自然を育んでいます。
標高は、役場の位置で 555m あり、おおむね 500m から 850m の谷平野・扇状地に 12 の集落が散在しています。村のほぼ中央を浦野川が東に向かって流れ、清新な潤いをもたらしています。そしてこの川に、三方の山に源を発する田沢川、湯川、沓掛川、阿鳥川が合流して、千曲川に注いでいます。

③ 道路
村内には上田市街と松本市街とを結ぶ国道 143 号が東西を横切り、その沿道に国土交通省選定の重点道の駅あおきがあります。
南北には一部国道 143 号と路線を共有して県道 12 号丸子信州新線が貫き、北は修那羅峠を経て長野自動車道の麻績 I.C.方面に通じ、南は豆石峠を経て鹿教湯温泉に通じています。
下奈良本で県道 12 号から派生する県道 181 号下奈良本豊科線は、古代から中世にかけての幹線道路で、五畿七道の一つ東山道の一部をなす道で、保福寺峠を経て松本市四賀地区に通じています。



村の概観

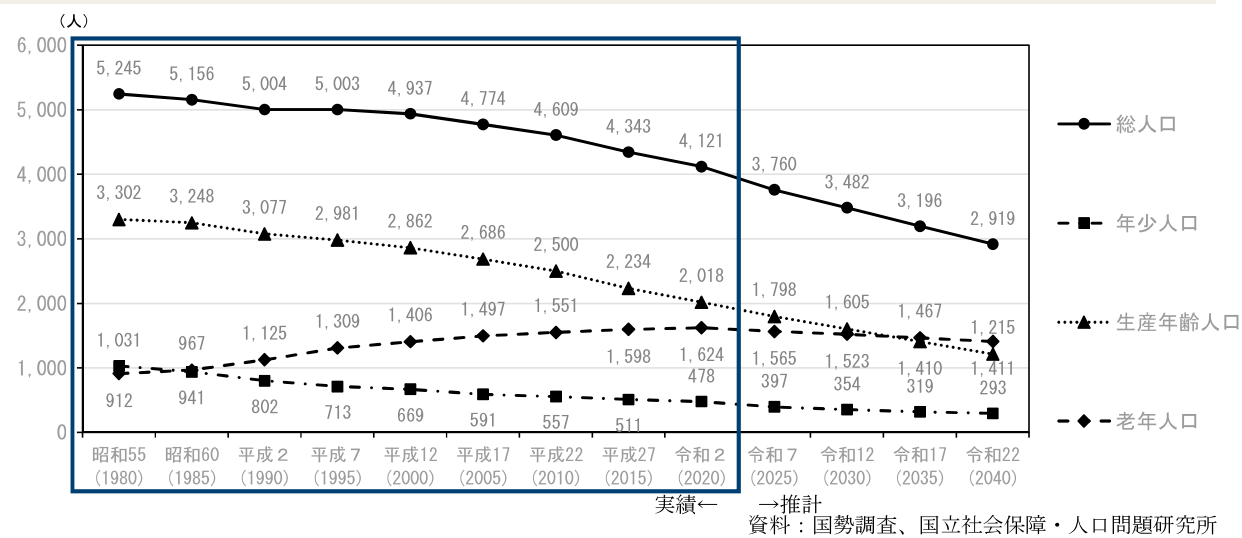


(2) 人口

① 総人口

5年ごとに実施される国勢調査によれば、青木村の総人口は、昭和 55 年以降減少し続けており、令和 2 年の最新の調査では 4,121 人となっています。この値は、平成 27 年までの人口推移をもとに算定された国立社会保障・人口問題研究所による推計値（4,054 人）よりも 67 人多く、予測よりもやや遅いペースで人口減少が進んでいることが伺えます。

年齢 3 区分別にみると、年少人口と生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は増加し、令和 2 年の時点で高齢化率は 39.4%に達しています。今後もこの傾向は継続することが予測され、本計画の計画期間の末年度に最も近い令和 13 年の高齢化率は、45%近くにまで達するものと推計されています。

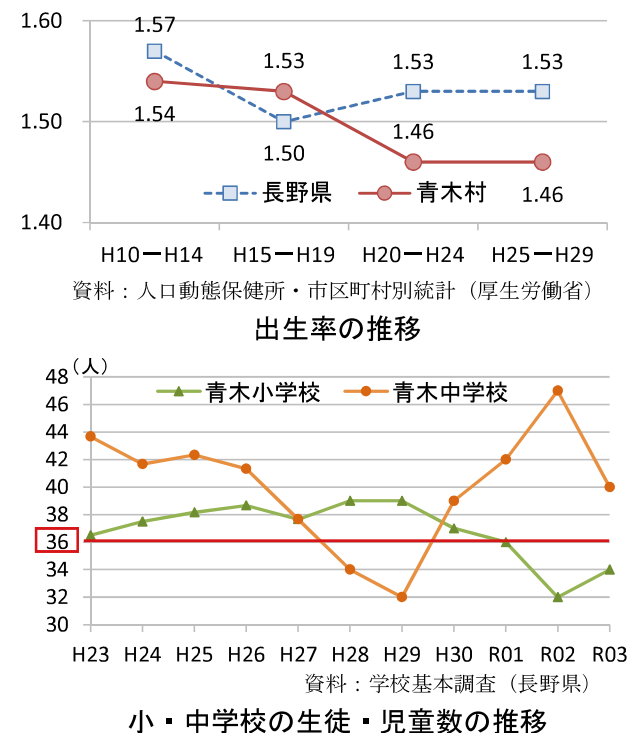


② 子どもの数

自然増減で人口を維持するために必要な出生率は 2.07 とされていますが、青木村の出生率はこれに満たない水準で、近年やや低下傾向にあり、直近の数値では県の平均よりも低い状況です。

また、青木村の小学校及び中学校の 1 学年あたりの平均児童・生徒数の推移をみると、小学校は平成 29 年をピークに減少しており、令和 2 年からは 2 クラス化に必要とされる 36 人を下回っています。

中学校は平成 29 年まで減少を続け、一時 36 人を下回ったものの、その後は増加基調にあります。



③ 地区別の人口動態

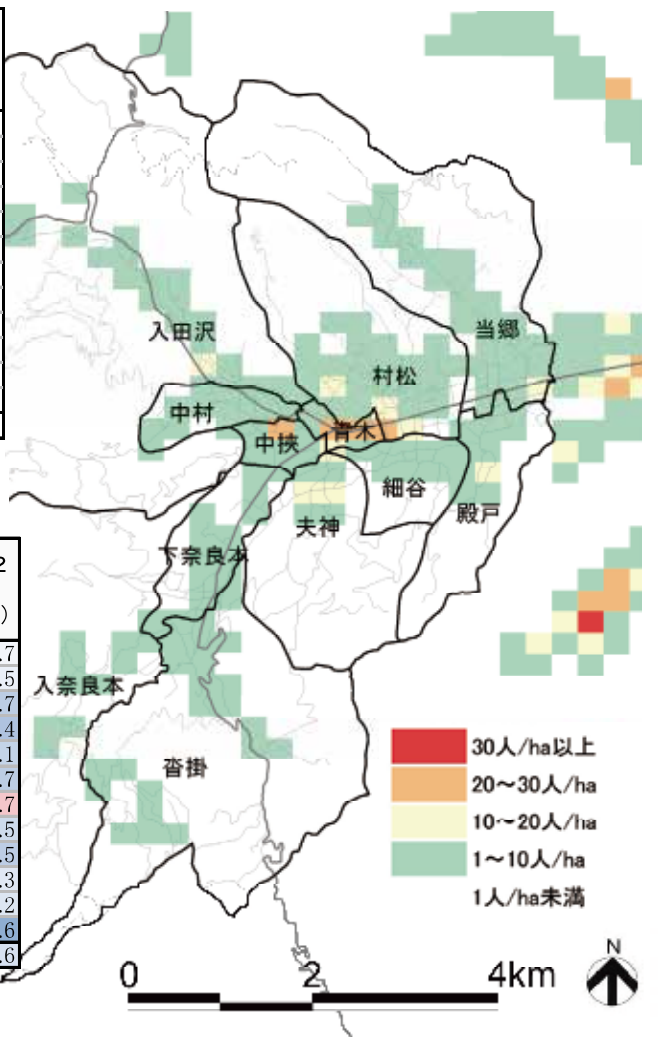
250mメッシュ単位の人口密度の図をみると、村内における居住地の地理的な広がりや集積度合いを概ね把握することができます。地区単位でみると、最も人口の多いのは村松ですが、人口密度が最も高いのは青木で約 17 人/ha と際立って高い値となっています。これら 2 地区に当郷を加えた 3 地区で、村の人口の半数近くを占めています。

国勢調査の区割り（12 地区）で、同調査に基づく平成 22 年から令和 2 年までの地区別人口を整理してみると、この 10 年間で村全体の人口が 500 人近く減少するなか、平成 27 年までの 5 年間で全地区で人口が減少しており、令和 2 年までの 5 年間で中挟地区のみ人口が増加していますが、その他地区においてはいずれも人口が減少しています。

人口の減少率をみると、増加している中挟地区以外では、上田市に近い村松、当郷、殿戸、細谷の 4 地区では他地区に対して比較的人口の減少率が低くなっています。

地区別の人口比と人口密度 (平成 27 年・令和 2 年)					
地区	平成27 (2015) 人口比 (%)	令和2 (2020) 人口比 (%)	面積※ (ha)	平成27 (2015) 人口密度 (人/ha)	令和2 (2020) 人口密度 (人/ha)
村松	8.7	9.5	364	2.2	2.2
当郷	16.7	17.5	588	1.2	1.2
青木	12.6	11.2	27	20.0	16.8
入田沢	9.1	8.3	1,779	0.2	0.2
中村	7.1	6.6	76	4.1	3.6
沓掛	6.9	6.3	719	0.4	0.4
中挟	6.8	8.6	41	7.3	8.7
下奈良本	5.8	5.9	129	2.0	1.9
夫神	5.3	5.1	306	0.8	0.7
殿戸	4.7	4.8	176	1.2	1.1
細谷	3.5	3.6	101	1.5	1.5
入奈良本	2.6	2.5	1,394	0.1	0.1
合計	100.0	100.0	5,700	0.8	0.7

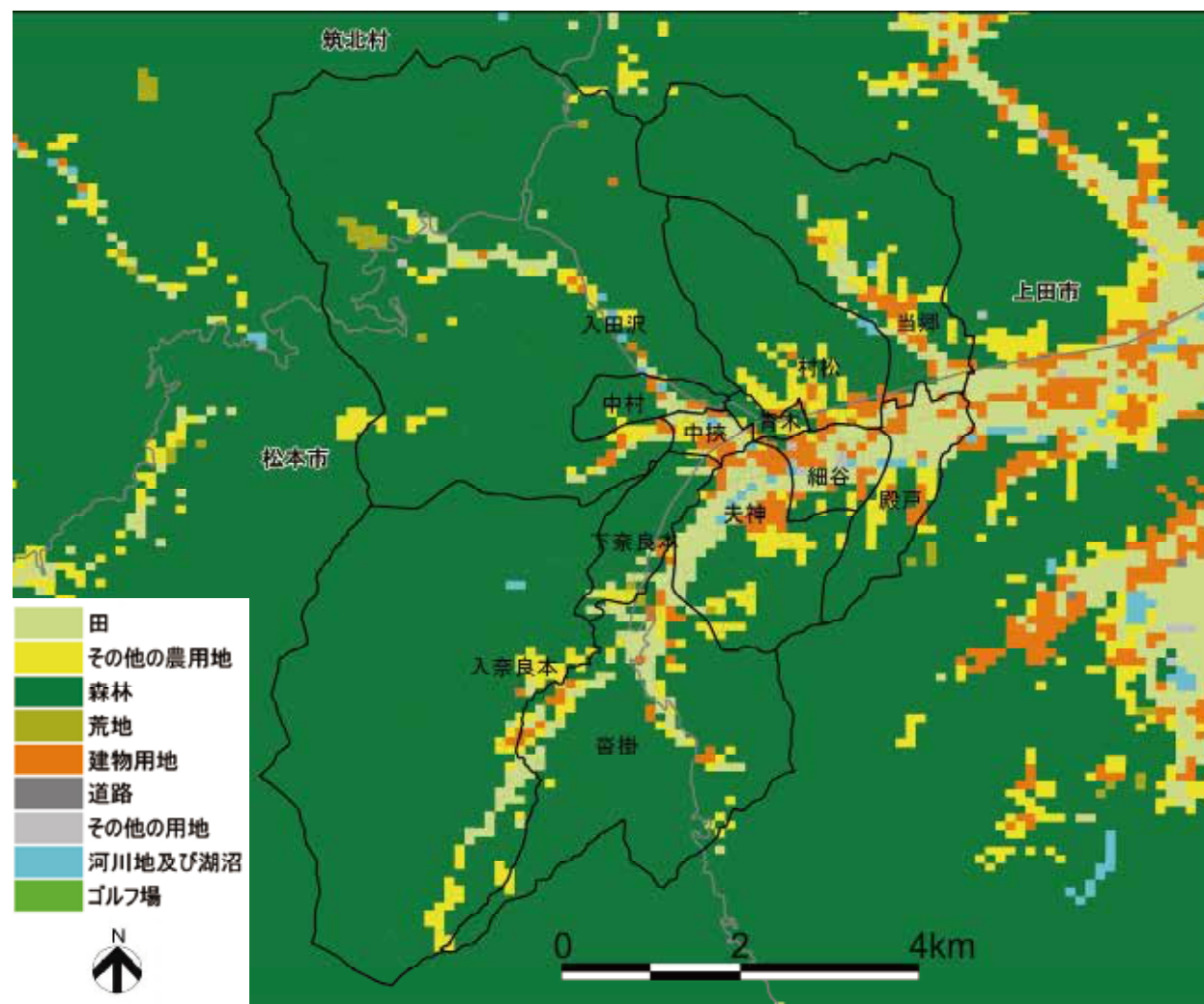
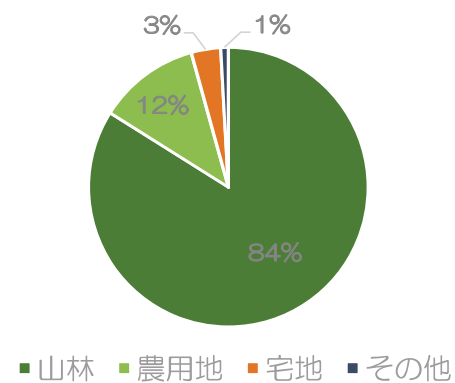
地区別の人口動態 (平成 22 年ー令和 2 年)					
地区	平成22 (2010) 人口	増減	平成27 (2015) 人口	増減	令和2 (2020) 人口
村松	825	↓	811	↓	803
当郷	757	↓	727	↓	723
青木	567	↓	548	↓	461
入田沢	438	↓	395	↓	340
中村	323	↓	309	↓	271
沓掛	321	↓	300	↓	261
中挟	305	↓	296	↓	356
下奈良本	282	↓	254	↓	244
夫神	260	↓	232	↓	212
殿戸	216	↓	202	↓	198
細谷	163	↓	154	↓	148
入奈良本	152	↓	115	↓	104
合計	4,609	↓	4,343	↓	4,121



(3) 土地利用

青木村の土地利用を地目の割合でみると、総面積の約 84%は山林であり、1ha メッシュ単位の土地利用区分の図からも村の大部分を山林が占めている様子がみてとれます。

山林以外では田と畑を合わせた農用地が約 12%、宅地が約 3%で、図からそれらの分布をみると、農用地は地形を反映して、東側に隣接する上田市から連続的に広がり、建物用地は幹線道路沿いを中心に一定のまとまりで立地している状況がわかります。

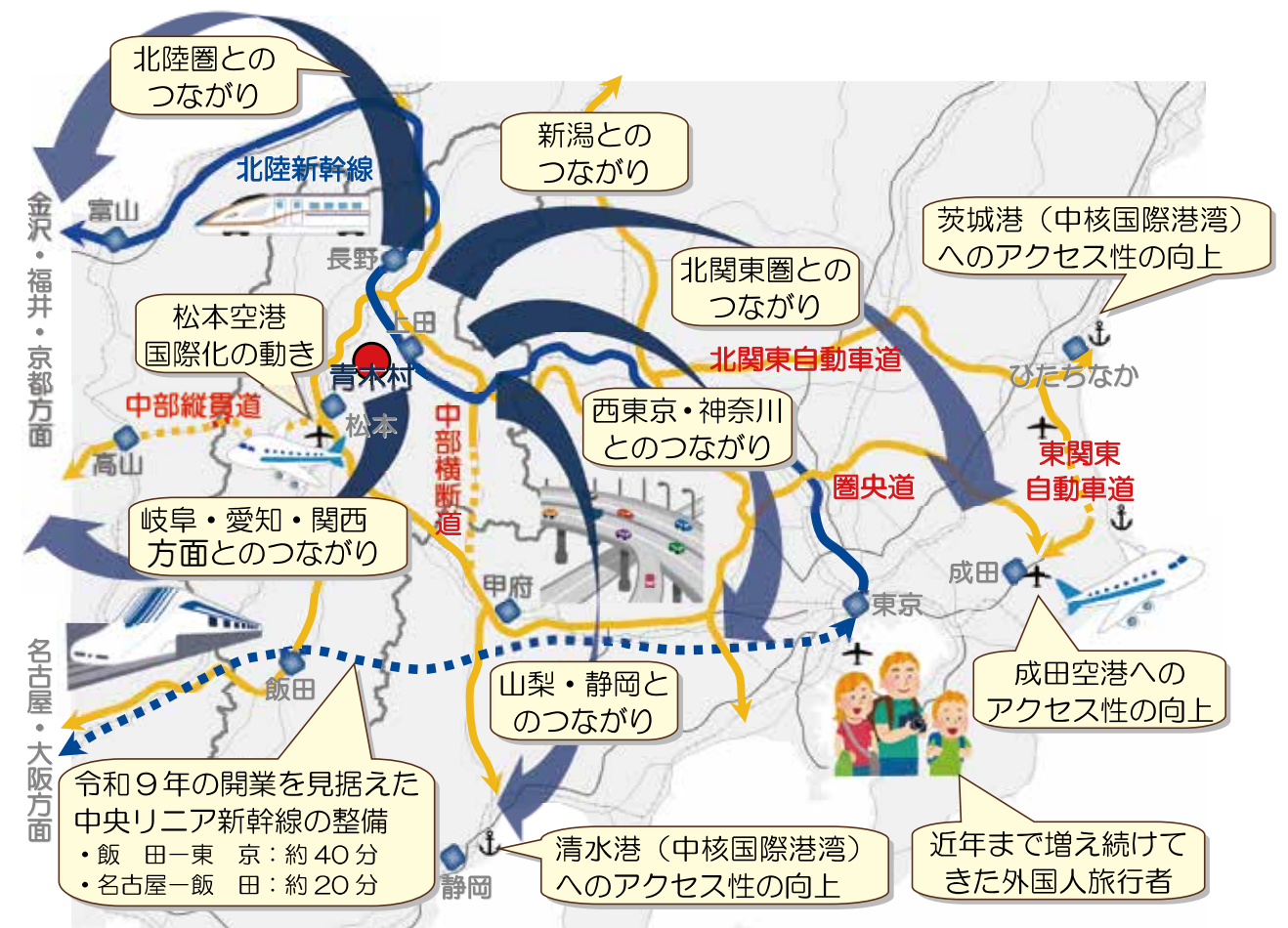


1ha メッシュ単位の土地利用区分 (平成 28 年)

(4) 連携基盤

① 広域的な交通ネットワーク

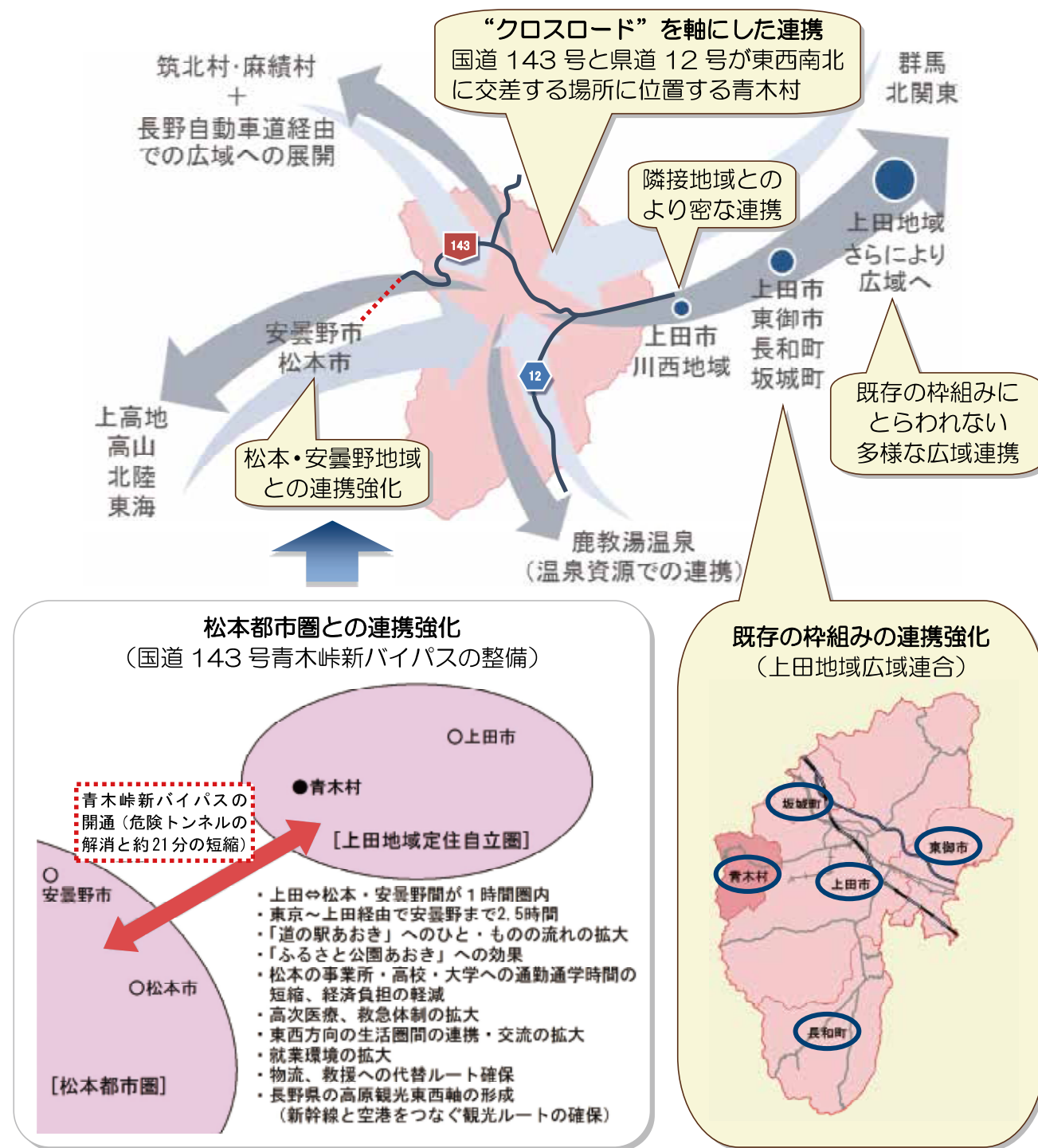
新幹線や高速道路など高速交通網の整備の進展とともに、首都圏のみならず、関東圏や北陸圏、さらには東海、関西方面の各都市や主要な空港・港湾へのアクセスが容易になり、観光や交流、物流の基盤となる広域的な交通ネットワークが強化されつつあります。



国土レベルでの主な交通基盤の整備等の動向

② 近隣自治体との連携

青木村はこれまで、上田地域広域連合の枠組みのなかで様々な連携を図ってきました。また、国道 143 号と県道 12 号で東西南北の地域・自治体とつながる本村は、とくに国道 143 号青木峠新バイパスの整備により、松本都市圏との連携の強化が期待されます。



クロスロードを軸にした連携の広がるイメージ

(5) 地域交通

青木村の公共交通機関はバス交通が主体で、上田市内へのアクセスは千曲バスが、村内の移動は村営バス「ふるさと号」がそれぞれ担っています。

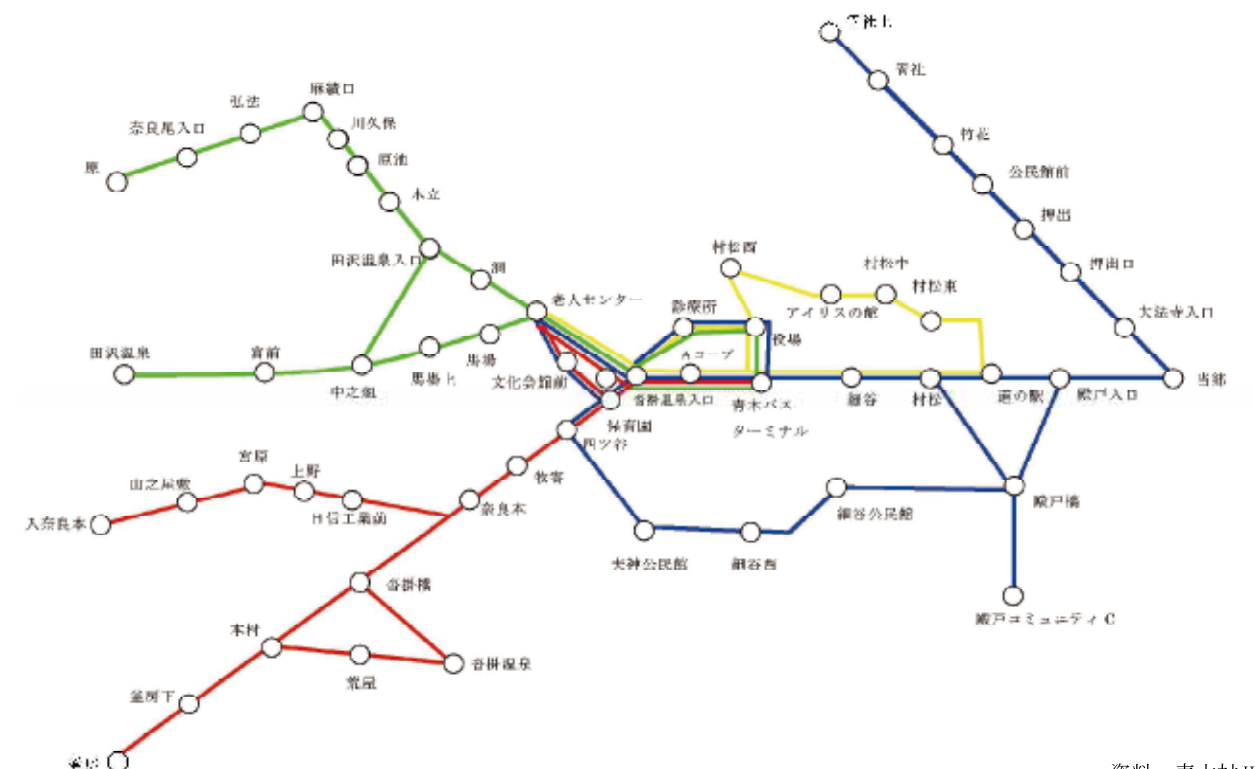
千曲バス青木線は上田駅を經由して青木バスターミナルと下秋和車庫との間を結ぶ 1 路線で、村内には国道 143 号沿いに 6 つの停留所があります。1 時間に約 1 本の運行頻度で、村の支援により最長区間の運賃の上限が 300 円となっています。

村営バスは、スクールバス機能も有するため比較的用户の多い平日の朝夕の時間帯(7:20~9:10、15:00~17:10)については定時定路線の運行をし、比較的用户の少ない平日の時間帯(9:30~14:30)については、時刻表がなく予約に応じて運行するフルデマンド方式で運行しています。

7:20	9:30	14:30	17:32
定時路線バス 7:20~9:10	フルデマンド方式 9:30~14:30、17:32	フルデマンド方式とは… 今までの路線バスとは異なり、乗客は予約に応じて運行します。予約は 30 分前まで受け付けております。基本的に、乗降場所も決まっております。ご希望の場所での乗り降りが可能です。 なお、同じ時間帯に同じ方面をご希望の場合は乗り合いとなる場合があります。	
		定時路線バス 15:00~17:10	



入奈良本・釜戸・香横方面 弘法・原池・洞・田沢方面 菅社・当郷・殿戸方面 村松方面



村営バスの運行路線(定時定路線)

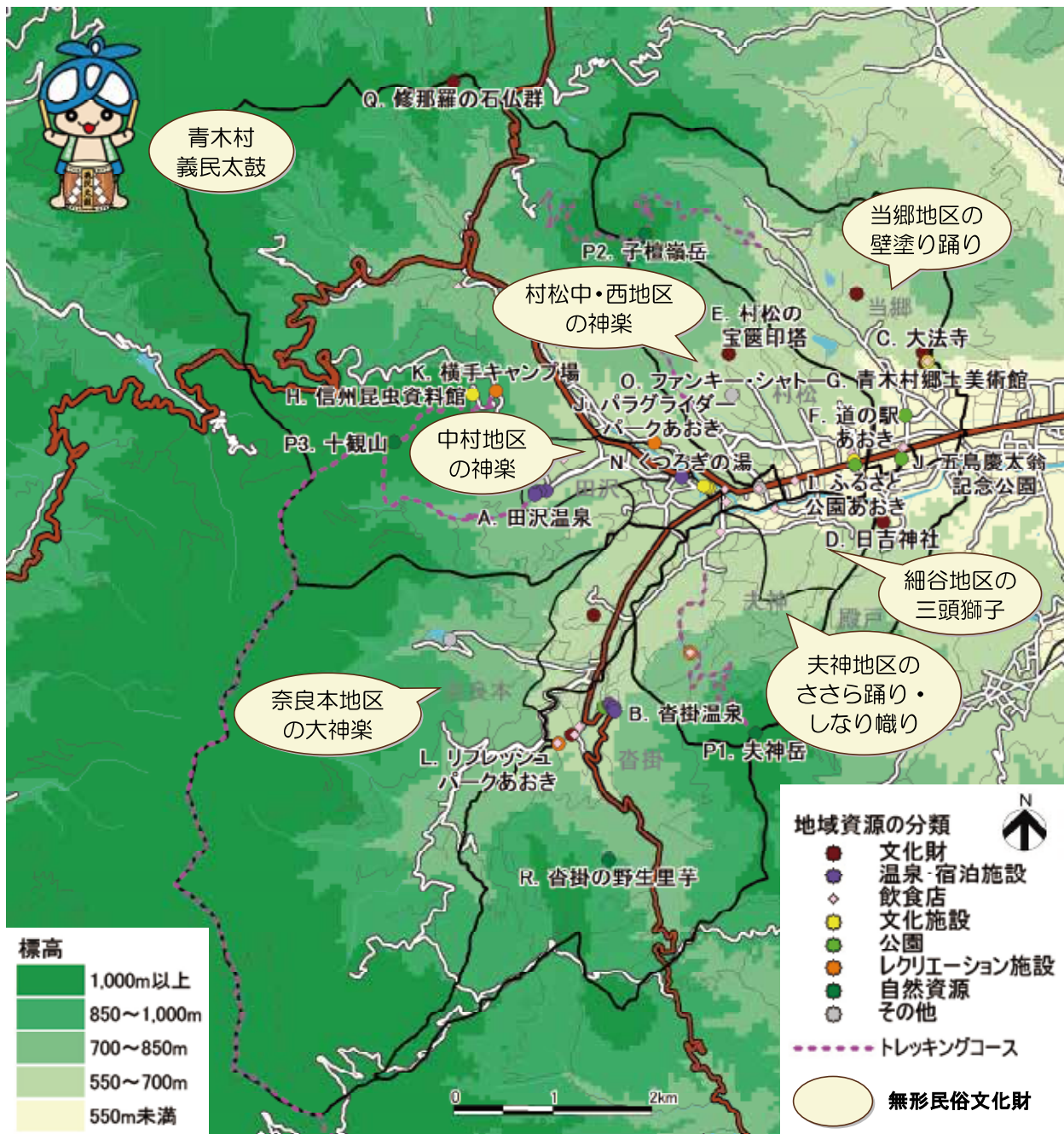
資料：青木村 HP

（６）地域資源

青木村には国宝が１件、県宝が３件あるほか、「義民の郷」としてこれにまつわる複数の史跡や各地区に受け継がれている伝統芸能など数々の有形・無形の文化財や記念物があります。

田沢温泉・沓掛温泉は、小規模ながらも歴史ある温泉地で、環境省指定の「国民保養温泉地」として湯治場の風情を醸し出しています。ふるさと公園あおきをはじめ、村内各地から望める夫神岳・子檀嶺岳・十観山は、「青木三山」として村のランドマークになっており、各山頂に通じるトレッキングコースが整備されています。山麓・山間部には、キャンプや釣り、パラグライダーなど自然を満喫できるレクリエーション施設もあります。

これらはすべて村づくりに活かせる「地域資源」として捉えることができます。



※上図でアルファベットの記号付きの名称表示になっている地域資源の概要は次ページに記載しています。

多様な地域資源の分布

※ランドマーク：都市景観や田園風景等、ある特定の地域の景観を特徴づける目印や象徴になる対象物のこと。

A. 田沢温泉

十観山の山間にある飛鳥時代後半の開湯といわれる田沢温泉は、昔から子宝の湯として、また乳の出がよくなる温泉としても知られている。この温泉地にある「ますや旅館」は国の登録有形文化財に指定されている。

B. 沓掛温泉

沓掛温泉は青木村役場から鹿教湯温泉に抜ける山間の途中にある温泉地で、平安時代、国司の滋野親王が目进行い入浴したところ完治したので薬師堂を建立し温泉守護神を崇して開湯されたといわれている。

C. 大法寺(国宝)

国宝に指定されている三重塔は、東山道を旅する人々が塔の姿があまりにも美しく、思わずふり返るほどであるという意から、「見返りの塔」といわれている。塔と周囲の風光の美しい調和をさまざまな角度から眺めることができる。

D. 日吉神社(県宝)

殿戸地区の神門に鎮座し、古くは山王大権現宮とよばれ、大山咋命を祀っている。県宝に指定されている社殿は扉口が中央柱間に１つだけという珍しい型式で、屋根はこけら葺、軒は前後とも一軒の繁垂木で造られている。

E. 村松の宝篋印塔(県宝)

宝篋印塔は中世に我が国で五輪塔と並んで流行した石造塔で、正面に 49 文字の碑文が刻まれた村松の宝篋印塔の東塔は全国的に稀で、「碑文が刻まれた石造宝篋印塔としては県内有数の古さで貴重」として注目されている。

F. 道の駅あおき

国道 143 号沿いにある、村民や来訪者の買い物や休憩のスポットとなっている。農産物直売所では村内の旬の特産品が数多く並べられ、食事処こまゆみでは特産品のタチアカネが好評です。

G. 青木村郷土美術館

大法寺の境内にあり、郷土にゆかりのある画家達の作品を中心に、収蔵品の常設展示室と、折々に企画される企画展示室に分かれて展示されている。

H. 信州昆虫資料館

長野県産のほぼ全種の蝶類をはじめ、甲虫類（クワガタ・カミキリムシ等）等、数多くの標本を展示し、その生態や個体変異、地域変異の様子をみることができる。外国種も多数寄贈されている。

I. ふるさと公園あおき

道の駅あおきの対面にある防災機能を有した多目的公園で平成 27 年 11 月に開園した。ヘリポート・かまどベンチ・防火貯水槽・大芝生広場・複合遊具・ドッグラン等が整備され、村内外の住民の交流・憩いの場となっている。

J. 五島慶太記念公園

園内では様々な樹木や花で四季折々美しい姿をみることができ、頌徳碑は五島慶太翁が幼少期過ごした青木村の様子や山々を眺めており、殿戸峠の入口には五島慶太翁の生家跡地が保存されています。

K. 横手キャンプ場

青木村の十観山の中腹に位置しており、森に囲まれたキャンプ場で東側からは上田平、佐久平、浅間山が望める絶好のロケーションを楽しめる。

L. リフレッシュパークあおき

青木村の豊かな自然を活かして、溪流釣り・釣り堀・フィールドアスレチック・マレットゴルフ・パターゴルフ・滑り台等の数多くの施設があり、家族や仲間と一日中楽しむことができる。

M. パラグライダーパーク青木

体験コース、ライセンス取得コース、シニアコースと幅広い年齢層の方がパラグライダーを体験することができる。

N. かつろぎの湯

田沢温泉にある日帰り温泉施設。寝湯、マッサージ浴、歩行浴、うたせ湯、気泡湯なども楽しむことができる。

O. ファンキー・シャトー

子檀嶺岳の山懐にたたずむワイナリーで、選果の徹底、自然発酵、無濾過、無清澄を柱に、可能な限り人の介入と添加物を減らし、その土地が本来持っている魅力を映し出すようなワインづくりを目標に掲げ、運営されている。

P. 青木三山(P1. 夫神岳、P2. 子檀嶺岳、P3. 十観山)

南・北・西の三方にそびえる夫神岳（1,250m）、子檀嶺岳（1,223m・信州百名山の一つ）、十観山（1,284m）は「青木三山」と呼ばれ、青木村のシンボルとなっている。各山を巡るトレッキングコースも多数設定されている。

Q. 修那羅山の石仏群

安政 2 年（1855）にこの地方が旱魃に襲われた際に、雨乞いの修法を行い、雨を降らせた修那羅大天武へのお礼として手づくりの石仏や石神を奉納した。その信仰と感謝の気持ちが積みもり積もって 900 余体となり祀られている。

R. 沓掛の野生里芋(県天然記念物)

温泉尻で冬季でも水温の高い好条件に恵まれた沓掛は、我が国では数少ない野生サトイモの自生地となっている。

1 序 論

計画策定にあたって

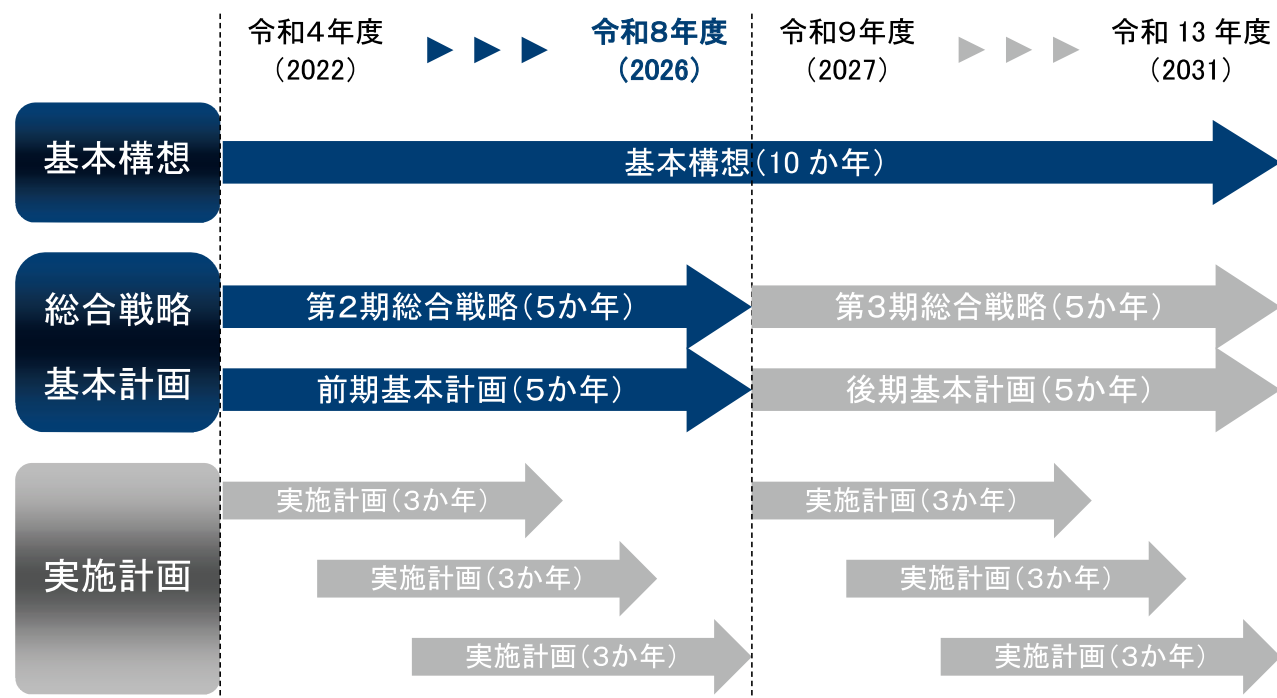
(1) 長期振興計画の計画期間と構成

長期振興計画とは、青木村が策定するすべての計画の基本となる計画で、行政運営の総合的な指針になります。この計画は「基本構想」、「総合戦略・基本計画」、「実施計画」からなり、「基本構想」の計画期間は10か年で、その間を第2期総合戦略・前期基本計画と第3期総合戦略・後期基本計画に分けて、それぞれ5か年の「総合戦略・基本計画」を定めます。

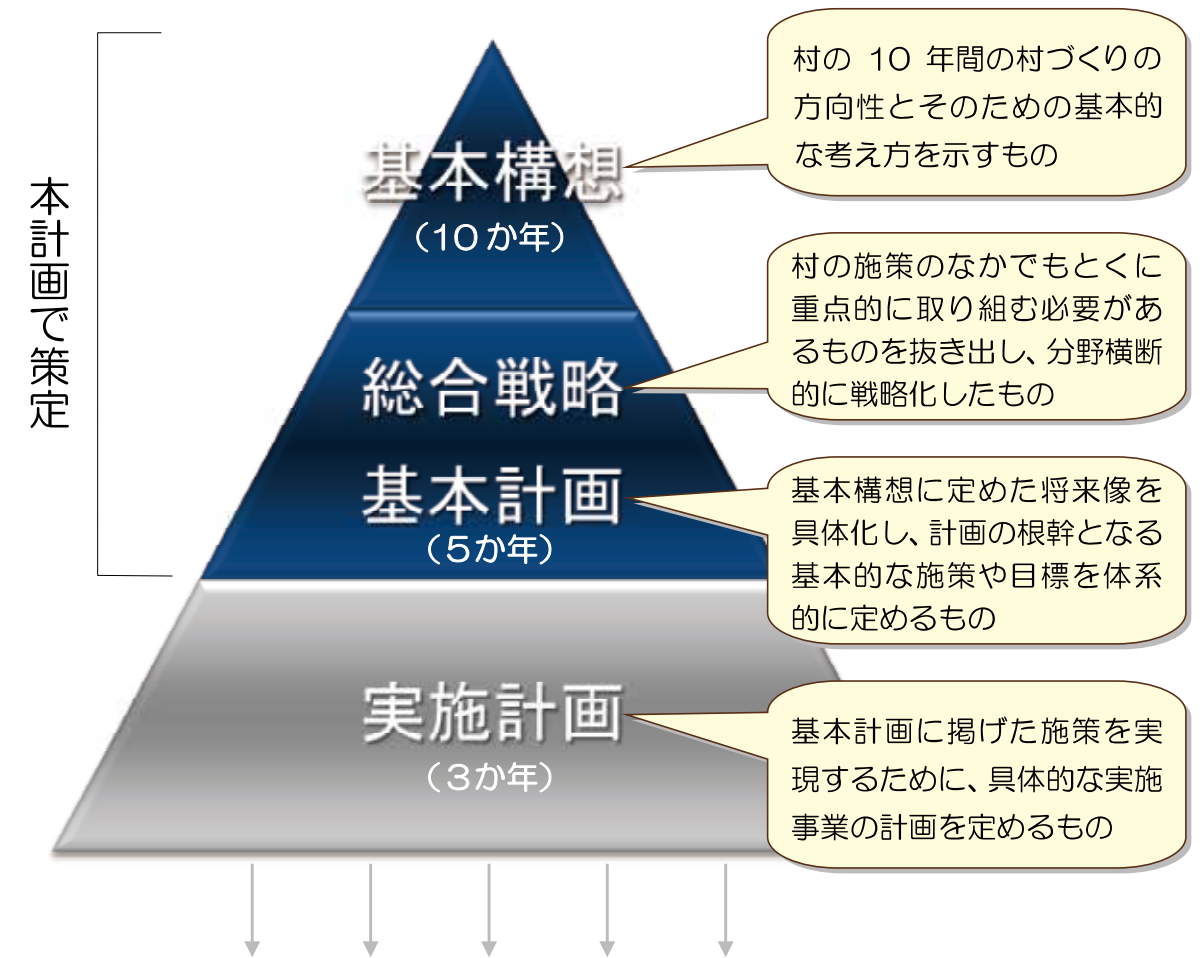
青木村では平成23年度に『第5次青木村長期振興計画』を策定し、平成24年度からこれに基づく村づくりを進めてきました。

それから10年を経過し、令和3年度末をもって『第5次青木村長期振興計画』の計画期間が満了することに伴い、新たな村づくりの指針となる『第6次青木村長期振興計画』（以下、「本計画」という。）を策定します。

本計画の計画期間は、基本構想は令和4年度から令和13年度までの10か年、第2期総合戦略・前期基本計画は令和8年度までの5か年とし、別途、概ね3か年単位で策定し毎年度見直しを行う「実施計画」のもとになります。



基本構想及び前期基本計画の計画期間



長期振興計画のもとに位置づけられる各種個別計画等

- 地域再生計画
- 青木村地区都市再生整備計画
- 人・農地プラン
- 青木村辺地総合整備計画
- 青木村高齢者福祉計画
- 青木村介護保険事業計画
- 青木村国民健康保険保健事業実施計画
- 青木村障害福祉計画
- 青木村障害児福祉計画
- 青木村保健事業実施計画
- 青木村健康寿命延伸計画
- 青木村障害者活躍推進計画
- いのち支える 青木村自殺対策計画
- 青木村男女共同参画計画
- 青木村教育大綱
- 青木村生涯学習計画
- 青木村学校施設長寿命化計画
- 青木村公共施設等総合管理計画
- 青木村公共施設等総合管理計画 個別計画
- 青木村公営住宅整備計画
- 青木村森林整備計画
- 青木村橋梁長寿命化修繕計画
- 青木村耐震改修促進計画
- 青木村空き家等対策計画
- 青木村空き家等登録制度
- 青木村地域公共交通計画
- 青木村特定事業主行動計画
- 公営企業経営健全化計画
- 青木村地域防災計画
- 青木村地域防災力向上行動計画
- 災害時・職員初動マニュアル
- 職員定員管理
- 青木村新型インフルエンザ等業務継続計画
- 青木村国土強靱化計画
- 青木村都市再生整備計画
- 農業経営基盤の強化の促進に係る基本構想
- 青木村美しい村づくり条例
- 青木村(UIJ ターン)就業・創業移住支援事業
- 青木村教育・あおきっ子教育5か条

基本構想・総合戦略及び前期基本計画の位置づけと役割

（２）時代の潮流・社会の要請

本計画の策定にあたり、時代の潮流や社会の要請を大きく６つの項目にまとめて整理しました。こうした動向から見出される課題やポイントを踏まえて、村づくりの方向性を考える必要があります。

① 新型コロナウイルス感染症に起因する新しい生活様式への対応

令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行により、私たちの日々の生活は大きく変化してきています。なかでも働き方は大きく変化し、情報通信技術を活用して自宅など本来勤務する場所から離れて仕事をするテレワークや、画面越しに遠隔地にいる人同士が顔を合わせて会議を行うオンライン会議も急速に普及し、広く浸透してきました。

こうしたスタイルは、新型コロナウイルス感染症の収束後も、新しい生活様式として定着していくものと考えられ、今後の村づくりでは、都会からの地方移住や二地域居住などへの関心の高まりも受けて、多様な働き方に対応した環境整備や移住者の受け入れに即したしくみづくりが求められる一方、観光面ではその場でしか味わえない価値の追求も重要になります。

② 世界共通の目標（SDGs）への対応

エスディー・ジーズ
SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、平成 27 年に国連で採択された、持続可能でよりよい社会を目指す世界共通の目標です。17 のゴール（最終目標）※とこれに紐づく 169 のターゲット（具体目標）からなり、令和 12 年までの達成を目指しています。

この目標達成年は、本計画の計画期間内であり、今後の村づくりを考える際には、SDGs を強く意識し、その目標と整合し、達成に寄与する計画づくりが求められます。

前期基本計画では、SDGs との関連性を意識できるよう、17 の目標のうち、分野ごとにとくに関連のある目標絵記号を入れて、SDGs との対応関係を示します。

※SDGs の 17 の目標については、67 ページもご覧ください。

③ DX やデジタル社会への対応

ディー・エックス
DXとは、Digital Transformation（デジタル変革）の略称で、進化したデジタル技術を活用することで人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変革させることを指しています。最新のデジタル技術は、今までできなかったことを可能にしたり、効率化ができたり、社会を大きく変える可能性があります。

行政サービスでも、デジタル技術を活用することにより、今までにはないサービスの提供や住民の暮らしを守ることもつながっていくため、今後の村づくりを考えるうえで、DX の推進を通じたデジタル社会への対応はあらゆる分野において必要で、各分野でデジタル技術の効果的な活用を考えていくことが求められます。

④ 災害リスクへの対応

近年自然災害が頻発化・激甚化しており、とくに豪雨災害は毎年のように全国各地で発生しています。気候変動がその遠因ともいわれ、地球温暖化で気温が上昇することで、大気中の水蒸気量が増え、降雨強度が高まっていると考えられています。

青木村も令和元年 10 月の台風では、かつて経験したことのない雨量を観測し、大きな被害を受けました。また、周囲を山で囲まれている本村は、山間で土砂災害の危険性の高いエリアにも居住があり、令和 3 年 7 月に熱海市で起きた大規模な土石流災害も受けて、土砂災害への警戒心も高まっています。これらの災害に対し、今後の村づくりではハード・ソフトの両面からの対策・対応が求められます。

⑤ 少子高齢化・人口減少社会への対応

超高齢社会とは、65 歳以上の人口の割合が全人口の 21%以上を占めている社会を指します。日本は 2007 年に超高齢社会に突入し、現在既に世界一高い高齢化率は、さらに上昇して、令和 7 年には約 30%、令和 42 年には約 40%に達すると予測されています。

こうした急速な高齢化は医療や福祉の分野での影響が大きく、要介護者の急増や社会保障費の増大に対応できなくなるおそれもあります。他方で、子どもの数は減少の一途を辿っており、現在も然り、将来的な担い手不足や、人口が多い時期に整備された社会基盤の維持管理費の負担の増加や安全性の確保など、様々な問題が顕在化してくる懸念があります。

社会全体がこのような傾向にあるなか、自主自立の村である青木村は、周辺又は広域的な連携も図りつつ、その機動力を活かし、多分野での横断的対応が求められます。

⑥ 脱炭素社会（ゼロカーボン）への対応

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向け、平成 27 年のパリ協定では、世界共通の長期目標として、今世紀末までに世界の平均気温上昇を産業革命以前の比で 2℃より十分低く保つとともに 1.5℃に抑える努力を追求する「2℃目標」が合意されました。

その実現に向け、世界 120 以上の国と地域が、「2050 年カーボンニュートラル」（温室効果ガスの「排出量」から植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いた合計をゼロにすること）を目標に掲げ、令和 2 年に日本もこれを宣言しました。長野県では 2019 年に全国の都道府県に先駆けて「気候非常事態宣言」をし、「2050 ゼロカーボン」への決意表明をし、積極的な取組を行っております。ゼロカーボンの取組は、今後の持続可能な村づくりにおいても必要不可欠で、脱炭素社会の実現に資する施策展開が求められます。

(3)「第5次長期振興計画後期基本計画」策定後の経過

「第5次長期振興計画後期基本計画」策定後の経過として、直近3年間における青木村関連の主なトピックスをまとめました。

令和元年度の主なトピックス

- 機能別消防団発足
- 青木村美しい村づくり条例制定
- 安全・安心イベント開催、県警音楽隊によるコンサート開催
- 新年号「令和」スタート、道の駅あおきで記念花火
- 五島慶太未来創造館基本計画策定、五島慶太翁を顕彰する施設建設へ
- 村出身者による東京青木会 100 周年を迎える
- 青木小中学校へのエアコン設置完了
- 青木村食生活改善推進協議会創立 50 周年
- 障害児児童発育支援、放課後デサービスを行う「たんとキッズあおき」開所
- 義民太鼓保存会こまゆみ会アイルランド文化交流事業でアイルランド訪問
- 五島慶太未来創造館起工式
- 台風 19 号による災害発生 24 時間降水量最大 237 ミリ
- 青木村公共交通のあり方に関するアンケート実施
- 青木村新型コロナウイルス対策本部設置
- 青木村健康寿命延伸計画策定
- 第4次 青木村男女共同参画計画策定

令和2年度の主なトピックス

- (株)竹内製作所と青木村の「当郷地区岡石工業地整備事業に係る立地協定」の締結
- 五島慶太未来創造館開館、コロナの影響により一般公開は6月より
- 新型コロナの影響から保育園・小学校・中学校の給食費を令和2年度中無料化へ
- 道の駅あおきに恋渡屋オープン アオキノコちゃん焼き発売開始
- 青木村営バス 日中の時間帯フルデマンドバス運行開始



R1.5 新年号「令和」スタート



R1.6 東京青木会 100 周年



R1.8 こまゆみ会アイルランド訪問



R1.10 台風 19 号による災害発生



R2.4 五島慶太未来創造館開館



R2.10 フルデマンドバス運行開始

- 広報あおき発刊 500 号達成
- 役場で電気自動車 3 台導入
- 日産自動車(株)と「電気自動車を活用した災害連携協定」締結
- 村と議会による「気候非常事態宣言」を表明
- 新型コロナウイルス感染症に配慮して、成人式開催、リモートによる参加者も
- 青木村当郷地区岡石工業地整備事業起工式
- アオキノコちゃんクッキー発売開始
- 青木郵便局と「包括連携協定に関する協定」締結
- 青木村地域防災力向上行動計画策定
- 五島慶太未来創造館 沢沢栄一と五島慶太企画展開催
- 村防災無線デジタル化
- 夫神地区にヘリコプター不時着



R2.11 広報あおき発刊 500 号



R2.12 電気自動車を活用した災害連携協定締結



R3.1 気候非常事態宣言表明

令和3年度の主なトピックス

- 村長・村議選行われる 無投票
- コロナワクチン接種スタート
- 北村村政 3 期目スタート
- タチアカネ蕎麦商標登録
- 「小諸市・青木村災害時相互支援に関する協定」調印
- 村づくりアンケート実施 2,000 名対象
- 東京パラリンピック聖火来村
- 村づくり地区懇談会実施 12 地区
- 五島慶太未来創造館入場者 1 万人達成
- タチアカネ蕎麦を使った「Sobaday」発売
- 当郷地区岡石工業地整備事業竣工
- 村マスコットキャラクターアオキノコちゃん 10 歳
- コロナワクチン接種 3 回目スタート
- 当郷地区岡石工業地工場起工式
- 第6次青木村長期振興計画決定
- 新生青木村 65 周年記念式典



R3.4 コロナワクチン接種スタート



R3.5 北村村政 3 期目スタート



R3.5 タチアカネ蕎麦商標登録



R3.6 小諸市・青木村災害時相互支援に関する協定調印



R3.8 東京パラリンピック聖火来村



R3.10~11 村づくり地区懇談会



R3.11 当郷地区岡石工業地整備事業竣工

（４）村民の皆さんの評価

令和３年度に実施した村民アンケート（１,049 名）で、村民の皆さんの村づくりに対する評価や現在の暮らしに対する満足度、今後の村づくりに対する意向を把握しました。

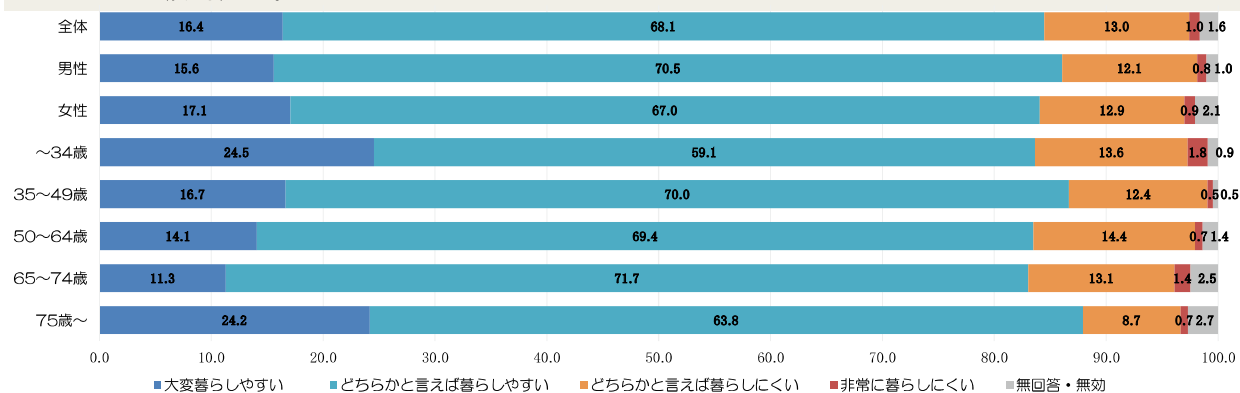
■ 暮らしやすさ

【全体】「大変暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」の合計が約 85%で、「非常に暮らしにくい」は 1%で極めて低い。

【性別】男女ともほぼ同程度の比率傾向で、性別による違いは少ない。

【年齢】34 歳以下と 75 歳以上で「大変暮らしやすい」がいずれも 24%台で、他の年齢層と比べると突出して高く、75 歳以上は「どちらかと言えば暮らしにくい」「非常に暮らしにくい」の合計比率も最も低い。

「どちらかと言えば暮らしにくい」「非常に暮らしにくい」の合計比率は 35～49 歳も比較的低い。



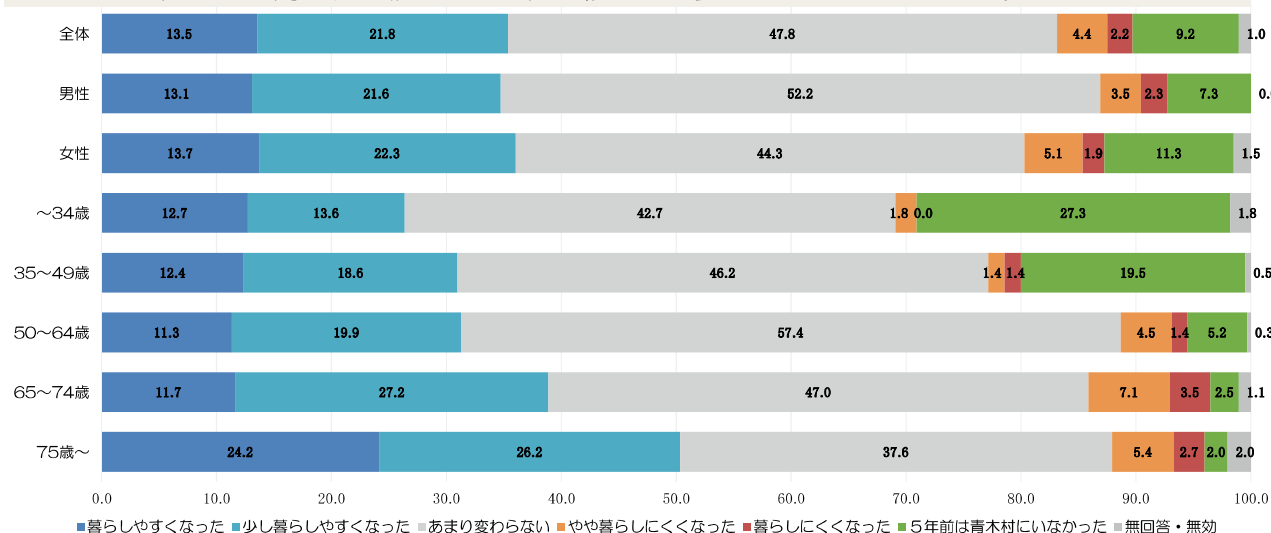
■ 5年前と比べて暮らしやすさ

【全体】「あまり変わらない」が約 48%で最も高いが、これに「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」も加えると約 83%で、5年前と比べ暮らしやすさは同水準以上と感じている方が多い。

【性別】「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」の合計は男女とも同程度の比率だが、女性は「5年前は青木村にいなかった」が男性よりも高く、「あまり変わらない」が低くなっている。

【年齢】「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」の合計比率は、年齢が上がるにつれて高い傾向がある。とくに 75 歳以上ではその比率が半数を超えている。

他方で、「やや暮らしにくくなった」「暮らしにくくなった」の合計比率は、35 歳から 74 歳にかけては、年齢が上がるにつれて高まる傾向があり、65～74 歳ではその合計が 10%を超えている。また 34 歳以下、35 歳～49 歳は、「5年前は青木村にいなかった」が突出して高く、比較的若い世代の移住者が多いことを反映している。



■ 現計画の各分野の施策に対する満足度と重要度

現計画の6分野 44 施策に対する現状の満足度と今後の施策としての重要度をそれぞれ4段階で評価していただきました。その回答を以下のように点数化し、縦軸を重要度、横軸を満足度にした座標上に各施策を位置づけました。

＜満足度と重要度の点数化のルール＞

施策ごとに下記の配点で回答を点数化し、全施策の平均点との差を指標として示している

【満足度】満足・十分：3点 概ね満足・十分：2点 やや不満・不足：1点 不満・不足：0点

【重要度】重要・必要：3点 やや重要・必要：2点 あまり重要・必要ではない：1点 重要・必要ではない：0点

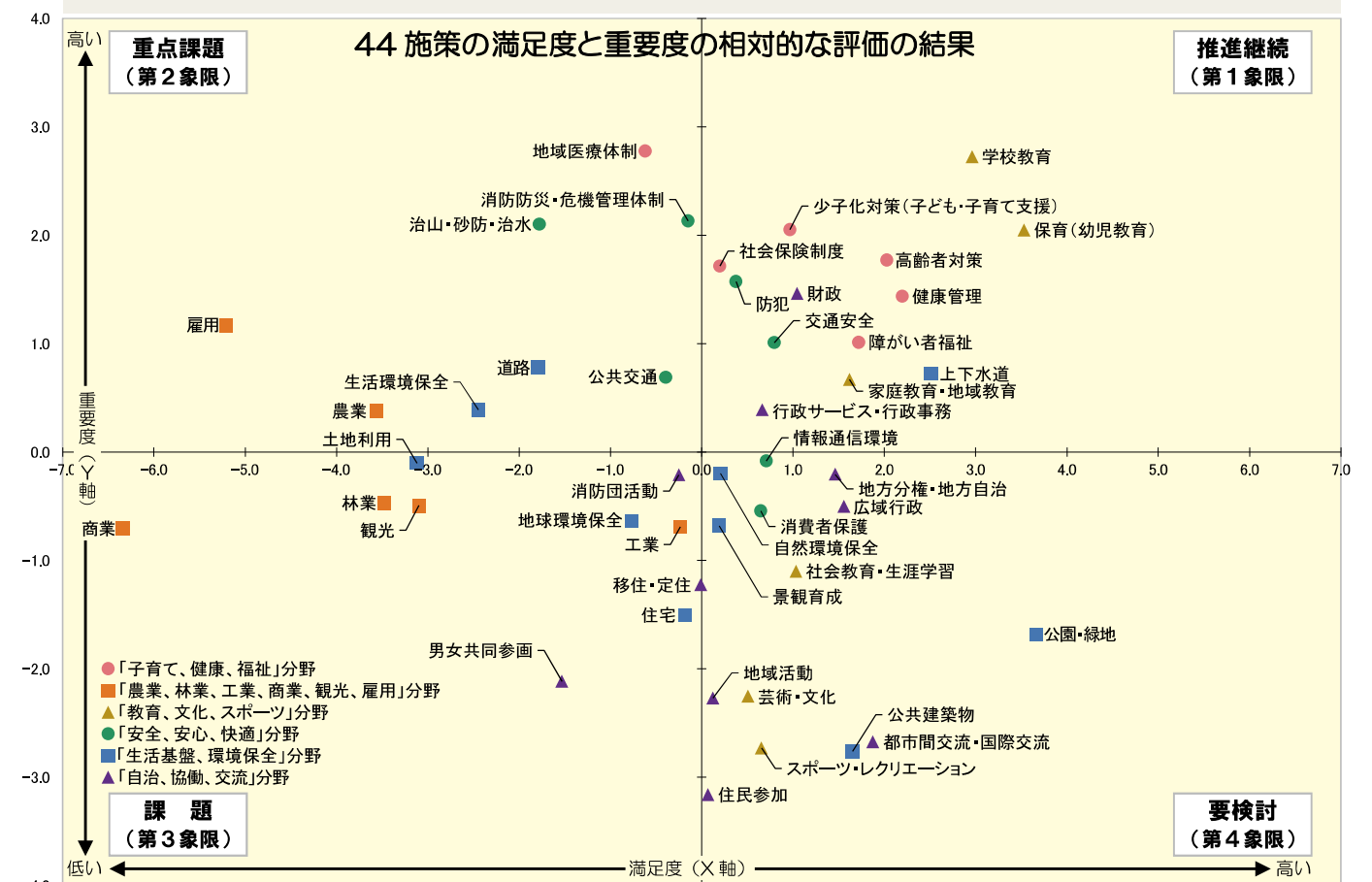
＜グラフの読みとり方＞

【重点課題】（第2象限）：最も課題のある施策であり、重点的に推進する項目・施策

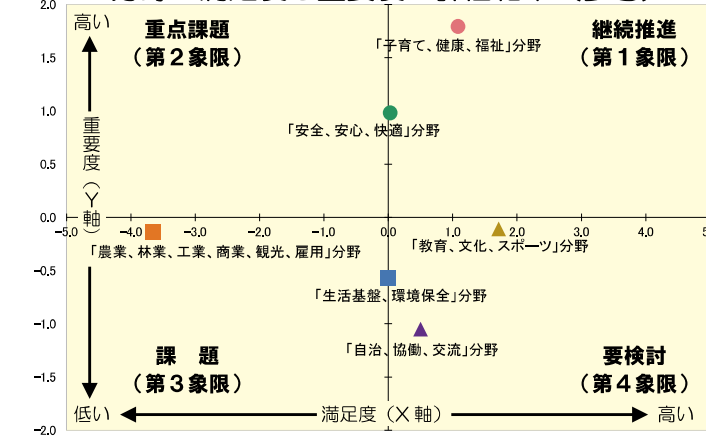
【継続推進】（第1象限）：継続的に村民の満足を得られるよう施策を推進する項目・施策

【課題】（第3象限）：課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する項目・施策

【要検討】（第4象限）：一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する項目・施策



6分野の満足度と重要度の評価結果（参考）



左図に参考として、施策ごとの評価結果を同一分野の施策の平均点で、分野ごとの満足度と重要度としてグラフ化し、特徴を以下にまとめました。

- 横軸の満足度で最も点数が高いのは「教育、文化、スポーツ」分野、次いで「子育て、健康、福祉」分野、3位が「自治、協働、交流」分野となっている。他方、「農業、林業、工業、商業、観光、雇用」分野は満足度が突出して低い。

- 縦軸の重要度で最も点数が高いのは、「子育て、健康、福祉」分野、次いで、「安全、安心、快適」分野が他の分野より際立って高い。

- 上記のグラフの読みとり方にしたとすると、「農業、林業、工業、商業、観光、雇用」分野や「安全、安心、快適」分野が相対的には重点課題として対応の必要性の高い分野として読みとることができる。

2 基本構想

第1章 基本事項と目標

(1) 計画期間

本計画は、令和4年度から令和13年度までの10か年を計画期間とします。

(2) 計画コンセプト ～キャッチフレーズ～

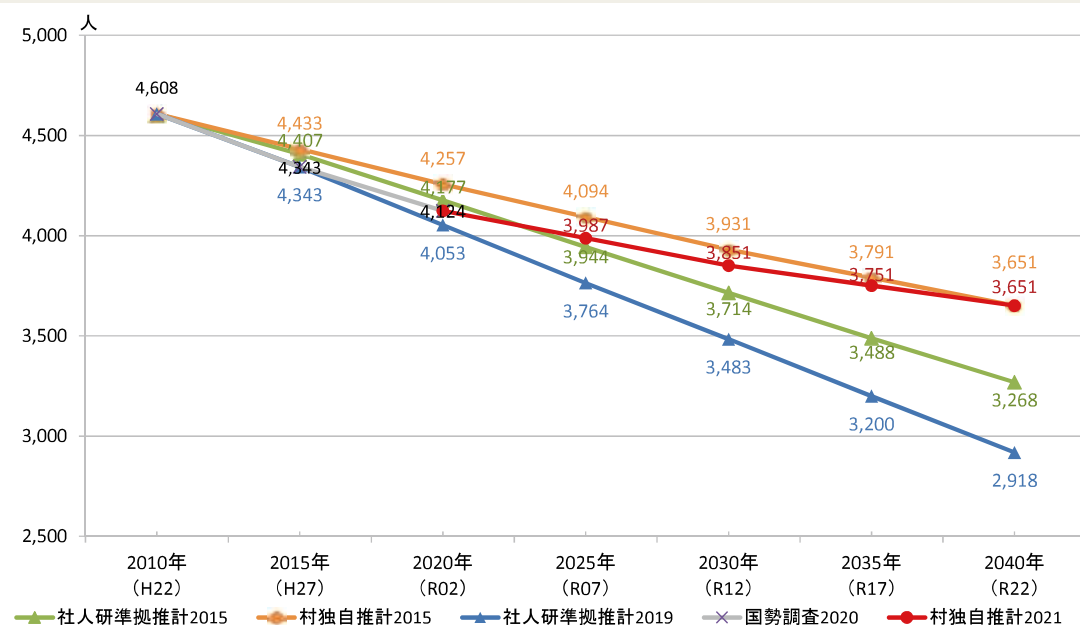
中学生をはじめ村民の皆さんからいただいた意見をもとに、この先10年間の村づくりのキャッチフレーズを下記のとおり決めました。

青木村に住んでいる人の豊かさと、これから青木村とつながる、関わる人も幸せになれる村であること、また、未来に向けて、村民や村に関係する人たちが、村の豊かな自然と、村が育む産業と融和して、調和のとれた村づくりを進めていこう、という思いが込められており、これを10年間の計画コンセプトとして掲げます。

明るい！ 優しい！ あったかい！
笑顔あふれる青木村
 ～人と自然と産業が融和した豊かな郷～

(3) 人口目標

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、将来的に右肩下がり的人口減少が予測されていますが、予測よりよい近年の動向も踏まえ、できる限り人口減の緩和を目指します。



「ひと」が中心の青木村
 あふれる人々の笑顔、優しさ、あたたかさと
 地域の資源で



第2章 村づくりの将来像

キャッチフレーズ

明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村

6つの重点プロジェクトの目標

- 重点プロジェクト1
- 重点プロジェクト2
- 重点プロジェクト3
- 重点プロジェクト4
- 重点プロジェクト5
- 重点プロジェクト6

計画コンセプトとして定めたキャッチフレーズを踏まえ、総合戦略で示す6つの重点プロジェクトの目標と、基本計画に示す施策展開の分野ごとの村づくりの将来像をそれぞれ決めました。
これらの将来像は、青木村長期振興計画審議会の委員の皆さんからいただいたご意見や村民アンケートの記述回答に記載された言葉を用いて表現しています。

～人と自然と産業が融和した豊かな郷～

- 安全・安心を実感できる暮らしの実現
- 医療圏・経済圏・通勤・通学圏・生活圏の拡大による地域活性化
- 安定した雇用の創出と財政基盤の確保
- 健康で生涯活躍できる環境の充実、医療・介護・福祉支援体制の更なる充実
- 若者・子育て世代の転入者の増加と転出者の抑制、小・中学校2クラス化、青木村教育の更なる充実、村を担う次世代の育成
- 地域活性化と移住・定住者の増加、青木村サポーターの拡大、関係団体等との関係強化

分野1 子育て・健康・福祉	分野2 安全・安心・快適	分野3 農業・林業・工業・商業・観光・雇用	分野4 教育・文化・スポーツ	分野5 生活基盤・環境保全	分野6 自治・協働・交流
■目指す将来像 みんなが生き生きと輝ける村 ■主な課題 少子高齢化、人口減少への対応 ■取り組む主な施策 ●地域医療体制 ●子ども・子育て支援（少子化対策） ●社会保険制度 ●高齢者対策 ●健康管理 ●障がい者福祉	■目指す将来像 生活の安全・安心を確保し、心地よく暮らせる村 ■主な課題 危機管理体制の構築 ■取り組む主な施策 ●消防防災・危機管理体制 ●治山・砂防・治水 ●防犯対策 ●交通安全対策 ●公共交通 ●情報通信環境 ●消費者保護	■目指す将来像 農・林・工・商業の共存を実現し、雇用と賑わいを創出する村 ■主な課題 産業の振興、雇用の確保 ■取り組む主な施策 ●雇用対策・企業誘致 ●農業振興 ●商業 ●林業 ●観光振興 ●工業	■目指す将来像 義民の精神から学び、主体性を持った次世代を育てる村 ■主な課題 教育・スポーツ・文化の振興 ■取り組む主な施策 ●学校教育 ●保育（幼児教育） ●家庭教育・地域教育 ●社会教育・生涯学習・人権教育 ●芸術・文化 ●スポーツ・レクリエーション	■目指す将来像 豊かな自然と共生し、地球にも人にも優しい村 ■主な課題 自然環境等に配慮した、快適な生活空間の創造 ■取り組む主な施策 ●道路・河川 ●上下水道 ●生活環境保全 ●土地利用 ●自然環境保全 ●地球環境保全 ●景観形成 ●住宅 ●公園・緑地 ●公共建築物	■目指す将来像 多様な人たちと融合して創る持続可能な村 ■主な課題 持続可能な地域づくり ■取り組む主な施策 ●財政 ●住民サービス・行政事務 ●地方分権・地方自治 ●広域行政 ●移住・定住 ●男女共同参画 ●地域活動 ●自治体間交流・国際交流 ●住民参加

3 第2期総合戦略

総合戦略（重点プロジェクト）

（１）長期振興計画と総合戦略の統合化の経緯と趣旨

青木村総合戦略は、平成 27 年に第 1 期を策定し、平成 31 年に延長改定を行いました。計画期間は当初の平成 27 年度から平成 31 年度を 2 年延長して、令和 3 年度までとなっています。

この総合戦略も、長期振興計画と同様に村全体の包括的かつ総合的な計画で、長期振興計画とも重複する内容も多いことから、この度の第 6 次青木村長期振興計画の策定に併せて、総合戦略を長期振興計画に組み込み、統合化を図りました。

そのなかで総合戦略は戦略的要素を担い、長期振興計画の前期基本計画が分野別に施策内容を示すのに対し、総合戦略はその横串として、分野横断的な施策（プロジェクト）を示すことにより、本村の特性や魅力を活かした持続可能な村づくりを牽引する役割を果たします。

（２）6つの重点プロジェクトによる戦略的な展開

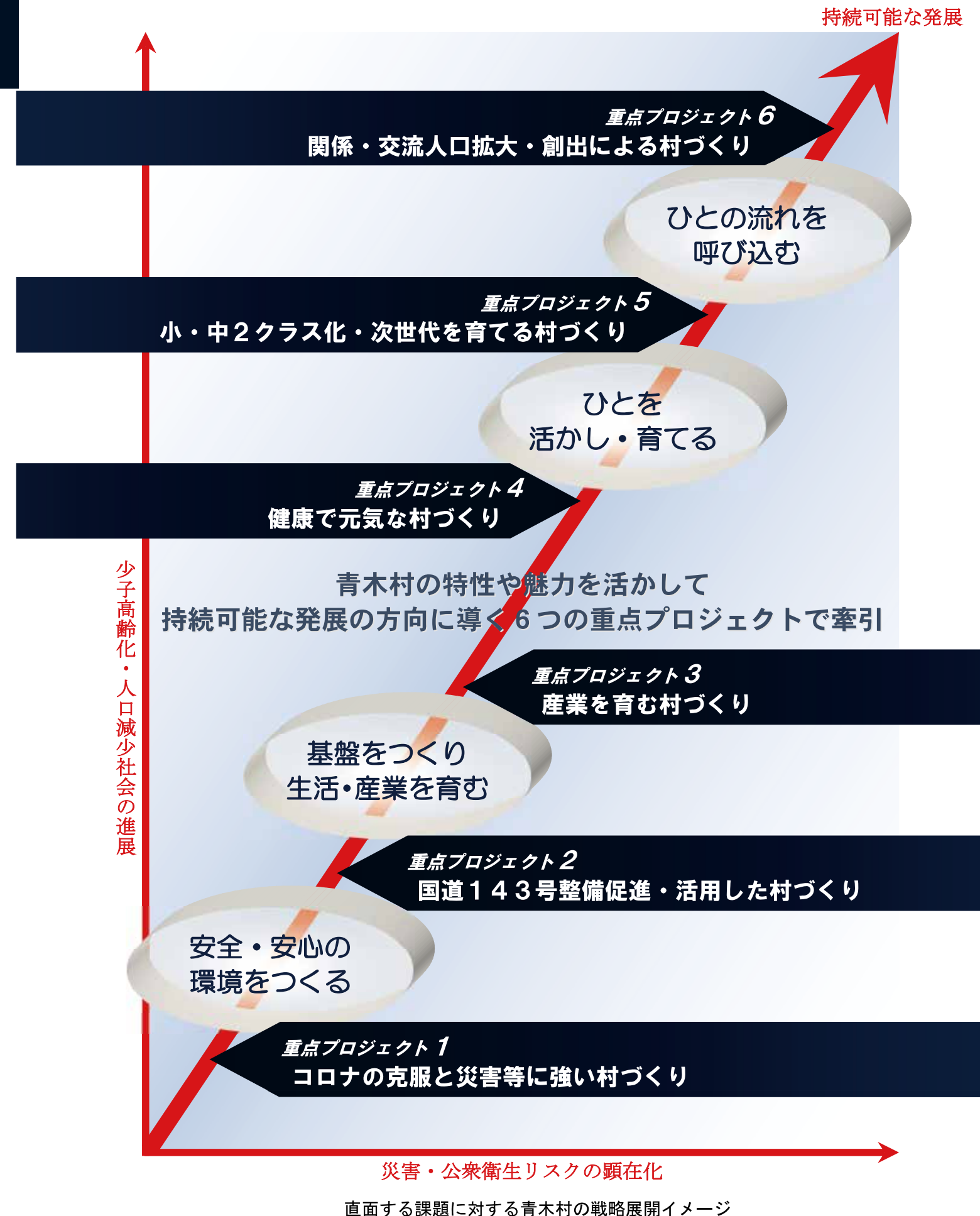
本計画に示す総合戦略では、第 5 次青木村長期振興計画に示した 4 つの重点推進プロジェクトを踏まえて、村づくりの戦略展開の再編を行いました。

少子高齢化や人口減少社会の進展、甚大な被害を及ぼす自然災害や新型コロナウイルスによる公衆衛生等のリスクが顕在化している現状を踏まえ、一見マイナスの方向に進んでいるようにも見える状況を、持続可能な村づくりを目指すチャンス（機会）として捉え、以下の 4 つの視点に基づくストーリーで 6 つの重点プロジェクトを設定しました。

～持続可能な発展に導く 6 つのプロジェクトストーリー～

- 災害や公衆衛生のリスクを抑えるため、プロジェクト 1 に「コロナの克服と災害等に強い村づくり」を掲げ、プロジェクト 2 の「国道 143 号整備」を念頭に、まずは安全・安心の環境をつくる。
- 上田・松本を結ぶ広域基幹軸となる国道 143 号は生活・産業の基盤として、自然との調和を図りつつ、利便性や快適性の高い住環境を生み出すとともに、プロジェクト 3 の「産業を育む村づくり」の取組で、商圏拡大による商業の発展や企業進出による雇用創出を図る。
- 超高齢社会を迎えるなか、プロジェクト 4 の「健康で元気な村づくり」の取組では、生涯活躍できる社会環境をつくり、経験ある人々のパワーを活かす。その一方で、「小・中 2 クラス化」を旗印にしたプロジェクト 5 では、教育に力を入れ、「次世代を育てる村づくり」の取組で将来の担い手を育てる。
- 人口減少社会のなかで、定住人口だけにとられず、様々なかたちで地域に関わりをもつ「関係・交流人口」に着目し、プロジェクト 6 はその「拡大・創出による村づくり」の取組で、人の流れを呼び込み、地域内外の人々の対流を通じて、村の活性を高めていく。

これら 6 つのプロジェクトを基軸にして、長期振興計画に示す前期基本計画の取組の改善・強化を図ることで、青木村を持続可能な発展の方向に導いていきます。



重点プロジェクト 1

コロナの克服と災害等に強い村づくり



危機管理の意識向上と体制強化を図り、新型コロナウイルスや災害などの緊急事態に個人・地域・行政が柔軟かつ適切に行動・対応できる力を育成し、誰もが安全で安心して暮らせる強靱な村づくりを進めます。

目標：安全・安心を実感できる暮らしの実現

◆ 重点施策 1-1 コロナ禍の安全・安心確保とアフターコロナを見据えた対応

① コロナ流行期における感染拡大防止

非常時に組織横断的に対応できる職員体制の構築を図り、関係機関等と連携したワクチンの接種と感染拡大防止のための迅速な情報提供・広報啓発を行うとともに、公共施設や教育現場における感染防止対策の徹底を図り、村民の生活を守るための支援を継続する。

② コロナ終息期・回復期における地域活力再生

コロナによる負の影響を受けている個人や事業者に対して、速やかに、平等かつきめ細かに必要な支援を実施し、地域を支える経済と産業の再生を図るとともに、安全・安心な暮らしの回復を図る。

代表的な KPI：感染リスクの低下

(村民アンケートによる、自身が感じる感染の危険性の比率低下)

◆ 重点施策 1-2 災害に対する自助・共助・公助の取組と連携団体等との関係強化

① 『地域防災力向上行動計画』に基づく取組の普及促進

村民みんなで進める災害対策として、令和元年東日本台風被害の教訓を活かし、自助・共助・公助の観点から策定した『地域防災力向上計画』に基づく3段階（災害前、災害時、災害後）の取組の普及促進を図る。

② 防災基盤整備

防災に関する備蓄や施設整備を推進するとともに、避難路や物流の経路に係る道路などについて国や県などとも連携して、強靱な村づくりを進める。

③ 連携する協定団体等*との協力体制強化

防災に関し、協力・連携する団体と密に情報を共有し、有事に備え必要に応じて、合同訓練の実施や新たな連携先の選定、応援協定等の締結を行う。

※協力・連携する団体等

国、県、青木診療所、厚生連鹿教湯病院、青木村商工会、信州うえだ農協、ラポートあおき、青木村教育委員会、青木村保育園、青木小学校、青木中学校、青木村社会福祉協議会、青木村高齢者クラブ、青木村消防団、青木村ボランティアの会、日赤奉仕団、青木村駐在所、上田地域広域消防川西消防署、静岡県長泉町、新潟県弥彦村、埼玉県坂戸市、埼玉県久喜市、小諸市、山形村、各地区防災組織など

代表的な KPI：地区防災マップの作成済み地区数



2メートル



※KPI：目標の達成度合いを測定する指標のこと。Key Performance Indicator の略称で、日本語では「重要業績評価指標」と訳される。
※地区防災マップ：地区にある危険箇所や指定避難所その他災害時に役立つ情報などを住民自らが書き込み、地域内での情報共有や災害時の行動を考えるために活用する地図。

重点プロジェクト 2

国道143号整備促進・活用した村づくり



国道143号青木峠新バイパスの整備による、防災・医療・経済・産業等各分野での圏域拡大の効果を最大限に活かして、暮らしの安全安心の向上、産業・観光の振興や関係・交流人口の拡大、移住・定住の促進等の地域活性化につなげるための素地をつくります。

目標：医療圏・経済圏・通勤・通学圏・生活圏の拡大による地域活性化

◆ 重点施策 2-1 早期実現に向けての対応

① 事業主体である県との連携、国への予算要望の強化

早期の実現に向けて、事業主体である県と密に連携を取り、地元調整等を行い、事業推進に努める。

また、事業予算を確保するため、整備の促進をする村民会議を中心に関係する団体が連携し、国に対して引き続き要請を行い、早期着工を図る。

② 村内道路の安全対策の強化

国道143号青木峠新バイパスの整備に伴う自動車交通量の増加を想定し、沿道及び接続道路の歩行者・自転車の交通安全の強化を図るとともに、工事用大型車の通行増に備え、既存道路の安全性を確保する。

③ 自然、環境に配慮した整備

整備にあたり、自然豊かな青木村の景観保持に努めるとともに、新バイパス沿線の景観整備にも努め、新しいバイパスが新しい景観名所となるような、景色を楽しめる活動を検討・推進していく。

代表的な KPI：整備に向けた進捗状況

◆ 重点施策 2-2 松本・安曇野地域との交流・連携強化

① 救急医療・災害対応における広域的な連携強化

松本医療圏の総合病院や松本・安曇野地域の自治体との連携を深め、救急医療・災害時対応における広域的な地域間共助体制の強化を図る。医療・防災以外の分野でも連携できることを模索し、推進していく。

② 松本・安曇野との地域間交流の活性化

上田、松本・安曇野の両地域の商業施設や教育施設、産業、観光、歴史・文化その他の地域資源等を活かした経済交流・文化交流の活性化を図り、上田地域に重複した松本・安曇野地域の経済圏、通勤・通学圏、生活圏としての存在価値を高める。

代表的な KPI：24時間の自動車類交通量

◆ 重点施策 2-3 新たな開発や地域外からの物流・人流を受け入れる体制やしきみづくり

① 人流・物流の中継・拠点機能の強化

上田地域と松本・安曇野地域を結ぶ動線の間地点としての立地優位性を活かし、人流・物流の中継・拠点機能を強化して、新たな産業集積を図る。また、関係・交流人口の拡大に向けて、観光業・旅館業と連携し、道の駅あおきをプラットフォームとして、村内各所に人の流れを誘導できるよう、現状の課題を整理し、対策を講じていく。

代表的な KPI：道の駅あおきの年間売上金額

※バイパス：ある地域を迂回させて通過交通がその地域を通らないようにするための道路。
※プラットフォーム：システムやサービスの土台や基盤となる環境。

重点プロジェクト3 産業を育む村づくり



農業・商業・工業・観光の各分野、さらには分野間で相互に連携して、地域資源を活かした産業の育成や企業誘致を推進し、安定した雇用の創出と財政基盤の構築を図ります。

目標：安定した雇用の創出と財政基盤の確保

◆ 重点施策 3-1 魅力ある稼げる農業の実現・新たな農村の価値創造

① 意欲ある多様な担い手の確保・育成

技術面・経済面から新規就農者の自立支援を強化し、中心経営体や受託組織の後継者の確保・育成を図るとともに、地域内外の人材から半農半Xの兼業農家や女性農業者を生み出し、多様な担い手の育成と地域農業を支える組織形成を図る。

② 多面的機能を有するしなやかな農村・農地の継承

『人・農地プラン』に基づき、農地の担い手への集積など農地の流動化の推進と遊休地の発生防止を図るとともに、集団転作の継続や条件不利地での耕作、鳥獣被害等に対する支援や、災害に強い農業環境の整備・維持管理に努め、農村・農地の多面的機能の継承を図る。

③ 農業のスマート化・6次産業化・他分野連携

スマート農業や農業のIT化の取組を支援するとともに、農産物直売所を核にした栽培技術レベルの向上を図り、施設等を利用した冬春農業の推進による農業所得の周年確保を図る。

また、有機農業やタチアカネ蕎麦のブランド化などの取組や、農産物直売所での販売、学校給食への提供、さらには農業体験や育児・教育・健康・福祉など他分野と連携した取組を通じて、消費者と密接につながり、農業・農村の新たな価値の創出を図る。

代表的な KPI：第1次産業就業人口

◆ 重点施策 3-2 企業誘致等による安定した税収・雇用の場の確保

① 企業誘致場所の確保

青木村の環境や景観の魅力に共感し、村に一定の税収と地域に安定した雇用をもたらす企業の積極的な誘致を図るため、ニーズに応じて、事業所用地の迅速な確保や必要な周辺整備に努める。

② 既存企業の継続や新規事業化、多様な働き方の支援

地域と密接に関わる企業の継続を支援するとともに、地域資源を活かして、起業や新規事業化を図る取組を支援し、安定的な雇用の確保や新たな雇用創出につなげる。

また、青木村の良好な環境や既存の施設を活かして、テレワークなどによる新しい働き方を積極的に取り入れるとともに環境を整備し、地域外住民を呼び込み、異業種交流による新たなビジネスの創出や地域活性化につなげる。

③ 商工会との連携、既存インフラの活用・再整備による商業再生

商工会と連携して、消費者のニーズに応じたサービス向上を図るとともに、村の中心部の既存インフラや空き店舗等の活用・再整備を図り、高齢者等にやさしい魅力ある商店街づくりを推進する。

代表的な KPI：村の財政力指数

※半農半X（エックス）：農業を営みながら他の仕事にも携わる働き方。

※人・農地プラン：農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの。

重点プロジェクト4 健康で元気な村づくり



保健・医療・介護・福祉の更なる充実を図り、長く健康を保ちながら、誰もが生涯活躍できる場を提供して、生き生きと暮らせる元気な村づくりを進めます。

目標：健康で生涯活躍できる環境の充実、医療・介護・福祉支援体制の更なる充実

◆ 重点施策 4-1 ライフステージに応じた保健・医療・介護・福祉支援体制の強化

① 妊娠・出産期・乳幼児期

妊娠・出産期にはより専門的に相談できる体制を強化するとともに、わかりやすい情報発信を通じて、乳幼児期に至るまで必要に応じた支援や相談のできる体制や関係構築を図る。

② 児童・生徒・学生期

家庭、学校、行政、地域、NPO 等が連携して、子どもたちの身体的・精神的・社会的な成長を支えるしくみづくりと体制強化を図る。

③ 青年期・壮年期

生活習慣病予防や食生活、運動、心の健康、口腔の健康、酒やたばこの付き合い方など健康への関心や自己の健康管理の意識を高める機会の提供・活用、しくみの構築を図る。

④ 高齢期

健康づくりや介護予防の取組を推進するとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域とも連携して、支えあい活動の推進や生活・介護支援サービスの充実・体制の強化を図る。

代表的な KPI：特定健診受診率

◆ 重点施策 4-2 健康で生涯活躍できる場や機会の充実

① 地域資源を活用した健康増進

地元食材を用いて地産地消の推進を図りながら、3食バランスのよい規則正しい食生活を促すとともに、温泉を活用した健康増進を図る。

② 健康づくりの推進

子どもから高齢者まで、生涯を通じて心身ともに健康でいられるよう、日常生活への運動の取り入れを促し、健康づくりに必要な支援を行う。

③ 生きがいづくり・社会参加機会の確保

年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰もが就業や社会参加の機会が得られ、生きがいのある生活を送れる地域社会の構築を図る。

代表的な KPI：要介護認定率



※スマート農業：ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。

※ライフステージ：年齢にともなって変化する生活段階。

※特定健診：日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のため、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健診。

重点プロジェクト5

小・中2クラス化・次世代を育てる村づくり



小・中学校あおきっ子2クラス化を旗印に、子育て環境の充実や教育の魅力化を図り、青木村で子育てをしたくなる村づくりを進めます。

目標：若者・子育て世代の転入者の増加と転出者の抑制、

小・中学校2クラス化、青木村教育の更なる充実、村を担う次世代の育成

◆ 重点施策 5-1 子育て環境の充実

① 子育て支援サービスの強化

子育て世代のニーズや保護者一人ひとりの実情・意向を踏まえ、それぞれに寄り添ったきめ細かな保育や子育て支援サービスの提供を図る

② 若者・子育て世代の住宅確保

青木村の良好な環境や景観を身近に感じながら、一定の生活利便性を享受できる場所に、空き家等の有効活用を図りながら、できるだけ安価に若者・子育て世代が暮らせる住宅確保の支援を行う。

③ 婚活から子育てまで一体となった支援策（定住移住策含む）

婚活から、出産・子育てまで、トータルに支援を行い、各ステージに応じた相談体制を整備し、移住者も安心して定住できる環境を整備していく。

代表的な KPI：20 歳代後半から 40 歳代前半の人口移動

◆ 重点施策 5-2 青木村ならではの教育の充実

① 保・小・中一貫教育の充実

「青木村の教育」として決定した5つの重点に向かって、保育園・小学校・中学校が連続性をもって、時代のニーズに合った「青木村の教育」に取り組み、必要な支援を提供し、教育の充実を図る。

② 地域内外と連携した教育の充実

地域住民や各種団体、さらには大学や姉妹都市等との連携した社会教育の充実を図る。

③ インクルーシブ教育体制の構築

保健師やカウンセラー、学校関係者等子育てに関わる関係機関が連携し、保護者や子どもたちへの丁寧な支援を一貫して行う体制を整えていく。

④ 既存施設の学びの場としての活用

図書館や歴史文化資料館、民俗資料館、五島慶太未来創造館、郷土美術館など既存の施設を学びの場として最大限に活かすとともに、必要な環境整備や運営の工夫で社会教育環境の更なる充実を図る。また、異地域、異世代との交流を促進し、外部との活発な交流のなかで人材を育てる。

代表的な KPI：五島慶太未来創造館入館者数



※インクルーシブ教育：障がいのある子どもを含むすべての子どもに対し、通常の学級において、一人ひとりの教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行う教育のこと。

重点プロジェクト6

関係・交流人口拡大・創出による村づくり



村の立地条件や自然、農地、歴史・文化、温泉など多彩な地域資源を最大限に活かし、東急グループなど縁のある個人・法人・地域との連携を深めて、地域外から様々なかたちで村に関われる場や機会をつくり、受け入れや連携の体制・しくみづくりの強化・構築を図ります。

目標：地域活性化と移住・定住者の増加、

青木村サポーターの拡大、関係団体等との関係強化

◆ 重点施策 6-1 多彩な地域資源の活用

① 偉人・五島慶太翁の縁による関係人口の創出

青木村の偉人・五島慶太の功績を顕彰する施設・五島慶太未来創造館を来訪契機にして、東急グループの企業、学校、東急沿線の住民、鉄道ファンその他慶太翁とゆかりのある地域の人々を青木村に呼び込み、学びの場としての活用や地域との交流を通じて、関係人口の創出を図る。

② タチアカネ蕎麦のブランド力を向上し、活用した関係人口の創出

タチアカネ蕎麦のブランド力や認知度を高める商品開発や販売戦略を強化し、関連商品購入者に来訪を促すために、ファクトブックなどを添付して商品価値や村の気候風土と関わるストーリーを伝えるなどの工夫により来訪を促し、広く地域の農業や就業・起業の場としての魅力を伝え、関係人口の創出につなげる。

代表的な KPI：タチアカネ蕎麦、関連商品の年間売上金額

◆ 重点施策 6-2 多様な地域外人材の活用

① 信州・青木村観光サポーターズ倶楽部の拡大・拡充

青木村に興味がある、青木村が大好きだ、青木村を応援していただける方で、年1回は青木村に来ていただける方に一定の特典を与え青木村の認知度向上や様々な活動に協力・賛同いただく「信州・青木村観光サポーターズ倶楽部」の会員拡大と活動拡充を図る。また、現行のルールを見直し、より関わりの深いかたちで継続できるよう検討を進める。

② 地域おこし協力隊、地域おこし企業人の活用

青木村の多彩な地域資源の魅力を効果的に発信し、最大限に活用して、青木村を継続的に訪れる人、地域に密接に関わる人を生み出す取組のインキュベーターとして地域おこし協力隊の活用を図る。また、東急グループの来訪者の調整の役割として、東急グループから地域おこし企業人の制度を利用して、社員の派遣をしていただき、東急グループとの関係強化を進める。

③ 大学や学生との連携促進・取組継続

五島育英会の関連校や長野大学や信州大学など近隣の大学との連携を促進し、学生らが地域に主体的に関わり、学びの場としての活用を図る取組を継続することで、地域との交流を深め、関係人口の創出につなげる。

④ 関係のある地域との関係・交流・連携強化

防災協定等を締結するゆかりのある市町村に対して、本来の目的だけでなく、互いの地域課題を中心に、関係を強化し、互いにメリットがあるなかで、連携を強化していく。

代表的な KPI：地域おこし企業人の派遣

※ファクトブック：企業のサービス、歴史や業績を伝えるために数的根拠や事実を元に情報をまとめた資料。

※地域おこし企業人：民間企業に所属したまま地域に入って活動できる制度。

※インキュベーター：誕生を支援する人。

4 前期基本計画

分野別計画

次ページ以降に分野ごとに示す施策は、時代の潮流や社会の要請、村民の皆さんの評価・意向を踏まえ現状・課題を整理したうえで、将来像に照らして、今後の村づくりに必要な施策を網羅的かつ包括的に定めます。

分野及び取組施策の項目の順序は、村づくりアンケート 2021 の結果、村民の皆さんの回答で重要度が高かったものから順に並べています。

キャッチフレーズ	計画分野	村づくりの将来像	村民の評価・意向	時代の潮流 社会の要請	取り組む施策項目
明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村 人と自然と産業が融和した豊かな郷	分野 1 子育て・健康・福祉	みんなが 生き生きと輝ける村	村民アンケートの結果に基づき現行施策において 満足度が低く、重要度が高い施策項目での対策強化	SDGs（持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標）との整合 DXやデジタル社会、ゼロカーボン（脱炭素社会）等への対応	●地域医療体制 ●子ども・子育て支援（少子化対策） ●社会保険制度 ●高齢者対策 ●健康管理 ●障がい者福祉
	分野 2 安全・安心・快適	生活の安全・安心を確保し、 心地よく暮らせる村			●消防防災・危機管理体制 ●治山・砂防・治水 ●防犯対策 ●交通安全対策 ●公共交通 ●情報通信環境 ●消費者保護
	分野 3 農業・林業・工業 商業・観光・雇用	農・林・工・商業の共存を 実現し、雇用と賑わいを 創出する村			●雇用対策・企業誘致 ●農業振興 ●商業 ●林業 ●観光振興 ●工業
	分野 4 教育・文化・スポーツ	義民の精神から学び、 主体性を持った 次世代を育てる村			●学校教育 ●保育（幼児教育） ●家庭教育・地域教育 ●社会教育・生涯学習・人権教育 ●芸術・文化 ●スポーツ・レクリエーション
	分野 5 生活基盤・環境保全	豊かな自然と共生し、 地球にも人にも優しい村			●道路・河川 ●上下水道 ●生活環境保全 ●土地利用 ●自然環境保全 ●地球環境保全 ●景観形成 ●住宅 ●公園・緑地 ●公共建築物
	分野 6 自治・協働・交流	多様な人たちと 融合して創る持続可能な村			●財政 ●住民サービス・行政事務 ●地方分権・地方自治 ●広域行政 ●移住・定住 ●男女共同参画 ●地域活動 ●自治体間交流・国際交流 ●住民参加

分野ごとに現行施策の評価や課題を踏まえて、取組方針と取り組む施策を設定

分野 1

子育て 健康 福祉



みんなが生き生きと輝ける村

1. 現行施策の評価と課題

この分野の施策項目に対する村民の皆さんの評価では、「地域医療体制」が最も重要度が高く、満足度が低い傾向にありました。現状や実態、ニーズを踏まえて、現行施策の改善や新たな施策が求められます。

2. 取組方針と項目別テーマ

新型コロナウイルス感染症が流行し、少子高齢化や人口減少社会も急速に進展するなかで、誰もが安心して医療や介護、福祉サービスの提供を受け、安心して子育てができる環境や体制を整え、みんなが生き生きと輝ける村づくりに資する施策の展開を図ります。

① **地域医療体制** ～安心できる地域医療の構築～

② **子ども・子育て支援（少子化対策）** ～子ども・子育て支援の充実～

③ **社会保険制度** ～社会保険制度の安定性と持続可能性の確保～

④ **高齢者対策** ～介護サービスの充実と

高齢者の生きがいづくり・社会参加の支援～

⑤ **健康管理** ～健康増進・食育推進～

⑥ **障がい者福祉** ～障がい者福祉サービスの充実・自立支援体制の強化～

3. 取り組む施策

① 地域医療体制

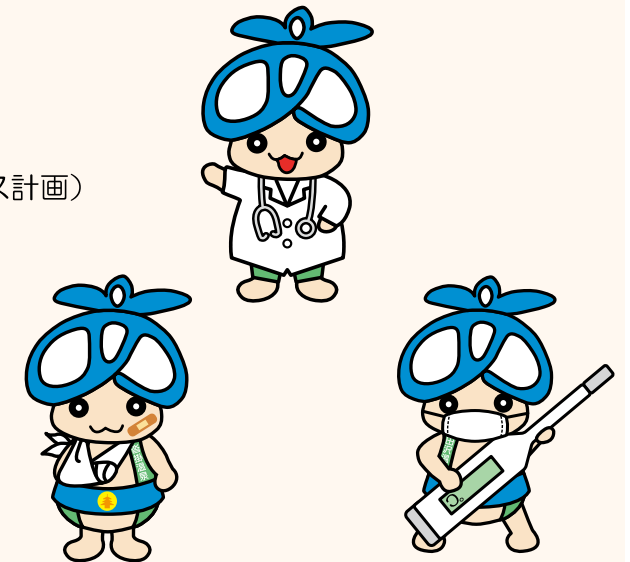
居住地の立地条件も踏まえて、村民の誰もが必要な医療サービスを受けられるよう、広域的な連携、情報通信技術の活用等を図りながら、救急医療を含め、安定的な地域医療体制を構築します。

◆主な施策と強化のポイント

- ・医療圏域内の医師、医療従事者の確保と医療サービスの充実
- ・救急医療体制の充実
- ・医療圏域内の周産期医療体制の充実
- ・在宅医療サービスの充実

＜関連する個別計画＞

- ・青木村保健事業実施計画（データヘルス計画）
- ・青木村健康寿命延伸計画



② 子ども・子育て支援（少子化対策）

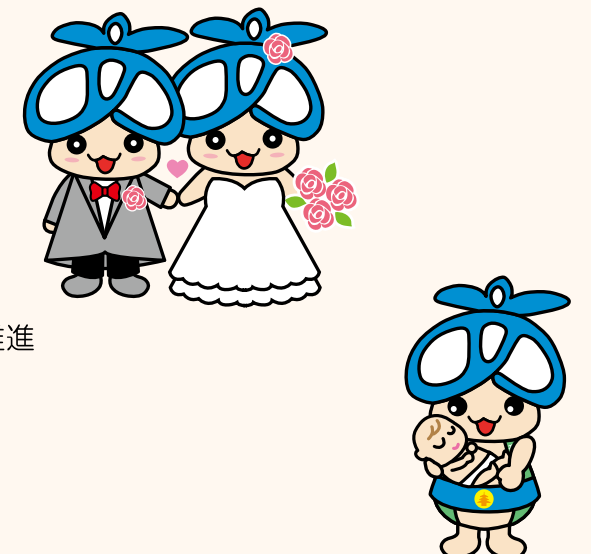
ニーズを踏まえ、婚活や結婚支援サービスの充実を図るとともに、保育所、小学校、中学校、児童センター、教育委員会、上小圏域障害者総合支援センターなど関係機関と連携して、誰もが安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに育てられる体制や環境づくりを推進します。また、児童への支援やひとり親への支援の充実等も含め、子ども・子育て支援を強化します。

◆主な施策と強化のポイント

- ・婚活・結婚の支援の充実
- ・妊娠・出産・育児の支援の充実
- ・学童保育等の子育て支援の充実
- ・児童への支援やひとり親への支援の充実
- ・働きながら子育てができる環境整備
- ・民生児童委員による包括的な相談活動の推進

＜関連する個別計画＞

- ・青木村障害児福祉計画
- ・青木村男女共同参画計画



③ 社会保険制度

国民年金、健康保険、介護保険等の社会保険制度の周知・理解の浸透を図り、各制度の継続的な維持・発展と適切な運用に努めます。社会保障制度改革に的確に対応し、適正な運用に努めます。

◆主な施策と強化のポイント

- ・国民年金の周知
- ・健康保険の周知と充実
- ・介護保険の周知と充実
- ・生活困窮者やひきこもり状態にある方への支援の充実
- ・人権擁護委員による相談活動の充実

<関連する個別計画>

- ・青木村介護保険事業計画
- ・青木村国民健康保険保健事業実施計画



④ 高齢者対策

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、村民同士が互いに支え合うしくみづくりを推進するとともに、高齢者の豊かな経験や知識、技能を活かし、それぞれが社会的役割や生きがいを持ちながら、生き生きと暮らせる地域社会の実現を図ります。

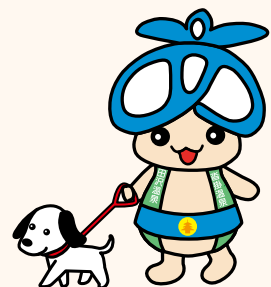
また、介護や高齢者福祉サービスの充実を図り、家族介護者に対するケア体制を強化するとともに、高齢者ができる限り要介護状態にならないよう、健康の保持・増進、介護予防につながる取組に力を入れます。

◆主な施策と強化のポイント

- ・安心して生き生きと暮らせる地域社会の実現
- ・介護・高齢者福祉のサービス・体制の強化
- ・健康の保持・増進、介護予防事業の推進
- ・フレイルやオーラルフレイル対策の強化
- ・生涯学習事業との連携強化
- ・民生委員による生活支援活動の推進

<関連する個別計画>

- ・青木村高齢者福祉計画
- ・青木村介護保険事業計画
- ・青木村生涯学習計画



※フレイル：健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態。

⑤ 健康管理

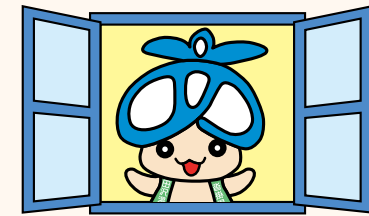
村民一人ひとりの健康意識を高め、食事・運動・睡眠等、生活習慣全体を視野に入れた個々の健康管理を促し、保健師など専門職や関係機関と連携して、各種疾病の発症や進行の予防、心身の健康の保持・増進を図り、健康寿命の延伸につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・健康意識の向上・予防活動の推進
- ・検診体制の充実
- ・感染症対策の徹底
- ・歯科保健の充実
- ・メンタルヘルスケアの充実

<関連する個別計画>

- ・青木村保健事業実施計画（データヘルス計画）
- ・青木村健康寿命延伸計画



⑥ 障がい者福祉

障がい者に配慮した生活環境整備や、関係機関等が連携して地域社会全体で支える体制づくりに努め、ハード・ソフトの両面から障がい者福祉の充実を図りながら、障がい者が社会的に自立し、障がいのある人もない人も住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・障がい者への理解の推進
- ・障がい者に配慮した生活環境整備
- ・障がい者福祉サービス事業所等の関係機関による連携強化
- ・地域社会全体で支える体制の構築
- ・自立・社会参加支援の充実

<関連する個別計画>

- ・青木村障害福祉計画
- ・青木村障害児福祉計画
- ・青木村障害者活躍推進計画



分野 2

安全 安心 快適



生活の安全・安心を確保し、 心地よく暮らせる村

1. 現行施策の評価と課題

この分野の施策項目に対する村民の皆さんの評価では、「治山・砂防・治水」が最も満足度が低く、現状の課題を踏まえた現行施策の改善や新たな対応・対策が必要です。また重要度が最も高い「消防防災・危機管理体制」は継続した現行施策の推進が求められます。

2. 取組方針と項目別テーマ

気候変動等による自然災害のリスクや、超高齢社会を迎えるなかで、交通安全や特殊詐欺など顕在化している様々なリスクに対応して、住民の生活安全を確保し、公共交通サービスなども含め誰もが安心して、心地よく暮らせる村づくりに資する取組を推進します。

- ① **消防防災・危機管理体制** ～危機管理体制強化・意識向上～
- ② **治山・砂防・治水** ～防災・減災対策の推進、地域防災力の強化～
- ③ **防犯対策** ～防犯対策の推進、地域見守り体制の強化～
- ④ **交通安全対策** ～交通安全対策の推進、交通安全意識の向上～
- ⑤ **公共交通** ～地域公共交通サービスの充実～
- ⑥ **情報通信環境** ～情報通信環境の整備・情報通信技術の活用能力の向上～
- ⑦ **消費者保護** ～消費者保護対策の推進・消費者の意識向上～

3. 取り組む施策

① 消防防災・危機管理体制

自助・互助・共助・公助の観点から、行政による防災・減災・縮災対策のみならず、村民一人ひとりの防災意識を高め、地域防災活動の拡充を図ります。また、災害時の自治体間連携など体制の強化に努め、総合的に危機管理対応能力の向上を図ります。

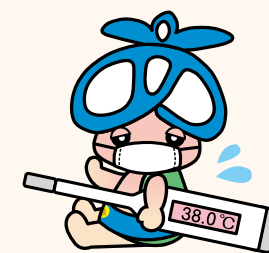
◆主な取組と強化のポイント

- ・防災・減災・縮災対策の強化
- ・地域防災活動の推進
- ・災害時対応に備えた連携の強化
- ・地区防災マップ及びマイタイムラインの作成推進
- ・自助力・互助力・共助力・公助力の育成・強化
- ・災害・防災に関する講座の実施



＜関連する個別計画＞

- ・青木村地域防災計画
- ・災害時・職員初動マニュアル
- ・青木村国土強靱化地域計画
- ・青木村地域防災力向上行動計画
- ・青木村男女共同参画計画



② 治山・砂防・治水

災害危険箇所の把握に努め、関係機関と連携して、自然環境や景観との調和を図りながら、治山・砂防・治水対策事業を推進し、災害の未然防止に努めます。また、村民の災害に対する意識を高めることにより、災害への対応力を強化します。

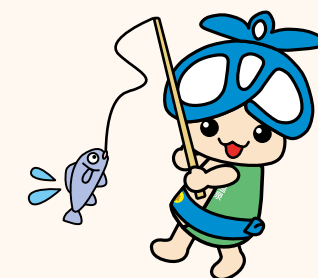
◆主な取組と強化のポイント

- ・治山事業による山地災害対策の強化
- ・砂防事業による土砂災害対策の強化
- ・治水事業による水害対策の強化
- ・自然環境や景観との調和
- ・村民の防災意識の向上



＜関連する個別計画＞

- ・青木村地域防災計画
- ・災害時・職員初動マニュアル
- ・青木村国土強靱化地域計画

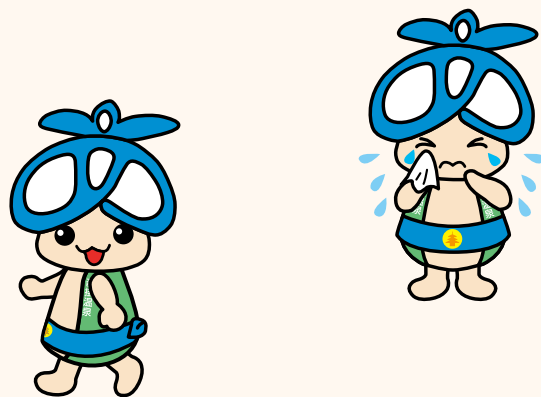


③ 防犯対策

犯罪の多様化・複雑化・組織化に対応して、とくに子どもや女性、高齢者等を狙った犯罪への対策を強化し、関係機関や地域と連携して、防犯意識の向上と犯罪被害の未然防止に努めます。また、防犯設備や防犯広報の充実を図り、犯罪の起こりにくい村づくりを推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・防犯対策の強化
- ・地域の見守り体制の強化
- ・防犯設備の充実
- ・防犯広報の充実



④ 交通安全対策

交通安全に対する意識のさらなる向上を図るとともに、道路の状態や交通の実態を踏まえ、必要な交通安全施設等の整備を進めます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・交通安全意識の啓発
- ・交通の安全性を高めるための必要な設備整備の推進
- ・関係機関との連携による効果的な交通安全運動の推進



⑤ 公共交通

高齢社会を迎え、交通弱者の増加が見込まれるなかで、通勤、通学、通院、買い物など多様な利用ニーズを踏まえ、官民が連携して、より利便性の高い公共交通サービスの提供を図るとともに、交通の便を補完できるしくみを整え、暮らしの足を確保します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・公共交通サービスの充実、利便性向上
- ・持続可能な公共交通網の確保、維持
- ・必要な道路・橋梁等の適切な維持管理と必要な整備の推進
- ・地域の支え合い事業による交通便の補完体制の推進

<関連する個別計画>

- ・青木村地域公共交通計画



⑥ 情報通信環境

高度情報化社会の進展に対応して、インターネットなど村内の情報通信環境のさらなる整備・充実を図りながら、様々な分野で情報通信技術の適切かつ有効な利活用を促すことによって、村民生活の安全性の確保や快適性の向上につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・情報通信環境のさらなる整備・充実
- ・わかりやすい情報提供と迅速な情報発信
- ・公共無線 LAN 環境の整備・利用促進
- ・ICT を活用した情報伝達手段の検討と整備の促進

<関連する個別計画>

- ・青木村国土強靱化地域計画

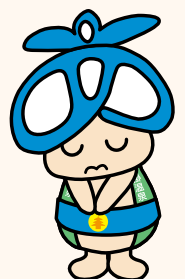


⑦ 消費者保護

消費者保護のための適切な情報提供に努め、関係機関と連携して、相談体制の充実を図るとともに、消費者教育を推進し、消費者の自立を促進することによって、消費者事故やトラブルの未然防止、再発・拡大の防止、被害の救済につなげます。また、交通弱者の消費生活のセーフティネットとして、買い物支援などの充実を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・食品や製品の適切な情報提供の徹底
- ・消費者被害等に向けた消費者の意識啓発の推進
- ・道の駅あおき等村内小売店の日常的な買い物の場としての機能向上
- ・移動販売事業者の誘致をはじめとした買い物弱者支援
- ・交通弱者の消費生活のセーフティネットの充実
- ・相談体制の充実



※ICT：情報通信技術。

※セーフティネット：安心安全を提供するためのしくみ。

分野3

農業 林業
工業 商業
観光 雇用



農・林・工・商業の共存を実現し、雇用と賑わいを創出する村

1. 現行施策の評価と課題

この分野の施策項目に対する村民の皆さんの評価では、「工業」以外の満足度が顕著に低い傾向にあります。いずれの項目でも現行施策の改善が求められますが、なかでも重要度の高い「雇用」と「農業」は、現行施策の改善や新たな対策・対応が求められます。

2. 取組方針と項目別テーマ

国道 143 号の青木峠新バイパスの整備を見据え、またテレワークなど多様な働き方が可能になった社会に対応して、企業誘致や様々な形態で、地域に安定した雇用を確保するとともに、将来の担い手の不足が懸念される農業や林業の魅力を高め、地域の資源を活かした商業や観光の展開によって、農・林・工・商業の共存を実現し、雇用と賑わいを創出する村づくりに寄与する施策展開を図ります。

- ① **雇用対策・企業誘致** ～安定した雇用の確保、多様な働き方の支援～
- ② **農業振興** ～多様で持続可能な農業経営、稼げる農業の推進～
- ③ **商業** ～魅力的な商業・サービス業の育成、地産地消の推進～
- ④ **林業** ～森林資源の活用促進、林業経営の持続性の確保～
- ⑤ **観光振興** ～誰もが訪れたい観光地形成、地域ブランドの醸成～
- ⑥ **工業** ～企業立地環境の整備、ものづくりの産業の活性化～

3. 取り組む施策

① 雇用対策・企業誘致

地域と密接に関わる企業や産業の育成を行うとともに、企業誘致を積極的に進め、起業や新規事業化の支援を行い、安定的な雇用確保や新たな雇用創出につなげるとともに、村内での就職・就農に対する総合的な支援の充実を図ります。また、人材育成や多様な働き方に対応した環境づくりを推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・安定的な雇用確保、新たな雇用創出
- ・村内での就職・就農に対する総合的な支援
- ・人材育成、多様な働き方への対応
- ・起業、創業に対する支援の充実
- ・地域の産業を支える人材育成の促進
- ・企業誘致の促進

<関連する事業>

- ・青木村（UIJ ターン）就業・創業移住支援事業



② 農業振興

農業の実態を踏まえ、幅広い観点から必要な経営支援策を講じて、多様な担い手の確保・育成を図るとともに、優良な農地の保全や有効活用に努め、農産物の生産性や品質を高めながら特産品などの販売力強化や6次産業化を促すことによって、攻めの農業を展開します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・農業の経営支援、担い手の確保
- ・農地の保全、荒廃農地の有効活用
- ・農産物の生産性・品質の向上
- ・販売力の強化、6次産業化の推進
- ・魅力ある農作物のブランド力・知名度の向上

<関連する個別計画>

- ・農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想
- ・人・農地プラン
- ・地域再生計画



③ 商業

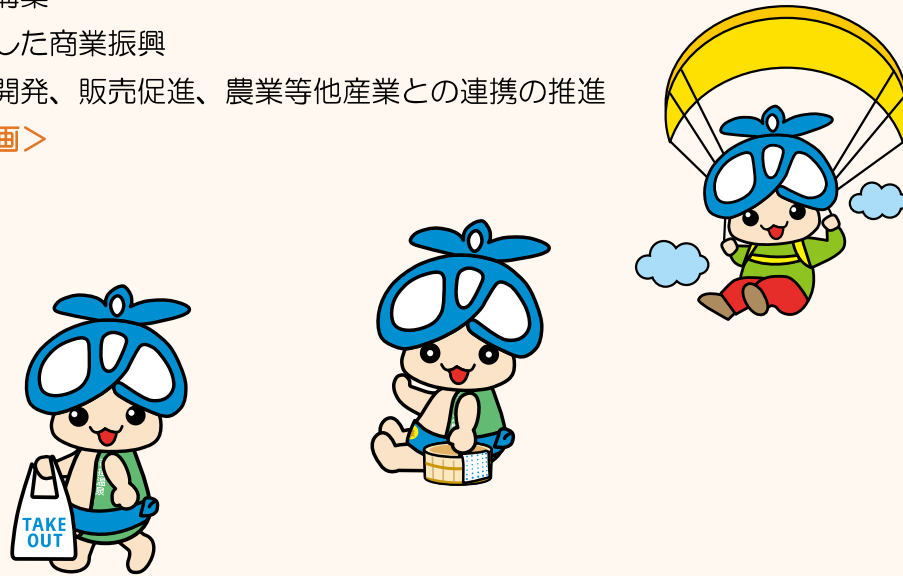
空き店舗対策など住宅や業務機能の集積する中心地の商業機能の維持・向上を図り、歩いて暮らせる村づくりを進めます。また、地産地消の取組を促し、村内外のニーズを取り込みながら、地域経済循環を構築することにより、商業の振興を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・中心地の商業機能の維持・向上
- ・地域経済循環の構築
- ・地域資源を活かした商業振興
- ・地域ブランドの開発、販売促進、農業等他産業との連携の推進

<関連する個別計画>

- ・地域再生計画



④ 林業

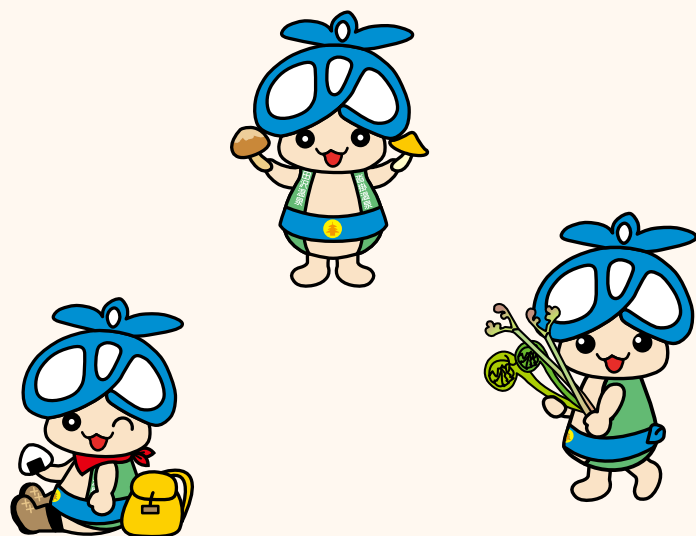
青木村の総面積の約8割を占める山林を持続的かつ最大限に活用していく観点から、森林の多面的機能の発揮につながる計画的な林業の基盤づくりを進めるとともに、後継者や指導者の育成や、森林施業の共同化・合理化を図り、経営体制を強化します。また、木材など森林資源の積極的な利用を促すことによって、林業の継承・発展につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・林業基盤づくりの推進
- ・森林環境譲与税の活用
- ・経営体制の強化
- ・地域産材木の利用促進
- ・森林資源の利用促進

<関連する個別計画>

- ・青木村森林整備計画



⑤ 観光振興

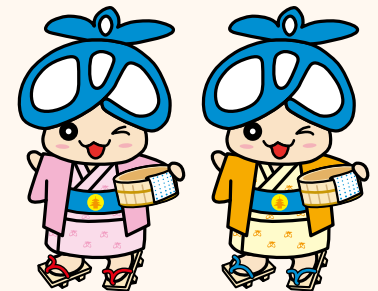
農林業や農山村ならではの暮らしも観光資源として捉え、青木三山や温泉、国宝等、村の自然や歴史等の地域資源を活かしながら、異なる分野や要素間の連携・協働によって、体験・滞在型観光の魅力創出を図ります。また、道の駅あおき、五島慶太未来創造館など観光の拠点施設を中心に、来訪者の受け入れ環境の整備・充実を図り、外国人旅行者や都市部からの来訪者を意識したより効果的な案内・情報発信に努めます。さらには、自治体の枠組みを超えた連携を図り、テーマやストーリー性のある広域観光ルートの形成を推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・関係性がある大学・高校等の修学旅行等の誘致
- ・ICT 技術を利用した疑似体験による魅力の発信
- ・体験・滞在型観光の魅力創出
- ・来訪者の受け入れ環境の整備・充実
- ・効果的な案内・情報発信
- ・広域観光ルートの形成
- ・地域資源を活かした観光振興

<関連する個別計画>

- ・地域再生計画
- ・国民保養温泉地計画



⑥ 工業

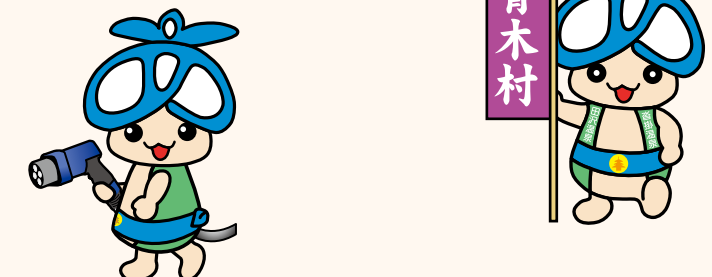
村内に事業所を有する既存企業の経営の安定化と発展を図りながら、周辺環境や景観に調和し、かつ、企業ニーズに見合った事業所用地を確保するとともに、村内への新たな企業進出を促し、工業の維持・発展に努めます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・新分野・自社ブランド・最先端技術などチャレンジする企業への支援
- ・新たな企業誘致の推進
- ・次世代産業の創出
- ・広域・圏域連携による地域産業の発展

<関連する個別計画>

- ・地域再生計画



分野 4 教育 文化 スポーツ



義民の精神から学び、 主体性を持った次世代を育てる村

1. 現行施策の評価と課題

この分野の施策項目に対する村民の皆さんの評価では、すべての項目で比較的満足度が高い傾向にあります。なかでも重要度の高い「学校教育」、「保育（幼児教育）」、「家庭教育・地域教育」については、継続して現行施策の推進・強化が求められます。

2. 取組方針と項目別テーマ

あおきっ子教育や保育園・小学校・中学校の一貫教育などこれまで取り組んできた青木村ならではの教育のさらなる推進を図り、地域と一体となってその魅力を高めるとともに、生涯学習や文化継承活動、スポーツ活動にも力を入れ、村民の充実した生活の実現を図るとともに、主体性を持った次世代を育てる村づくりに資する施策展開を図ります。

- ① **学校教育** ～特色ある学校教育の提供とこれを担保できる人員の確保～
- ② **保育（幼児教育）** ～ニーズにあった質の高い保育・幼児教育の充実～
- ③ **家庭教育・地域教育** ～あおきっ子教育の継承・推進～
- ④ **社会教育・生涯学習・人権教育** ～生涯学習の普及・推進～
- ⑤ **芸術・文化** ～郷土の歴史・文化・伝統の継承・活用・創造～
- ⑥ **スポーツ・レクリエーション** ～みる・する・ささえるスポーツの推進～

3. 取り組む施策

① 学校教育

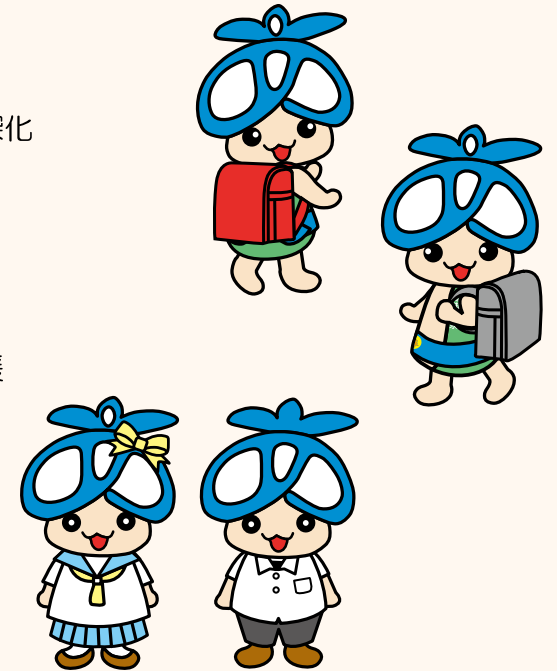
小・中学校全学年2クラス化の実現を目指すなかで、保・小・中が一体となって、家庭や地域も連携して教育体制の強化に努めます。また、青木村ならではの特色ある教育の取組を拡充して教育の質的向上を図り、自ら主体的に学び・考える力を養い、郷土に誇りを持って高度情報化・国際化が進む社会で広く活躍できる人材の育成を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・教育体制の強化
- ・青木村らしい「青木村教育」の更なる深化
- ・教育人材の確保
- ・教育の質的向上
- ・家庭・地域との連携強化
- ・安全で安心して学べる場の提供
- ・保・小・中連携による切れ目のない支援

<関連する個別計画等>

- ・青木村教育大綱
- ・青木村教育 あおきっ子教育 5 か条



② 保育（幼児教育）

幼児教育の視点も取り入れ、保育所の教育的機能を高めながら、家庭や地域社会と一体となって、一人ひとりに目を向け、地域の自然環境や歴史・文化を活かして、心豊かでたくましい子どもの育成を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・家庭・地域社会が一体となった養護と教育の推進
- ・青木村らしい「青木村教育」の更なる深化
- ・児童相談所・上小圏域障害者総合支援センター等専門機関との連携
- ・幼児教育の充実
- ・自然環境や歴史的・文化的資源を活かした保育の推進
- ・きめ細かな保育の実施・ニーズへの対応
- ・安全、安心に配慮した保育環境の整備

<関連する個別計画等>

- ・青木村教育大綱
- ・青木村教育 あおきっ子教育 5 か条



③ 家庭教育・地域教育

各家庭での子どもの正しい生活習慣の定着を促す一方で、家庭環境の多様化や社会環境の変化の実態等も踏まえて、PTA や自治会、地元企業等、村外の隣接地域を含めた地域社会が一体となって子どもの教育のあり方を考え、「村の子どもは村で育てる」を合言葉に、地域教育の充実や村全体で子どもたちの成長を支えるしくみづくりを推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・青木村らしい「青木村教育」の更なる深化
- ・地域全体での“食育”の推進
- ・地域で育てる体制の整備
- ・経済的に支援できる教育制度の拡充
- ・心豊かな子どもの育成、郷土愛の醸成

＜関連する個別計画＞

- ・青木村教育大綱
- ・青木村教育 あおきっ子教育 5 か条



④ 社会教育・生涯学習・人権教育

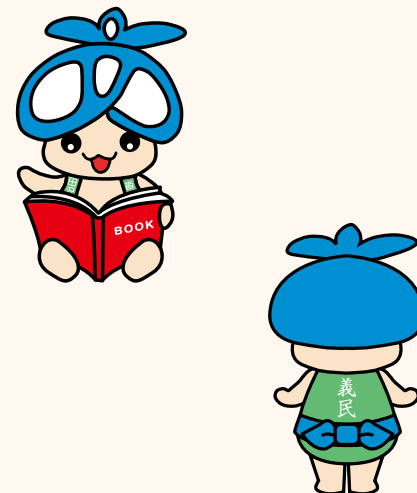
人権が尊重され、差別のない社会の実現に向けて人権教育の一層の推進を図ります。また、公民館活動などを活性化させ、地域における社会教育の取組を促進するとともに、村民一人ひとりが自己を磨き、より健康で、豊かな人生を送れるようにするために、生涯にわたって自発的に学ぶ生涯学習活動を推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・人権教育の推進
- ・人権擁護委員との連携
- ・公民館活動の推進
- ・生涯学習活動の推進
- ・健康延伸プロジェクトとの連携強化
- ・中学校部活動との連携

＜関連する個別計画＞

- ・青木村教育大綱
- ・いのち支える 青木村自殺対策計画
- ・青木村生涯学習計画



⑤ 芸術・文化

有形・無形の文化財等の調査・研究を進めて、青木村の歴史・文化の普遍的な価値の共有を図り、それらの保全・継承につなげます。また、小中学校の学習・活動に取り入れることにより、村民の多様な芸術・文化活動の普及・啓発を図り、芸術文化の振興や新たな文化の創造に結び付けます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・歴史・文化の調査・研究
- ・歴史・文化の保全・継承
- ・芸術・文化活動の普及・啓発
- ・歴史・文化遺産の活用方法の検討
- ・歴史・文化遺産による観光振興
- ・新たな芸術・文化活動の創造
- ・芸術・文化分野の地域間交流の促進



⑥ スポーツ・レクリエーション

親子のふれあいや仲間づくりの場として、日常のストレス発散や気分転換、健康づくり、生きがいづくりの場として、村民が気軽にスポーツやレクリエーション活動を行える環境整備に努めます。また、社会体育の充実・発展を図り、社会参加や世代間交流を促すことによって、地域コミュニティの活性化につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・スポーツやレクリエーション活動の環境整備
- ・社会体育の普及・発展の推進
- ・生涯学習活動の推進
- ・指導者の育成
- ・健康延伸プロジェクトとの連携強化
- ・スポーツによる観光振興



分野5 生活基盤 環境保全



豊かな自然と共生し、 地球にも人にも優しい村

1. 現行施策の評価と課題

この分野の施策項目に対する村民の皆さんの評価では、「道路」と「生活環境保全」の満足度が低く、重要度が高い傾向にあります。これらの施策について、満足度の低い要因を見出し、現行施策の改善や新たな対策・対応が求められます。

2. 取組方針と項目別テーマ

人口減少下において、道路や上下水道など生活や産業の基盤となるインフラの安全性や機能性の確保に努めるとともに、低炭素社会の実現や青木村ならではの豊かな自然環境や景観の保全を図る土地利用を推進します。また空き家や低未利用地の有効活用を図り、持続可能で豊かな自然と共生しながら、地球にも優しい村づくりにつながる施策展開を図ります。

- ① **道路・河川** ～計画的な整備と安全性の確保、適正な維持管理～
- ② **上下水道** ～持続可能な上下水道事業の運営～
- ③ **生活環境保全** ～生活環境の保全、公衆衛生の向上～
- ④ **土地利用** ～適正な土地利用の推進、低未利用地の有効活用促進～
- ⑤ **自然環境保全** ～豊かな自然環境の保全・継承～
- ⑥ **地球環境保全** ～低炭素・循環型社会形成への貢献～
- ⑦ **景観形成** ～美しいふるさとの景観の保全・継承・育成～
- ⑧ **住宅** ～空き家の活用促進、良好な住環境の創出～
- ⑨ **公園・緑地** ～公園やレクリエーション空間の充実・魅力化～
- ⑩ **公共建築物** ～公共建築物の適正な維持管理・活用促進～

3. 取り組む施策

① 道路・河川

広域的視点から、国土・県土レベルでのネットワーク形成に資する幹線道路の整備を促し、村内の暮らしの利便性の向上や安全・安心の確保、産業の発展、観光の振興につなげます。また、地域住民の協力を得ながら、身近な生活道路、河川に必要な整備・改修を計画的に進めるとともに、安全確保や機能保持のための適切な維持管理に努めます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・ 幹線道路の整備
- ・ 生活道路の整備
- ・ 国道 143 号青木峠新バイパス整備事業への対応
- ・ 関連施設の長寿命化
- ・ 河川改修と適切な管理

<関連する個別計画>

- ・ 青木村橋梁長寿命化修繕計画
- ・ 青木村国土強靱化地域計画



② 上下水道

上下水道は道路と同様に生活に欠かせないライフラインとして、必要な施設の新たな整備や既存施設の有効利用を促すとともに、将来にわたって安定的な供給・処理サービスが提供できるよう、各施設の設備の保守点検、老朽化した施設の更新や耐震化等の推進を図ります。また、上下水道それぞれの適切な会計処理に努めます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・ 上水道施設の整備・更新
- ・ 下水道施設の整備・更新
- ・ 健全経営による持続可能な事業運営
- ・ 県や民間企業との連携

<関連する個別計画>

- ・ 青木村国土強靱化地域計画
- ・ 公営企業経営健全化計画



③ 生活環境保全

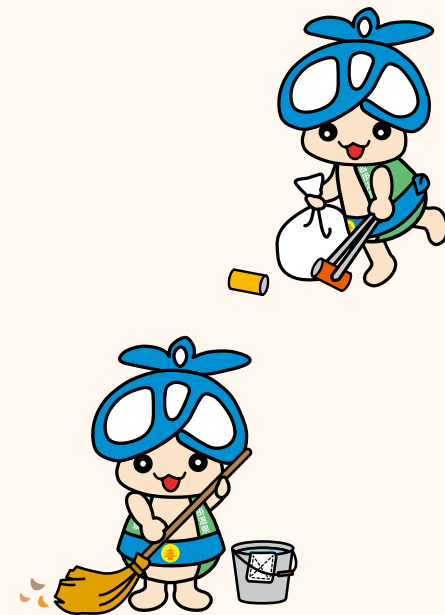
今後増加が見込まれ、生活環境に悪影響を及ぼすことも想定される空き家等の適正管理を図ります。また、広域的な連携のもとに、庭ごみの処理体制の効率化に努め、産業廃棄物の計画的かつ適正な処理を促します。さらには、人々のマナーやモラルの向上を図りながら、定期的な調査やパトロールにより、良好な生活環境の保全に努めます。

◆主な取組と強化のポイント

- 空き家等の適切管理
- 廃棄物処理体制の構築
- ゴミの減量化と再資源化の推進
- 食品ロスの削減の推進
- 資源循環型施設早期建設への協力
- マナーやモラルの向上
- 調査及びパトロールの実施

<関連する個別計画>

- 青木村空き家等対策計画
- 上田地域広域連合ごみ処理広域化計画



④ 土地利用

土地は生活基盤のみならず、生産・生存基盤として、計画的かつ適正な利用の推進を図ります。また、森林、農地、宅地など各土地利用のポテンシャルを最大限に活かして、自然環境や農地を守りながら、良好な生活・産業空間をつくり、村の発展につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- 森林の保全と利活用
- 農地の保全と利活用
- 宅地の有効活用の推進
- 地籍調査の推進
- コンパクトな村づくりの推進
- 開発事業者等へ適切な指導



⑤ 自然環境保全

青木村の豊かな自然環境を次世代に継承するために、人間活動との調和を図りながら、地域の財産として、本来の姿を守る取組を推進します。また、産業・観光・教育・住環境等、様々な分野で有益な機能・役割を果たす資源・空間の適正な利用を促します。

◆主な取組と強化のポイント

- 自然環境の保全と人間活動との調和
- 自然環境の適正な利用
- 自然環境保全活動団体等への支援



⑥ 地球環境保全

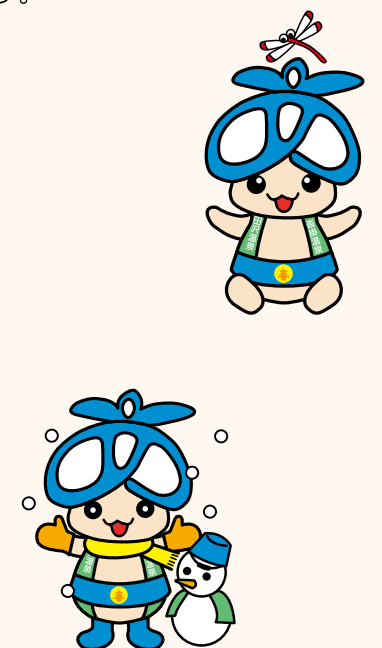
グローバルな視点から、環境に優しい生活スタイルの実践や産業・経済活動を促すとともに、再生可能エネルギーの利用を図り、低炭素社会や循環型社会、自然共生社会の構築に努め、持続可能な地球・社会の実現につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- 環境教育、住民意識の啓発
- 環境に優しい生活スタイル、産業・経済活動の推進
- 再生可能エネルギーの適切な利用
- 新たなクリーンエネルギーの導入の検討
- 公共施設等での温室効果ガス排出の抑制の促進

<関連する個別計画>

- 青木村地球温暖化対策実行計画（令和4年度策定）



⑦ 景観形成

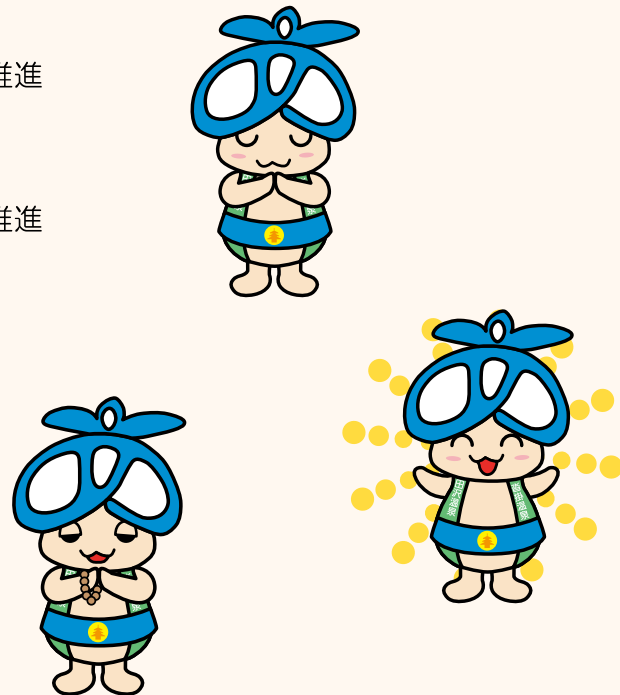
青木村のアイデンティティとして青木三山を望む眺望景観、自然や歴史・文化と人々の生活や産業が調和した景観等、地域住民が愛着を持つふるさとの景観を守るとともに、来訪者の目線でより魅力ある景観の育成を推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・景観を望む視点場の保全・整備の推進
- ・景観の保全
- ・景観の育成
- ・地域の特性を活かした景観形成の推進
- ・新たな開発の景観への配慮

＜関連する個別計画＞

- ・青木村美しい村づくり条例



⑧ 住宅

既存の村営住宅を活かし、今後増加が見込まれる空き家等の有効活用を促しながら、移住希望者のニーズや多様な居住形態を踏まえ、青木村が「日本一住みたい村」として、より多くの人々に選ばれるよう、良質な住宅の整備・供給を推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・村営住宅の充実・更新
- ・空き家等の有効活用
- ・住宅の整備・供給支援
- ・民間による公営住宅建設の促進
- ・移住者等のニーズにあった住宅施策の推進

＜関連する個別計画＞

- ・青木村空き家等対策計画
- ・青木村公営住宅整備計画



⑨ 公園・緑地

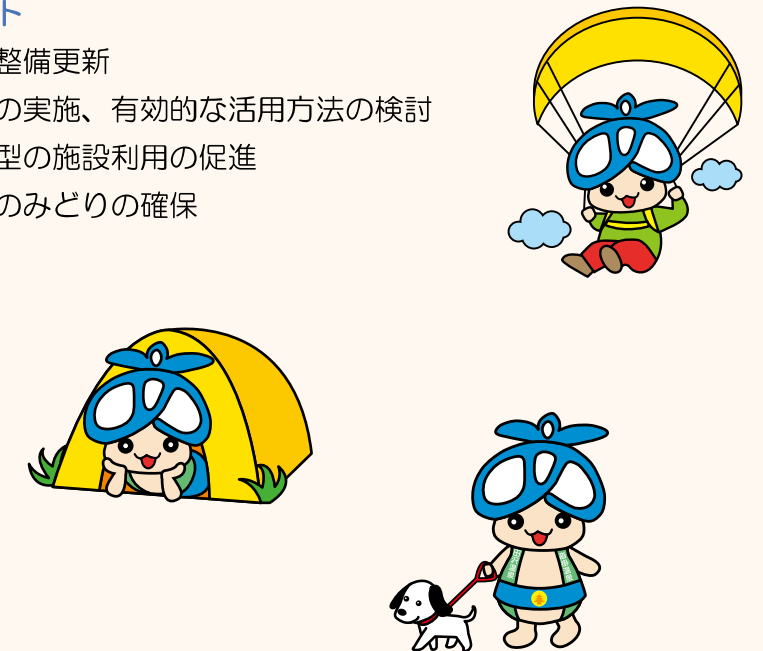
公園は様々な人々が利用する場として、安全に利用できるよう、適切な維持管理に努めながら、レクリエーションやコミュニケーションなど多様な利用ニーズを踏まえ、立地や環境の特性を活かして、より親しめる公園づくりを地域とともに推進します。また、各組織や地域住民等による緑化の取組を促し、身近なみどりの確保を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・公園・緑地の維持管理・整備更新
- ・公園を活用したイベントの実施、有効的な活用方法の検討
- ・周辺施設と連携した滞在型の施設利用の促進
- ・緑化の促進、生活空間でのみどりの確保

＜関連する個別計画＞

- ・青木村都市再生整備計画



⑩ 公共建築物

利用者ニーズや建築物の躯体・設備の老朽化に対応していくために、長期的な視点で計画的な維持管理・更新に努め、各施設の長寿命化を図ります。また、各施設の目的に沿った機能を保ちながら、村全体での各施設の規模・配置の最適化を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・公共施設の適切な維持管理・更新
- ・施設機能の充実
- ・各施設の規模・配置の最適化
- ・公衆無線 LAN 環境の整備
- ・安心して利用できる環境整備

＜関連する個別計画＞

- ・青木村学校施設長寿命化計画
- ・青木村耐震改修促進計画
- ・青木村公共施設等総合管理計画
- ・青木村公共施設等総合管理計画 個別計画
- ・青木村国土強靱化地域計画



分野 6

自治 協働 交流



多様な人たちと 融合して創る持続可能な村

1. 現行施策の評価と課題

この分野の施策項目に対する村民の皆さんの評価では、「男女共同参画」が重要度は高くないものの、満足度が最も低い評価で新たな対策や改善が求められます。また、「財政」、「行政サービス」、「行政事務」は重要度が高く、継続した対策が必要です。

2. 取組方針と施策テーマ

デジタル社会に対応して、デジタル技術の普及・活用を図り、よりよい行政サービスの提供を図るとともに、事務作業等の効率化を図ります。自主自立の村として財政の安定化を図りつつ、他の自治体や地域、企業との連携を深め、定住人口のみならず、関係・交流人口を呼び込む施策展開を通じて、多様な人たちと融合して創る持続可能な村づくりを推進します。

- ① 財政 ～安定した自主財源の確保による財政基盤の安定化～
- ② 住民サービス・行政事務 ～行政運営の効率化とデジタル化の推進～
- ③ 地方分権・地方自治 ～住民自治の推進～
- ④ 広域行政 ～近隣又は縁のある自治体との連携強化～
- ⑤ 移住・定住 ～多様な働き方・暮らし方に対応できる移住・定住の促進～
- ⑥ 男女共同参画 ～男女共同参画の推進～
- ⑦ 地域活動 ～地域コミュニティ活動の活性化～
- ⑧ 自治体間交流・国際交流 ～国内外の都市との交流促進～
- ⑨ 住民参加 ～住民主体の地域づくりの推進～

3. 取り組む施策

① 財政

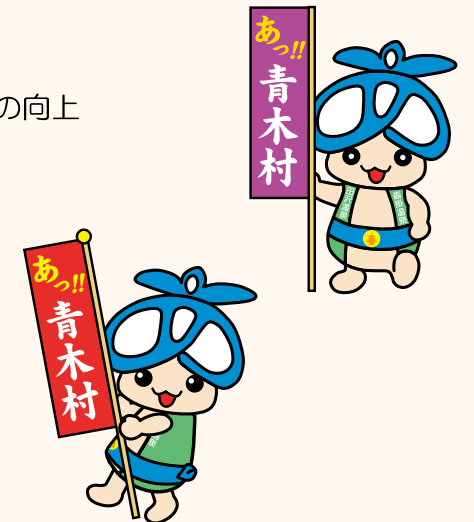
行財政改革を推進して効率的な行政運営に努め、歳出の抑制を図るとともに、長期的な視点で自主財源の確保につながる取組の推進を図り、歳入の増加につなげることにより、自立した村として、健全かつ持続可能な財政基盤の確立を目指します。また、村の財政状況を村民にわかりやすく伝え、広く理解を促します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・健全な財政運営の維持
- ・公平・適正な課税の促進、税・使用料等の徴収率の向上
- ・財政状況の周知
- ・村保有財産等の適正な管理と有効活用
- ・公会計の統一的な基準による財務書類の作成

<関連する個別計画>

- ・地域再生計画
- ・青木村地区都市再生整備計画
- ・青木村辺地総合整備計画
- ・青木村公共施設等総合管理計画
- ・青木村公共施設等総合管理計画 個別計画



② 住民サービス・行政事務

計画的な行政運営を進めながら、継続的な評価・改善を行い、職員の資質向上や事務の効率化を図ることによって、行政サービスの向上に努めます。また、村民への情報提供の充実や広聴機会の確保に努めるとともに、情報の管理やセキュリティを徹底し、村民に開かれ、かつ、信頼される行政を目指します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・行政運営の継続的な評価・改善
- ・職員の資質向上、事務の効率化
- ・情報提供の充実・広聴機会の確保
- ・行政情報の管理やセキュリティの強化
- ・人材育成と組織の適正化
- ・マイナンバーカードの普及、DXに対応した行政サービスの提供

<関連する個別計画等>

- ・青木村新型インフルエンザ等業務継続計画
- ・災害時・職員初動マニュアル
- ・職員定員管理



③ 地方分権・地方自治

地方分権の進展に対応して、関係機関と必要な連携を図りながら、より機動力のある行政運営を展開し、自主自立の村として自律的な行政運営を推進します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・小さな村を活かした機動力のある行政運営の展開
- ・自律的で持続可能な行政運営

④ 広域行政

上田圏域を中心に周辺自治体との連携を深めて、広域行政の進展を図ります。また、既存の枠組みにとらわれず、隣接地域や圏域外の自治体も含め、多様な連携関係を構築して、広域的な取組を拡充し、連携する地域・自治体との一体的な発展を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・広域行政の推進
- ・多様な連携体制の構築・連携の強化

<関連する個別計画>

- ・上田地域広域連合広域計画



⑤ 移住・定住

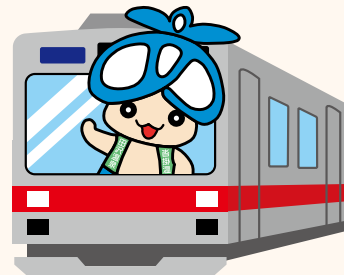
青木村の特性や魅力を最大限に活かし、周辺自治体や関係機関とも連携・協力して、U/I ターンがしやすくなるよう支援の強化を図るとともに、移住・定住につながる環境づくりや効果的な情報発信に努め、村の発展と目標人口の達成につなげます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・移住・定住支援の充実
- ・多様なニーズに対応した住宅整備
- ・効果的な情報発信
- ・二地域居住体験住宅の利用促進
- ・多様なライフスタイルに対応した相談体制の充実、集落支援員の配置

<関連する個別計画等>

- ・青木村空き家等対策計画
- ・青木村空き家等登録制度



⑥ 男女共同参画

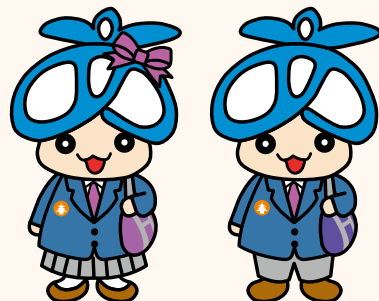
男女の違いを認めつつ、これまでの家事、仕事、地域活動等への関わり方や、男女それぞれの固定化された意識を見直し、問題の改善を図ることによって、それぞれが個人として尊重され、ともに活躍できる男女共同参画社会の実現を目指します。

◆主な取組と強化のポイント

- ・男女共同参画計画の推進
- ・ワークライフバランスの実現
- ・女性の村づくりへの参画の促進

<関連する個別計画>

- ・青木村男女共同参画計画
- ・青木村特定事業主行動計画



⑦ 地域活動

既存のコミュニティによる地域活動を支援しながら、新たなコミュニティ形成や活動展開を推進して、地域コミュニティ活動の活性化・多様化を図るとともに、より多くの人々が参加しやすい環境づくりに努めます。また、行政や関係団体等と連携して、地域活動を主導できる人材や組織の育成を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・地域コミュニティ活動の活性化・多様化
- ・人材育成の推進
- ・新たなコミュニティ形成の支援
- ・村民活動支援金事業の推進

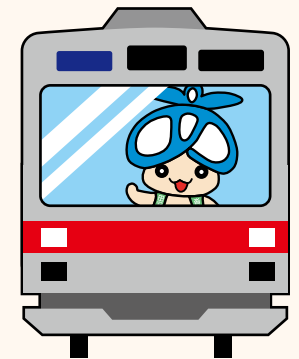


⑧ 自治体間交流・国際交流

国内外の既存の姉妹都市との関係性や交流を深めるとともに、様々な自治体や地域・団体等と新たな友好関係を築き、地域、国籍、人種、世代を超えた多様な交流活動を促すことによって、異文化への理解や関心の向上、地域活性化、災害時の協力関係の構築等につなげます。また、東急グループなど関係する団体等との関係性を深め、村づくりに必要な人材や知識など村にない部分を支援していただく方法を検討していきます。

◆主な取組と強化のポイント

- ・姉妹都市との交流活動の充実
- ・国際的に貢献できる人材の育成
- ・交流活動による地域の活性化
- ・効果的な情報発信
- ・企業人材派遣制度の活用

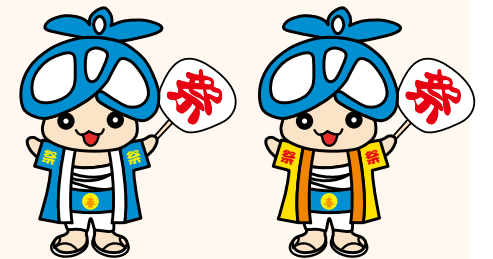


⑨ 住民参加

行政による各種計画の策定やその後の実行・評価・改善の各段階において、村民が関わる機会の充実を図ります。また、個別の施策展開における村民の主体的な取組を支援し、村づくりに対する住民参加の促進を図ります。

◆主な取組と強化のポイント

- ・行政計画への住民参加機会の充実
- ・村づくりに関する情報発信の充実
- ・村民の村づくりに関する取組の支援
- ・村民との双方向コミュニケーション環境の構築（ICT 技術等を活用）



※U/I ターン：主に大都市圏の居住者が地方に移住する形態の総称で、U ターンは地方から大都市圏に移住した人が再び地方の生まれ故郷に戻ること。I ターンは地方から大都市圏に移住した人が出身地とは別の地方に移り住むこと。J ターンは地方から大都市圏へ移住した人が、生まれ故郷近くの地方の核都市や中小都市等に移り住むこと。

5 計画の進め方

(1) 計画の実施体制

「第2期総合戦略」としてまとめた6つの重点プロジェクトや「前期基本計画」として分野ごとにまとめて整理した個々の取組の実施にあたっては、行政だけではなく、村民、自治会その他地域の団体、事業者、関係機関等が一丸となって、本計画の策定の視点や基本事項、全体の方向性を共有し、必要に応じて近隣の地域や自治体等とも連携を図り、それぞれができることを見出しながら、協働で進めていくことを基本としています。そのため、次代を担う若い世代をはじめ全村民に本計画の内容の周知を図り、一人ひとりが村づくりに積極的に関わる意識を高めて、各々の実践行動につなげます。

また本計画は総合的な計画であり、ここに示す内容も多岐にわたるため、各プロジェクトや個々の取組のなかで行政が担うべきものについては、計画期間内における優先順位を明確にし、必要な財源の確保を図りながら、3年単位の実施計画を策定して、具体的な事業の実施やより詳細な個別計画の策定等を進めます。

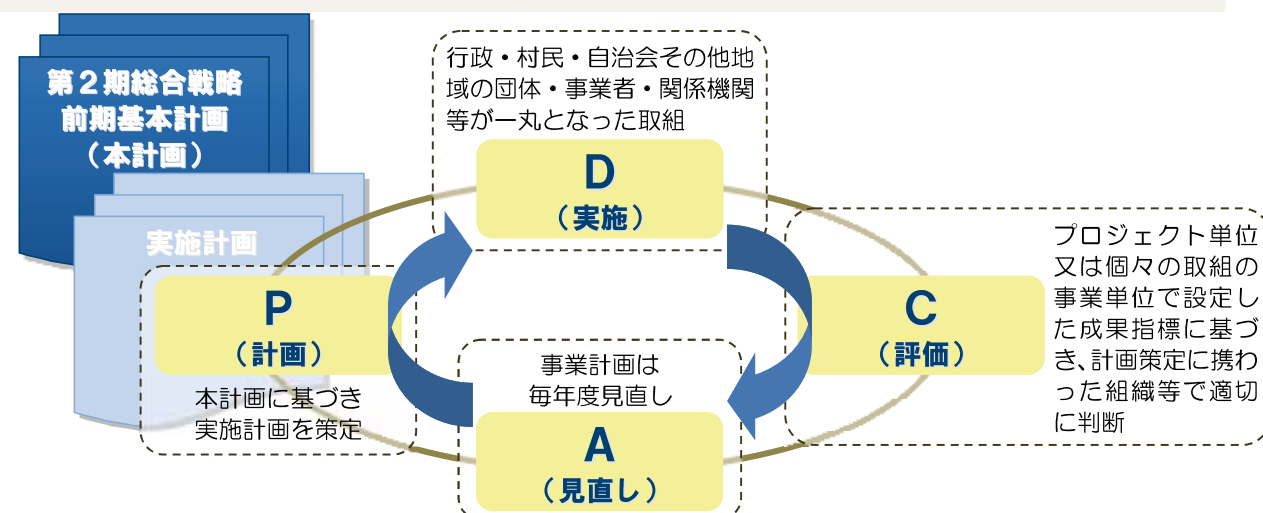
本計画に基づく取組を実施していくのは最終的には「ひと」であることを重視し、事業ごとに必要な人材の確保や組織形成を図り、円滑かつ効果的に実施できる体制を整えながら、個々の取組を推進します。

(2) 計画の運用方法

本計画に基づいて策定する実施計画は、PDCAのサイクルで回し、毎年度事業内容の評価と、国内外の社会情勢の変化や分野ごとの課題、取り巻く環境の変化等を踏まえた見直しを行い、より実効性のある計画にしていくことにより、計画内容の着実な実現を図ります。

年度ごとに実施する各事業の評価については、事業単位で定量的又は定性的に成果を測れる指標を定め、計画策定に携わった組織等を介して適切な判断を行います。

その際、6つの重点プロジェクトについては、プロジェクトごとに各成果を包括的に捉えられる総合的な指標とその目標値を定め、適切な時期にそれら各数値を測定して、達成状況を把握し、総合的な評価を行います。また併せて、村民アンケート等も実施し、村民の皆さんの実感に基づく評価や意見の反映を図ります。



～SDGs（持続可能な開発目標）17の目標～



国の定めた「持続可能な開発目標（SDGs）実施方針」では、地方公共団体における各種計画や戦略、方針の策定などにSDGsの要素を最大限反映させて、住民や企業などといった官民連携による先駆的な取り組みにより、SDGsの達成と持続可能な地域づくりによる地方創生の実現を目指すこととしています。

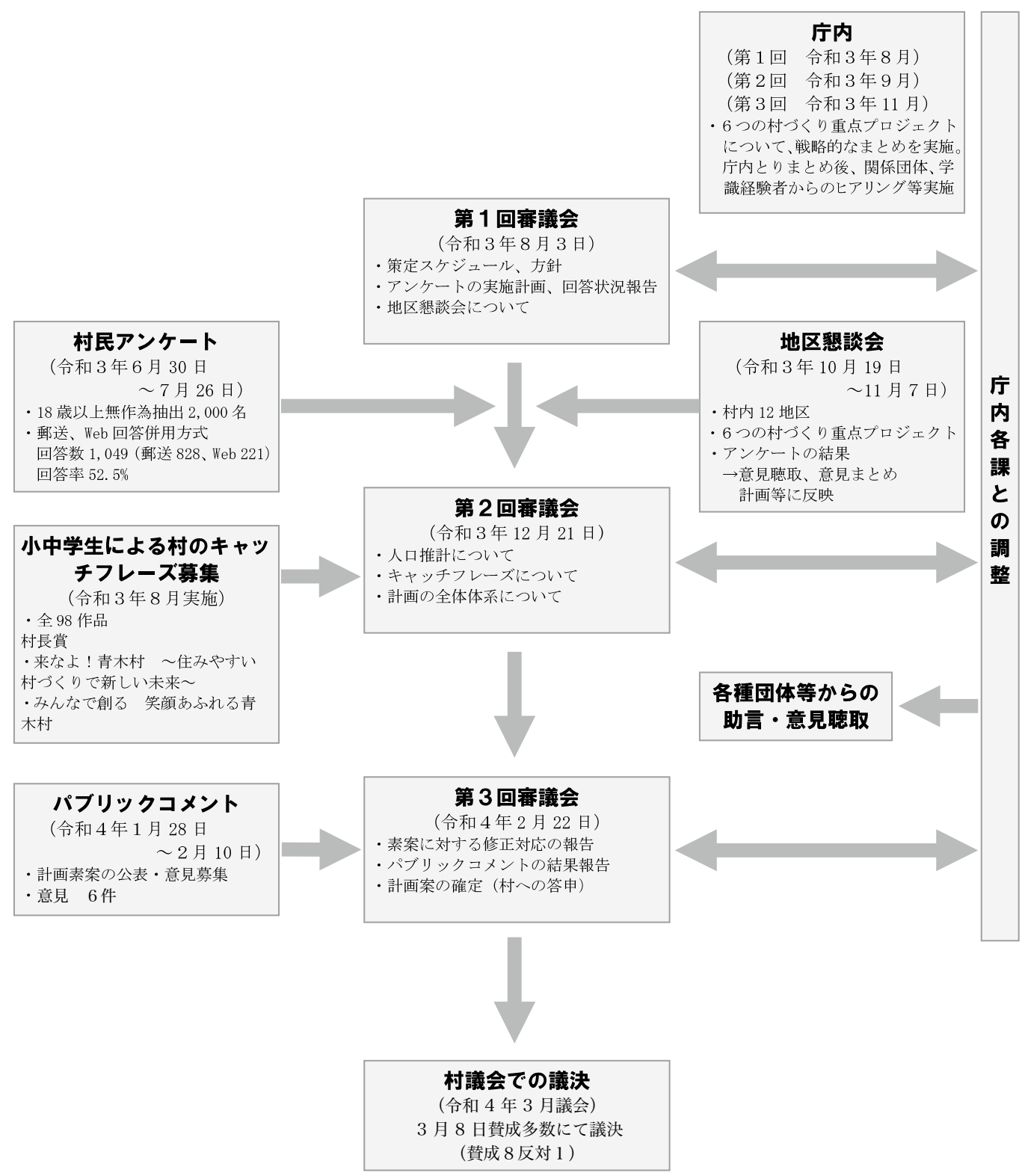
6 付属資料

－ 目 次 －

策定フロー	70
策定経過	71
資料1 青木村長期振興計画審議会	73
(1) 委員等名簿	73
(2) 会議録	74
資料2 村民アンケート	82
資料3 地区懇談会	88
資料4 意見募集	96
(1) 審議委員への意見募集	96
(2) 青木中学校生徒への意見募集（キャッチコピー）	103
資料5 パブリックコメント	107
資料6 各団体等からの助言・意見聴取	110

◎いただいたご意見、ご発言はできるかぎり、原文のまま掲載しています。

〈策定フロー〉



〈策定経過〉

◆ 青木村長期振興計画審議会

年 月 日	会議名	内 容
令和3年8月3日	第1回 青木村長期振興計画審議会	・計画策定にあたっての基本的事項 ・アンケート調査 ・地区懇談会 ・メインテーマ
令和3年12月21日	第2回 青木村長期振興計画審議会	・将来人口の推計 ・将来像とキャッチフレーズ ・計画の全体体系 ・6つの重点プロジェクト
令和4年2月22日	第3回 青木村長期振興計画審議会	・素案に対する修正対応の報告 ・パブリックコメントの結果報告 ・計画案の確定(村への答申)

◆ 村民アンケート

実施期間	令和3年6月26日～令和3年7月26日 (インターネット回答は令和3年8月1日まで)
対象者	村内にお住いの18歳以上の方から、性別や年齢、地区等を考慮して無作為に抽出した2,000名
回答方法	郵送又はインターネットによる回答
回収数	1,049通(郵送回答:828名、インターネット回答:221名)
回答率	52.5%

◆ 地区懇談会

年 月 日 (時間)	対象地区	場 所	参加人数
令和3年10月19日 (19:00～)	青木地区	義民の郷ふれあいセンター	9名
令和3年10月20日 (19:00～)	殿戸地区	殿戸公民館	6名
令和3年10月21日 (19:00～)	細谷地区	細谷公民館	11名
令和3年10月22日 (19:00～)	夫神地区	夫神公民館	6名
令和3年10月25日 (19:00～)	沓掛地区	沓掛コミュニティセンター	19名
令和3年10月26日 (19:00～)	入奈良本地区	入奈良本コミュニティセンター	15名
令和3年10月27日 (19:00～)	下奈良本地区	下奈良本ふれあいセンター滝の館	14名

年 月 日 (時間)	対象地区	場 所	参加 人数
令和3年10月28日 (19:00～)	中挟地区	中挟防災研修センター	21 名
令和3年11月1日 (19:00～)	中村地区	中村生活改善センター	14 名
令和3年11月2日 (19:00～)	入田沢地区	木立公民館	19 名
令和3年11月4日 (19:00～)	村松地区	アイリスの館	17 名
令和3年11月5日 (19:00～)	当郷地区	当郷公民館	31 名
計			182 名

◆ 意見募集

実施期間	対象	募集内容	対象 人数
令和3年9月21日 ～10月25日	青木村長期振興計画 審議委員	・キャッチフレーズ ・青木村の「強み」、「弱み」	17 名
令和3年7月15日 ～8月25日	青木中学校生徒	・キャッチコピー	98 名

◆ パブリックコメント

募集期間	令和4年1月28日～令和4年2月10日
資料の閲覧場所	青木村役場及び青木村ホームページ
提出方法	所定の様式に記入の上、電子メールもしくはFAXによる送付、郵送又は担当窓口への直接提出
提出者数	4 名

◆ 各団体等からの助言・意見聴取

◎各重点プロジェクトに関係する団体等へ、令和3年12月に、意見聴取を行いました。

資料1 青木村長期振興計画審議会

(1) 委員等名簿

(敬称略・順不同)

氏 名	任命基礎	備 考
◎杳掛 英明	青木村教育委員会 教育長	
塩澤 正隆	青木村農業委員会 会長	
塩崎 陽子	青木小学校 校長	
後藤 真道	青木中学校 校長	
片岡 康二	信州うえだ農協青木支所の代表者	
小坂 真	信州上小森林組合青木支所の代表者	
岩下 勇雄	青木村商工会の代表者	
杳掛 啓二	青木村消防団の代表者	
杳掛 信太郎	青木村高齢者クラブの代表者	
宮入 典子	青木村女性の会の代表者	
○深澤 のり子	青木村女性団体連絡会の代表者	
奈良本 惣資	その他村長が必要と認める委員	ラポートあおき施設長
高橋 裕二	その他村長が必要と認める委員	地域おこし協力隊
鴻巣 博子	その他村長が必要と認める委員（公募）	
土屋 雅嗣	その他村長が必要と認める委員（公募）	
成田 茂	その他村長が必要と認める委員（公募）	
小泉 千恵	その他村長が必要と認める委員（公募）	
片田 幸男	総務企画課長	(事務局 幹事長)
塩澤 和宏	総務企画課 事業推進室長	(事務局 幹事)
山田 佳代	総務企画課 企画財政係 主任	(事務局 幹事)
小林 真幸	㈱KRC 執行役員 地域計画室長	(策定補助業務委託先)
藤岡 光彦	㈱KRC 地域計画室 技師	(策定補助業務委託先)

◎：会長 ○：副会長

（２）会議録

① 第１回 青木村長期振興計画審議会

１．会議概要

（１）開催日時：令和３年８月３日（火） １５：３０～１６：４０

（２）開催場所：青木村役場 ２階 会議室 １

（３）出席者

委員：杓掛（英明）委員、塩澤委員、塩崎委員、後藤委員、片岡委員、小坂委員、
杓掛（啓二）委員、杓掛（信太郎）委員、宮入委員、深澤委員、高橋委員、
鴻巣委員、土屋委員、成田委員、小泉委員

オブザーバー：上田地域振興局 企画振興課 甘利課長

事務局：北村村長、片田課長、塩澤課長補佐、山田主任
株式会社ＫＲＣ（小林、藤岡）

（４）次第

- １ 開 会
- ２ 村長あいさつ
- ３ 委員委嘱
- ４ 委員自己紹介
- ５ 会長及び副会長の互選
- ６ 審議事項

- （１）計画策定にあたっての基本的な事項
- （２）アンケート調査について
- （３）地区懇談会について
- （４）メインテーマについて

７ 閉 会

（５）提示資料

- ・第１回長期振興計画審議会 次第
- ・第１回長期振興計画審議会 配席図
- ・資料１ 第６次青木村長期振興計画の策定にあたっての基本的な事項
- ・資料２－１ むらづくりアンケート 2021 の結果概要（途中経過）
- ・資料２－２ むらづくりアンケート問 13 の記述回答の整理
- ・資料２－３ むらづくりアンケート（問 13 のキーワード整理）
- ・資料３ 第６次青木村長期振興計画策定に係る住民懇談会開催について
- ・資料４ 青木村長期振興計画のメインテーマ（将来像）について
- ・青木峠バイパスの早期実現について

２．村長あいさつ（要約）

長期振興計画は、青木村の今後 10 年間の計画を立てる大変重い計画になる。今後 10 年間、コロナをはじめ世の中がどうなっているか誰も想像できないが、元気豊かな青木村にするため、皆様方の英知やご提案をいただき、青木村の 10 年間のあるべき姿の方向を見出していきたい。

３．会長及び副会長の互選

委員の互選により、青木村長期振興計画審議会の会長に杓掛（英明）委員、副会長に深澤委員を選出。

４．審議事項について

- ・審議事項は杓掛会長が進行。事務局より資料 1、2、3、4 の説明。
- ・北村村長より青木峠バイパスについて説明。

<事務局説明後の意見交換（要約）>

杓掛会長：オブザーバーの甘利様より県のお立場からご発言いただきたい。

甘利課長：策定まで短期間となるが、住民アンケートや地区懇談会で住民の意見を取り入れながら、また学識経験者の方にもアドバイスを受けながら、策定していただければと思う。管内の他の市町村も策定義務はないが条例で 10 年間の基本計画を策定している。

杓掛会長：2 回目の審議会は 12 月と先の日程になるので、村づくりについてそれぞれの考えていることをざっくばらんに話していただきたい。

委員意見①：農業の面で都会の皆さんが田舎を求めるといふ動きがあり、コロナ禍によって急速に展開した。それを受けて青木村らしい農業・田園・環境づくりをしっかりとやっていかないといけない。食糧問題もどうなるかわからないため自給自足していかないといけない。

委員意見②：子どもたちをみていると非常にのびのびとしていて、あたたかい地域の人・家庭に見守られて育っているが、他の地域では不登校などの話も聞く。この先を考えると、青木村にいるときはいいが、外に出たときに自分をもって自立していけるような子どもを育てていければと思う。

委員意見③：日本全体の課題だが、とくにコロナ禍において大人も指示待ちになっている。教職員も一緒に、自分で考えて提案できなければ主体的な子どもたちを育てられない。正解が見えない世界だから失敗してもその後どうすればいいか、子どもと一緒に考えてもらいたいとお願いしている。

委員意見④：農協の立場で、食の安全の大事さを感じている。青木の基幹産業である農業はこの 10 年高齢化が進んでくる状況だが、そういうところを見越してできるようなかたちにしていければ。計画の中に食の大事さを入れていけたらと思う。

委員意見⑤：近年、気象災害や以前では考えられない大雨、大きな台風、大雪が現実になっている。今までの常識よりも幅を広げて、危機管理の対策が必要である。

委員意見⑥：消防団の一番の問題は団員不足である。住みやすい村・活気ある村であれば自然と若い移住者も増え、青木村消防団の伝統を守っていける。大規模災害については、常日頃懸念していて、団員の力の必要性を感じている。一人でも多く消防団として協力していただければと思う。

委員意見⑦：医療・介護・年金と非常に大事な問題があるが、年寄りを大事にする計画になればありがたい。現在、少子高齢化が進んでいるが、青木村の特殊出生率は 2.0 を超えているということで、将来には希望があるのではないかな。

委員意見⑧：女性の会では若い人のグループが活発に活動している。将来的には村の産業に活かしていったって、女性でも起業できるようになればいい。若い人たちの団結力をみると女性の力は必要だと感じる。女性も村の半分を占めているため、女性の力を村づくりに活かしていける計画になればと思う。

委員意見⑨：子育て世代として気になるのは教育だが、これからは子どもたちが主体的に動く、働く力が必要となってくるため、そういったキャリア教育を取り入れてもらえればと思う。また、そういった取組を発信していければ移住を考えている人にも魅力的に感じると思う。

委員意見⑩：コロナ禍はチャンスだと思っていて、今までやりたくてもできなかったことがコロナを理由にできるようになったと捉えている。青木村の人は柔軟性があっておおらかな印象があるので、目標があれば先進的なものをどんどん取り入れていけると思う。

委員意見⑪：子どもは成長して初めてこの村のよさに気づくと思うので、いろいろな情報やかかわりをもたせて学ばせたい。トンネルについてもよいきっかけに感じていて、親がロケーションを提供して、ともに学びながら、子どもを活性化させ、成長とともに自分の立ち位置を学んでいければと思う。

委員意見⑫：教育について、青木村でなければできないことがたくさんあるが、村の中にいると当たり前になってしまう。中学校 3 年生の卒業間際に 1 時間授業する機会をもらい、青木村の教育の特色について説明すると子どもたちはびっくりする。発信はこれからも続けていかなければと思う。

委員意見⑬：SDGs の計画期間は 2030 年までであるため、この計画は青木村版の SDGs ではないかと思う。青木村と関係するのは多様性、地球温暖化対策、交流の 3 本柱であると思う。とくに温暖化対策に

については、環境先進村として再生可能エネルギーを現在の2倍にしていかなければならない。

委員意見⑭： 県外へ進学した子どもたちの中には、青木村が大好きだが仕事がないため戻ってこられない子どももたくさんいると思う。大事に育てた子どもたちが育った青木村を大事に守っていけるように工場誘致も含め、村内雇用をもっと充実させていければと思う。

委員意見⑮： 女性団体連絡会はいろいろなかたちでいろいろなことを取り組んでいる。青木村に住んでいてほんとうによかったと思ってもらい、毎日生きがいをもって皆さんに過ごしていただけるような村づくりをできるようにお役に立てればと思う。

北村村長： 皆さんのそれぞれのお立場、自分の生活を通して様々な意見をいただき大変勉強になった。計画全体で落ちのないようにすることは一つの役目だが、ぜひメリハリをつけてとくにこういうことをやりたいということをご議論いただければと思う。

② 第2回 青木村長期振興計画審議会

1. 会議概要
- (1) 開催日時：令和3年12月21日（火） 15：30～16：40
- (2) 開催場所：青木村役場 2階 会議室1
- (3) 出席者
- 委員：沓掛（英明）委員、塩澤委員、塩崎委員、後藤委員、片岡委員、小坂委員、岩下委員、沓掛（啓二）委員、沓掛（信太郎）委員、宮入委員、深澤委員、高橋委員、鴻巣委員、土屋委員、成田委員、小泉委員
- オブザーバー：上田地域振興局 企画振興課 甘利課長
- 事務局：北村村長、片田課長、塩澤課長補佐、山田主任 株式会社KRC（小林、藤岡）
- (4) 次第
- | | |
|----------------------|-----|
| 1 開会 | |
| 2 村長あいさつ | |
| 3 審議事項 | |
| (1) 将来人口の推計について | 資料1 |
| (2) 将来像とキャッチフレーズについて | 資料2 |
| (3) 計画の全体体系について | 資料3 |
| (4) 6つの重点プロジェクトについて | 資料4 |
| 4 その他 | |
| 今後のスケジュールについて | 資料5 |
| 5 閉会 | |
- (5) 提示資料
- 第2回長期振興計画審議会 次第
 - 第2回長期振興計画審議会 配席図
 - 資料1 青木村の将来人口の推計について
 - 資料2 村の将来像とキャッチフレーズについて
 - 資料3 第6次青木村長期振興計画 計画全体体系図
 - 資料4 6つの村づくり重点プロジェクトと長期振興計画施策分野との関係整理
 - 資料5 長期振興計画策定スケジュール

2. 村長あいさつ（要約）

これまでに地区懇談会を村内12地区すべてで行い、様々な意見を聞いてきた。また、皆さんには青木村の強みや弱みをたくさん出していただき感謝する。キャッチフレーズもまとまったのでご意見をいただきたい。SDGs、脱炭素社会、DX、コロナ等、世の中の流れのなかで、私どもも小さな村としても一緒にしっかり取り組んでいかなければならない立場にある。そういうなかで10か年計画が必要なのだらうと思っているので、それぞれご意見を伺いたい。

3. 審議事項について

審議事項は沓掛会長が進行。事務局より資料1、2、3、4を説明。

＜事務局説明後の意見交換（要約）＞

沓掛会長：事務局として特徴的なこと、ここだけは聞いてほしいということはあるか。

事務局：総合戦略を計画と一緒にするというのが初めての試みである。総合戦略の中心となるのが6つのプロジェクトである。村民の目線でこんな取組をこんなかたちでやったらどうかというご意見をいただければ、6つの重点プロジェクトを中心に戦略的なかたちにまとめたい。

委員意見①：農業関係では、区画整理された優良農地における遊休農地と荒廃農地の拡大が大きな課題。「農地の利用活性化、組織の確立」という面を一つの大きな柱にする必要があるのではないか。米価が下がり、コスト削減しなくてはいけないなかで、農地利用活性化組織の確立を考える必要がある。

委員意見②：定住促進の部分で、村営住宅には様々な制限があり入りづらいという話を聞く。地区懇談会のなかでは単身者も入居できる村営住宅がほしいという意見があった。独身の方も引っ越してくれば、将来そこで結婚するかもしれないため、広く受け入れるとそこから広がっていくと感じた。

沓掛会長：今回は2月中旬で、今回ご発言いただくことが文章になる最後の機会のため、一人ずつ意見をお聞きしたい。

委員意見③：プロジェクトの小中学校2クラス化というところだが、現状を考えると教室数が足りない。先生も必要になるが、全体的に教員数が足りていない。村で優秀な先生を採用するために、青木村の教育をアピールしながら、先生を募集することを村独自でやっていくことも必要になると思う。

委員意見④：他の市町村でも様々な取組が行われているなかで、青木の教育が本当に素晴らしいというのをどうやってアピールして、どんな層を取り込んでいくか。少子高齢化に向けて、どうやってプロジェクトを組んでいくかということが大事になってくると思う。

委員意見⑤：①委員と同じような想いで捉えている。担い手も農地を守っていただいているが、年齢も高くなり、担い手の担い手をつくっていかねばならない。そのためには農地の整備、スマート農業を導入しながら、モデル的に進めていければと思っている。

委員意見⑥：青木村独自の特産物、マツタケ、タチアカネ、コンパラなどを全面的にPRした方がよいのではないか。村外に居住しているが、私の地域だと子どもの医療費が18歳まで無料になっている。子どもは病院にかかることが多いため、医療費や子育ての金額の支援を検討していただければ。

沓掛会長：青木村も18歳まで無料である。青木村の場合は500円の受診代はかかるがそれもないか。

委員意見⑥：そうである。

委員意見⑦：キャッチフレーズはこれからの青木村にとって非常によいと感じた。商工会では交流のある埼玉県の商工会と災害時の協定を結び、青木村にもし何かあったときは協力してもらえる体制をとっている。昨年は建設部会と協定を結び、災害時の対応について協定を結んだ。

委員意見⑧：防災について、自助・共助・公助のなかで、共助の部分に関しては、人が多くなればそれだけ助け合いが広がると思っている。消防団でも人数が減ってきているなかで、様々な施策を考えながら防災について強化していくが、人口増加について力を入れていただければ。

委員意見⑨：人生100年時代において、健康で長生きが一番よいが、これについて村でもう少し踏み込んだ講演会、学習・教育をしていただければと思う。また、全般的なことだが、これから10年、世界的にグリーンとデジタルがメインになると思う。

委員意見⑩：村に定住するかしないかは、村に家を建てるかによると思うので、家の購入に手厚い補助があってもリターンが取れるのではないかと思う。村外から来る人は畑や田んぼに興味がある。空き家バンクのように空いている農地を簡単に調べられれば、もっと活用できると思う。

委員意見⑪：人口増加を目指す施策は様々あるため、それらを深掘りして具体的な案を固めていき、そのなかで農業の担い手不足や空き家等の解決策を審議していく方がより具体的かと思う。移住は住宅と働き口がないと踏み切れないため、働き口も創出できればまた違う局面を迎えるのではないか。

委員意見⑫：6つのプロジェクトに青木村らしさが出ているので、このプロジェクトが今の社会の動向を全部把握しているという見せ方が必要かと思う。例えば、プロジェクト1にリモートワークや多様な働き方のようなことがあると地方移住に関しての流れが見えるのではないか。

委員意見⑬：コロナ禍で都会の会社を辞められた方を受け入れた。単身者が住める場所が青木村にはなく、上田で暮らしている。単身者だけでも入れる住宅があれば、これから企業誘致もしていくため、人口増加につながるのではないかと思う。

委員意見⑭：コロナ禍のなかで、今までのような活動できないため、大変苦慮している。活動内容を含めて変革が必要と感じている。施策項目にもある男女共同参画について、できる限り取り組んでいきたい。とにかく女性が元気で前向きに喜んで笑顔で活動できればと思う。

杓掛会長：貴重なご意見をいただいた。最後にオブザーバーで出席いただいている上田地域振興局 企画振興課の甘利課長からお話を伺いたい。

甘利課長：キャッチフレーズをみて、村民一人ひとりの今の素直な気持ちが表れたものだと感じた。冊子の表紙に載ってくるので中身を見てみたいと思うように仕上がればと思う。資料にSDGsが掲載されている。2030年までの達成を目指す国際的な目標だが、青木村の10年間計画のなかで目標を達成していく。事務局から説明があったように、様々な分野が連携していくことが重要である。

杓掛会長：以上で本日の審議事項は終了となるが、どうしてもこれだけはという方はいらっしゃるか。

委員意見⑮：10年先の長期計画となれば、DX戦略が大きな中身になるかと思う。国を挙げてやっていこうというなかで、このプロジェクトのなかにもっと明確な柱があってよいのではないか。DX戦略のなかでなにが考えられるか、10年先の長期計画を立てることが審議会の果たす役割だと思う。

委員意見⑯：GIGAスクール構想が小中学校で今年始まっているが、あまりにも大きなうねりでイメージがしっかりできない。本当に曲がり角にきていると感じる。

4. 今後のスケジュールについて

事務局より資料5を説明。

＜確認事項＞

- ・1月中旬に計画の素案をとりまとめ、委員に送付予定。素案に対してのご意見をメールや郵送でいただく。
- ・同時期にパブリックコメントを実施し、村民から広く意見を募集する予定。
- ・第3回審議会は、2月中旬を予定しており、いただいた意見を反映した計画案を提示する。
- ・3月議会で議決。

③ 第3回 青木村長期振興計画審議会

1. 会議概要

(1) 開催日時：令和4年2月22日（火） 15：30～16：15

(2) 開催場所：青木村役場 2階 会議室1

(3) 出席者

委員：杓掛（英明）委員、塩澤委員、塩崎委員、後藤委員、片岡委員、小坂委員、岩下委員、

杓掛（啓二）委員、杓掛（信太郎）委員、宮入委員、深澤委員、高橋委員、成田委員

オブザーバー：上田地域振興局 企画振興課 甘利課長

事務局：北村村長、片田課長、塩澤課長補佐、山田主任

株式会社KRC（小林、藤岡）

(4) 次第

1 開会

2 審議事項

・計画最終案について

(参考)

資料1 計画素案に対するご意見への対応について

資料2 各団体等からのご助言・意見聴取について

資料3 パブリックコメントの結果報告について

3 計画案の確定について（答申）

4 村長あいさつ

5 閉会

(5) 提示資料

・第3回長期振興計画審議会 次第

・第3回長期振興計画審議会 配席図

・資料1 計画案に対するご意見への対応について

・資料2 各団体等からのご助言・意見聴取について

・資料3 パブリックコメントの結果報告について

・計画最終案

2. 審議事項について

審議事項は杓掛会長が進行。事務局より計画最終案について説明。

＜事務局説明後の意見交換（要約）＞

杓掛会長：計画最終案について全員からご意見をいただきたい。

委員意見①：例えば、農産物分野でのブランド力、知名度の向上という柱だけで村民が何をどうするのか、少しはヒントがほしい。実施にあたりもう少し踏み込んだ内容で理解が得られるように、細かい説明は必要ないがヒント的なものがないと村民に周知徹底できないのではないか。今後、検討していただければと思う。

委員意見②：笑顔あふれる村づくり計画はよいと思った。27ページの基本構想でひと、自然、産業のなかでひとが真ん中というのは青木村の温かさというか、人と人とのつながりが感じられるイメージのイラストが素敵だと感じた。

委員意見③：私も27ページの図はとても温かみがあって青木村らしくてよいと感じた。中学校では3年生に向けて教育長に話をしていただくが、青木の教育の素晴らしさを改めて感じさせていただいた。温かい村のなかで温かい子どもたちが育っていると感じたので、今後ともよろしく願いたい。

委員意見④：明るい、優しい、あったかいという青木村を象徴する言葉や27ページの図やイラストがあると一目瞭然でよいと思った。農業関係は分野3ということで、われわれも真剣に考えているところであるが、こういうテーマに基づいてみんなで創出していくという内容であるのでよろしいかと思う。

委員意見⑤：内容的にはよくできていると思う。ただ、白い余白が所々にあるので、構成などを検討いただいて製本の時に見やすくしてほしい。

委員意見⑥：日本の真ん中に近い青木村、災害が少ない安心、安全で夢や希望がもてる青木村長期振興計画は地域の活性化に弾みがつくと期待している。

委員意見⑦：青木村消防団でも数多くの訓練を実施しているので、訓練の写真等も載せていただければ村民の皆さんに消防団の頑張りを理解していただけると思うのでよろしく願いたい。

委員意見⑧：明るい、優しい、あったかいというキャッチフレーズや人が真ん中という基本構想はよいと思うが、コロナ禍で審議会は3回しか開催されず、大きなテーマにしては数が少なかったのが残念だった。とくに人口の問題、現在4,200人が10年後には約700人減ってしまう。そのためにどうするかそういった議論の時間をもう少し持ちたかった。

委員意見⑨：計画の基本になっているのが住民の意識調査だと思っている。とくに男女共同参画が一番認知度が低く、重要度が低いが、これからの地域づくりのなかでは女性の力を活かしていかないとうまく社会づくりができていかないと感じるため、随所に入れていただきたい。担当課の皆さんは少ない人数で精一杯仕事をしているので効果は上がってきていると思うが、長期振興計画なので職員の意見が反映できるようなものを検討していただければうれしいと思う。

委員意見⑩：とてもよくできていて、素晴らしいと思った。実際にはもっと具体的な取組が大事になると思う。資料編のアンケート回答や各団体のご意見などは具体的なことが書かれていて、村民の感覚であるが具体的なことを見ていたほうが楽しいと感じたので、もっと具体的なことを見えるようになるとおもしろいと思った。

委員意見⑪：地区懇談会をはじめ学校団体等の意見を幅広く踏まえて計画案が作成されていてとてもよい。総合戦略と長期計画の整合性を図ることは大変だったと思われる。これまでに企業誘致とかワクチンをはじめ矢継ぎ早に重要な政策が実行されてきた。今回改めて住民の意見を聞くことにより、村の進むべき方向とか課題が出ていると思われる。今後、とくに村の基幹産業である農業、温暖化対策に関して個別計画に活かしていくことを期待する。個別計画ができたならホームページ等に載せて公開してほしい。

委員意見⑫：具体的に大変わかりやすくまとめていただいている。本当に生きる喜びを分かち合える村づくりがよく理解できるものになっていると思う。裏表紙の写真は、自然の風景の写真もよいが、もう少し身近に感じるような青木村の特産物のであるソバの畑などの写真があるとよいと思った。

沓掛会長：皆さんからご意見をいただいた。さらに事務局で最終調整をして、反映させた最終案を村に提出させていただきたいと考えている。今回の計画案を当審議会です承したということにしたいと思うがよろしいか。

委員：全員賛成。

沓掛会長：様々な地域説明会やアンケートや審議会への参加ということで、色々な準備をしてまとめていただいたことに感謝する。さらに最終調整をお願いしたい。意見集約は本日の審議会をもって終了とする。
最後にオブザーバーで出席いただいている上田地域振興局 企画振興課の甘利課長からお話を伺いたい。

甘利課長：本日を含めて3回審議会が開催された。特定の何人かが発言するという会議が多いなか、こちらの会は全員が発言する機会がつくられた点がよかったと感じている。青木村出身の方、村外から出勤されている方、青木村に移住された方とこれまでの経験に基づいて、あるいはそれぞれの立場から様々な発言があり、まとまったものと認識している。計画策定に全員が貢献しているという実感が得られたのではないかと考えている。計画はつくって終わりではない。まずはつくった計画を村民の皆さんに周知していただくことが必要であり、全村民が参加して計画が実現されること、さらに村が発展されることを期待している。県においても令和5年度を初

年度とする次期総合5か年計画の策定が始まり、計画のなかにも地域計画を盛り込むことになっている。上田地域計画も新しい5か年計画に盛り込むことになり、青木村の計画実現の一助となるように上田地域計画に組み込んでいきたいと考えている。

沓掛会長：これをもって審議会は終了とする。

3. 村長あいさつ（要約）

審議委員の皆さんには、ご多忙のなか、そして様々な制約のなかで議論いただきありがとうございました。それぞれの委員の話にもあったように議論をもう少ししたかった、踏み込みたかったという意見等あるかと思うが、新型コロナウイルス蔓延のなか大変ではあるが、様々な意見をいただきありがとうございました。立派な計画をつくっていただいたあとに、それを実行していくのはわれわれであるが、われわれだけでできるものではなく、国や県の支援、何よりも村民の皆さんやここに居る皆さんの各団体の応援や支援をいただきながら実行に移していかなければならないので、今後ともよろしく願いたい。

また6つの重点プロジェクトを決めていただいた。全体が平たく、それぞれ漏れなくというのが一つの計画のつくり方の基本ではあるが、もう一つはメリハリをつけるということで、分野を超えて重点的に、そして早期に取り組む課題として6つの重点プロジェクトを決めていただいた。これについては、待ったなしの課題として大きく取り上げていかなければならないと思っている。

先ほど甘利課長からの話にもあったが、村民の皆さんにどのように理解していただけるかが一つのポイントであるので、前回の5か年計画も今回の計画の大変見やすいものに構成していただいたと思っているので、ぜひたくさんの方の村民の皆さんに広報させていただきたいと思っている。今後は、本日いただいた意見をもとに修正をさせていただき、3月8日から始まる議会に上程する。議会には基本条例というものがあり、そのなかで議決案件が決まっており、そのなかの一つが本計画の基本構想であることから、議会の議決をいただいて正式な決定となる。

皆さんには、全3回の審議会への参加、また自宅でも計画を深読みしていただくなど時間を割いていただくなど知恵をお借りした。委員の皆さんに感謝を申し上げながら、この計画を実行に移すのは至難の技であり知恵や実行力が必要になってくるため、その際には皆さんの支援や協力をお願いいたしまして、お礼の言葉とさせていただきますと思う。ありがとうございました。

資料２ 村民アンケート

むらづくりアンケート 2021 の結果概要

青木村では、令和４年度から令和１３年度までの１０か年を計画期間とする『第６次青木村長期振興計画』の策定を進めているなかで、このアンケートは、これまでの村づくりに対する評価や現在の暮らしに対する満足度、今後の村づくりに対する村民の皆さんの意向等を把握し、その結果を計画策定に活かすことを目的として、以下のとおり実施したものです。

- ① 調査期間：令和３年６月２６日（土）～７月２６日（月）※ ※インターネット回答は８月１日（日）まで
- ② 調査対象：１８歳以上の村民から無作為に抽出した２,０００名
- ③ 調査方法：調査票記入（郵送返信）又はインターネット上での回答

この結果、計１,０４９名（郵送：８２８名、インターネット：２２１名）の方から回答をいただきました。調査対象者抽出時点の対象人口を２,９１２名（長野県毎月人口異動調査、令和３年４月１日時点）と推定すると、上記の結果は信頼水準９５％以上、許容誤差±３％未満の精度で、このアンケートは、統計学的にも相応の妥当性がある内容として読みとることができます。以下に回答結果を集計し、属性による違いにも着目して分析・整理しました。

■ 回答者の属性

- 【性別】女性の回答率が男性より若干高いものの、性別で大きな回答率の差はない。
 - 【年齢】実際の人口ピラミッドと類似した比率傾向で、各年齢層でバランスよく回答が得られている。
 - 【地区】地区別人口にほぼ比例した回答率で、各地区から満遍なく回答が得られている。
 - 【居住歴】県内外合わせて移住者の回答が約４８％で、半数近くを占めている。
 - 【家の所有形態】持家の方がほとんどで９０％以上となっている。
 - 【職業】会社員が最も多く約２７％、次いで無職、パート等、専業主婦・主夫の順でいずれも約１０％超。
- ※インターネット（WEB）回答者のほとんどは、受け取った調査票記載のURL等からアクセスしている。

問１ あなたの性別を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率（％）
女性	533	50.8
男性	481	45.9
無回答・無効	35	3.3
合計	1,049	

問２ 本年５月末時点のあなたの満年齢を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率（％）
20歳未満	11	1.0
20～24歳	22	2.1
25～29歳	28	2.7
30～34歳	49	4.7
35～39歳	53	5.1
40～44歳	72	6.9
45～49歳	85	8.1
50～54歳	89	8.5
55～59歳	101	9.6
60～64歳	101	9.6
65～69歳	128	12.2
70～74歳	155	14.8
75～79歳	121	11.5
80歳以上	28	2.7
無回答・無効	6	0.6
合計	1,049	

問３ あなたの住まいの地区を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率（％）
村松	213	20.3
当郷	199	19.0
青木	113	10.8
入田沢	89	8.5
中村	66	6.3
夫神	63	6.0
中挟	61	5.8
沓掛	61	5.8
下奈良本	59	5.6
殿戸	44	4.2
細谷	38	3.6
入奈良本	19	1.8
青木の森別荘地	15	1.4
無回答・無効	9	0.9
合計	1,049	

問４ あなたの居住歴を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率（％）
県内の他の市町村から青木村に転入してきた	357	34.0
青木村以外での居住経験がある	329	31.4
生まれてからずっと青木村に住んでいる	212	20.2
県外から青木村に転入してきた	142	13.5
無回答・無効	9	0.9
合計	1,049	

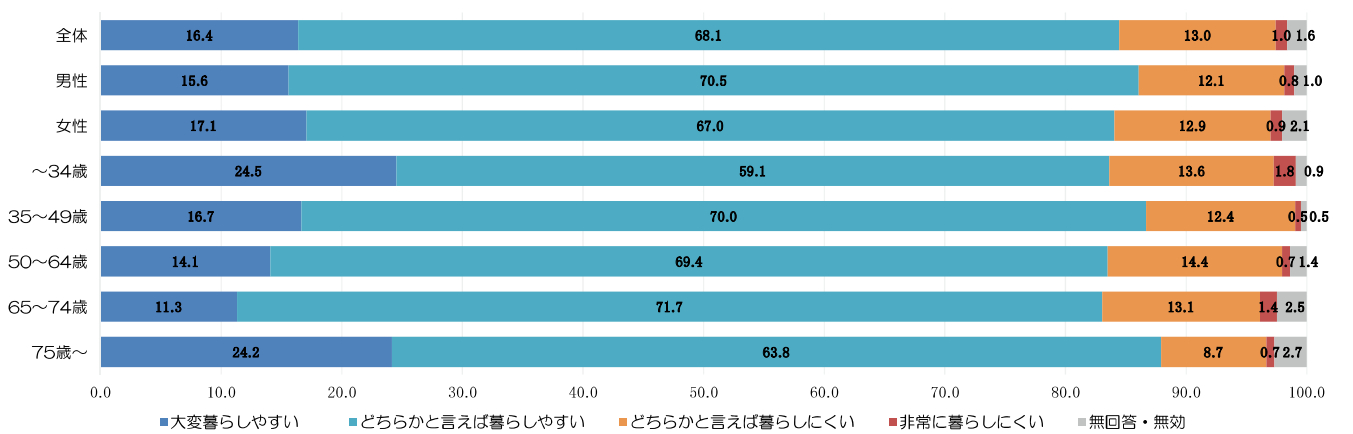
問５ お住まいの家の所有形態を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率（％）
持家（家族名義を含む）	974	92.9
借家	68	6.5
その他	3	0.3
無回答・無効	4	0.4
合計	1,049	

問６ あなたの職業を教えてください。		
※択一回答	回答数	回答率（％）
会社員	287	27.4
無職	182	17.3
パート・アルバイト・派遣社員	136	13.0
専業主婦・主夫	136	13.0
自営業主・家族従業者（農林業以外）	97	9.2
農業者・農業の家族従事者	81	7.7
公務員	60	5.7
その他	39	3.7
学生	16	1.5
無回答・無効	15	1.4
合計	1,049	

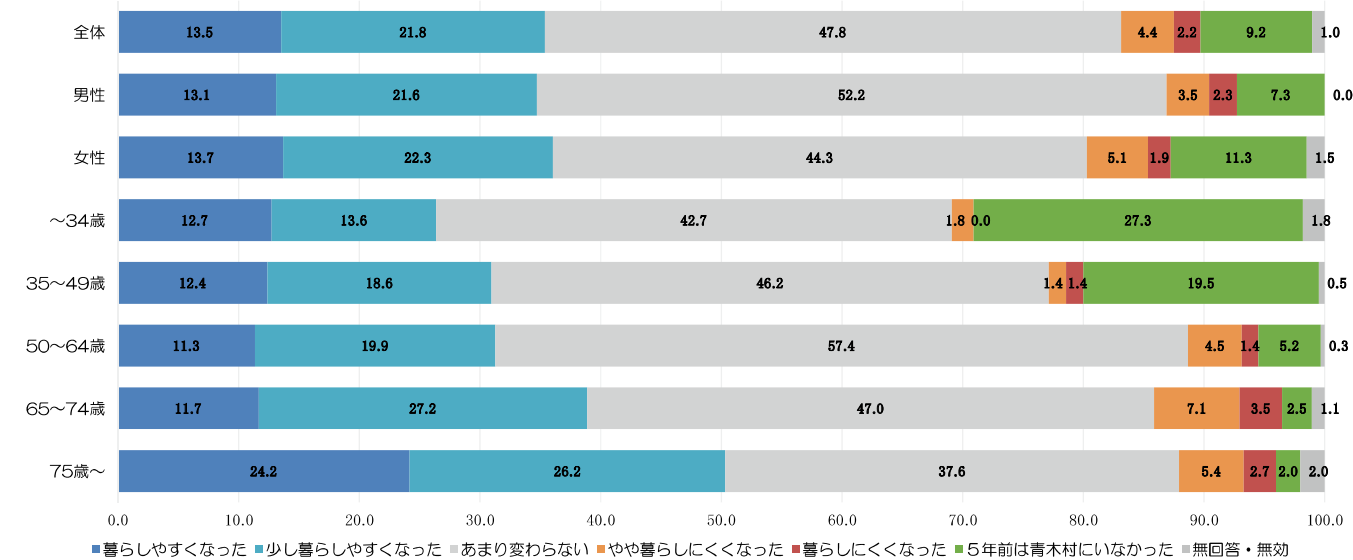
〔WEB〕あなたはこのインターネット回答を行うためのURLまたはQRコードをどこでお知りになりましたか。		
※複数回答	回答数	回答率（％）
自身宛てのアンケート調査表	211	95.5
自身宛て以外のアンケート調査表	3	1.4
広報あおき	3	1.4
その他	3	1.4
村ホームページ	1	0.5
合計	221	

■ 暮らしやすさ

- 【全体】「大変暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」の合計が約８５％で、「非常に暮らしにくい」は１％で極めて低い。
 - 【性別】男女ともほぼ同程度の比率傾向で、性別による違いは少ない。
 - 【年齢】３４歳以下と７５歳以上で「大変暮らしやすい」がいずれも２４％台で、他の年齢層と比べると突出して高く、７５歳以上は「どちらかと言えば暮らしにくい」「非常に暮らしにくい」の合計比率も最も低い。
- 「どちらかと言えば暮らしにくい」「非常に暮らしにくい」の合計比率は３５～４９歳も比較的低い。

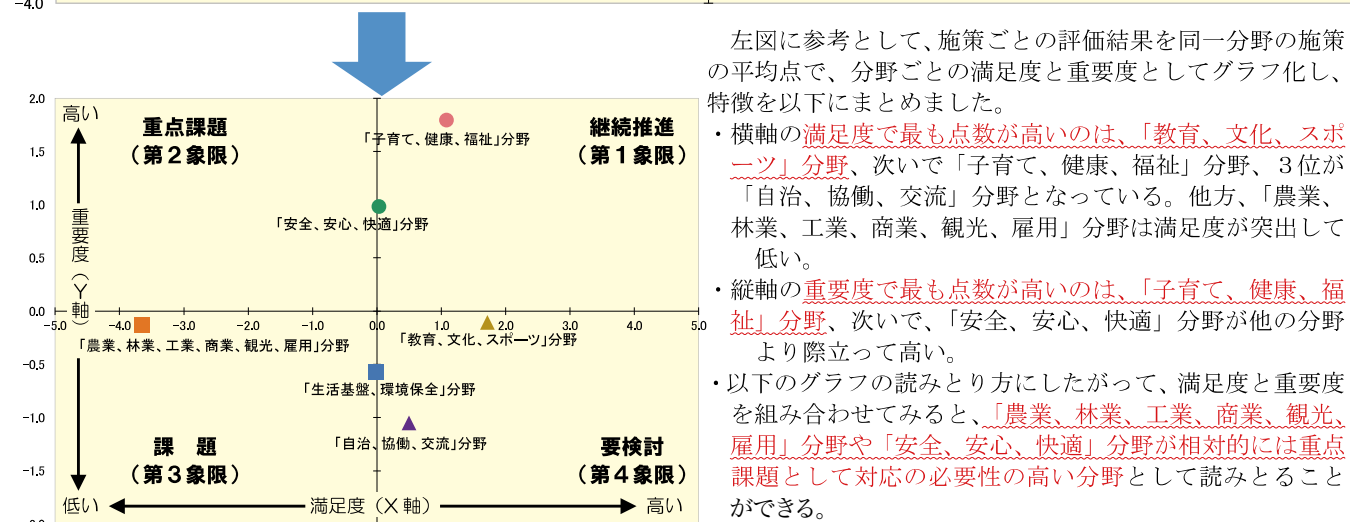
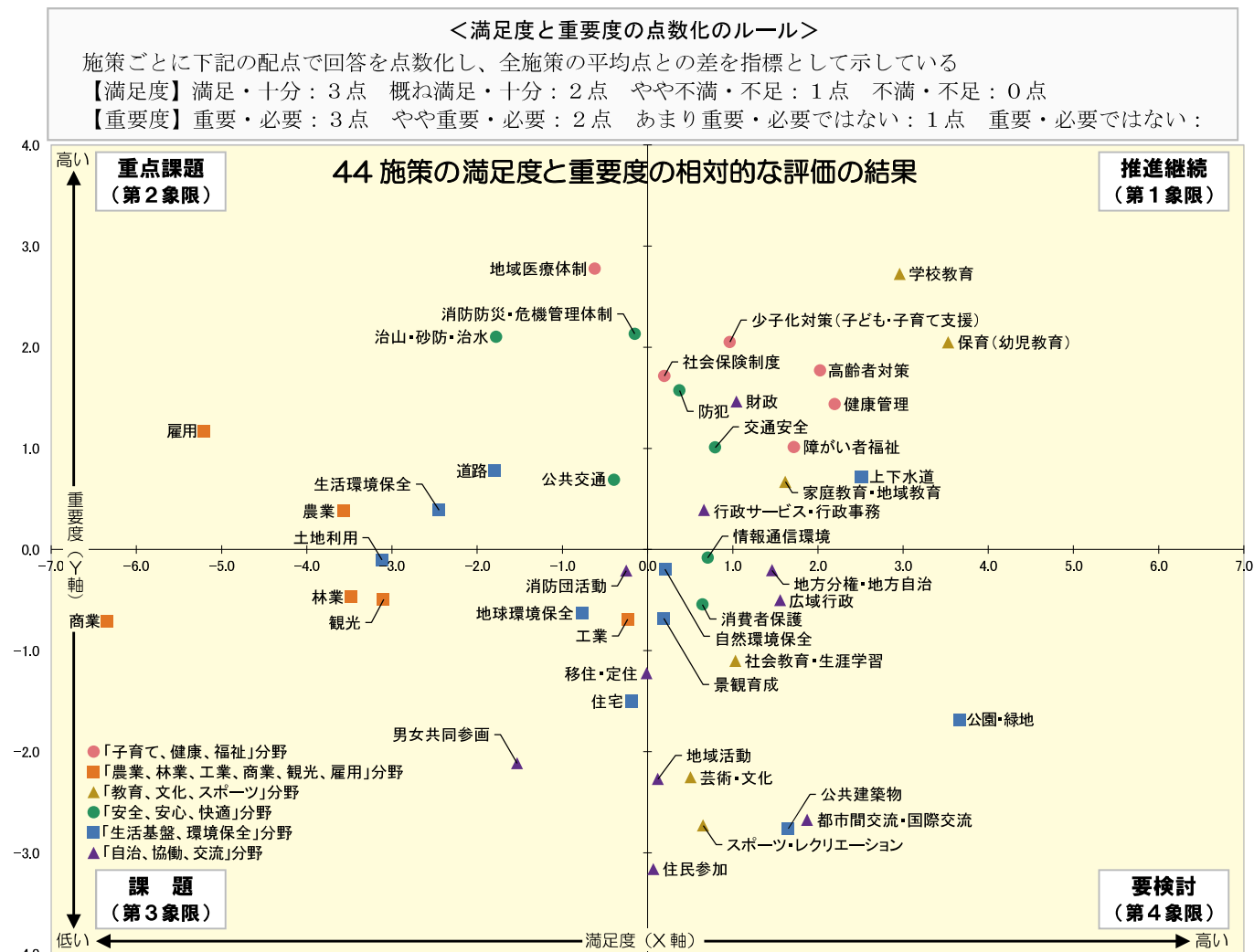


- 【全体】「あまり変わらない」が約４８％で最も高いが、これに「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」も加えると約８３％で、５年前と比べ暮らしやすさは同水準以上と感じている方が多い。
 - 【性別】「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」の合計は男女とも同程度の比率だが、女性は「５年前は青木村にいなかった」が男性よりも高く、「あまり変わらない」が低くなっている。
 - 【年齢】「暮らしやすくなった」「少し暮らしやすくなった」の合計比率は、年齢が上がるにつれて高い傾向がある。とくに７５歳以上ではその比率が半数を超えている。
- 他方で、「やや暮らしにくくなった」「暮らしにくくなった」の合計比率は、３５歳から７４歳にかけては、年齢が上がるにつれて高まる傾向があり、６５～７４歳ではその合計が１０％を超えている。また３４歳以下、３５歳～４９歳は、「５年前は青木村にいなかった」が突出して高く、比較的若い世代の移住者が多いことを反映している。



■ 現計画の各分野の施策に対する満足度と重要度

現計画の6分野44施策に対する現状の満足度と今後の施策としての重要度をそれぞれ4段階で評価していただきました。その回答を以下のように点数化し、縦軸を重要度、横軸を満足度にした座標上に各施策を位置づけ、性別・年齢別の同様の分析も加えて、次ページに分野ごとにみられる評価の特徴を分析しました。



＜グラフの読みとり方＞

- | | |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 第2象限 (重要度：平均以上, 満足度：平均未満) | → 重点課題：最も課題のある施策であり、重点的に推進する項目・施策 |
| 第1象限 (重要度：平均以上, 満足度：平均以上) | → 継続推進：継続的に村民の満足を得られるよう施策を推進する項目・施策 |
| 第3象限 (重要度：平均未満, 満足度：平均未満) | → 課題：課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する項目・施策 |
| 第4象限 (重要度：平均未満, 満足度：平均以上) | → 要検討：一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する項目・施策 |

「子育て、健康、福祉」分野 →前ページ図の凡例：●の施策参照

【全 体】該当6施策の重要度はすべてプラス側にあるなかで、唯一、満足度がマイナス側にある地域医療体制はこの分野のなかでは重点課題として捉えられる。

【性 別】満足度、重要度ともに男女でおおむね同様の評価だが、社会保険制度の満足度は女性より男性のほうが低い傾向がみられる。

【年齢別】65歳前後の比較では、地域医療体制の満足度は64歳以下のほうが65歳以上よりも低く、その差も比較的大きい。逆に、社会保障制度は65歳以下のほうが64歳以上よりも満足度が低い傾向がみられる。

「農業、林業、工業、商業、観光、雇用」分野 →前ページ図の凡例：■の施策参照

【全 体】該当6施策すべて満足度がマイナス側で、工業以外はとくにそのマイナス度が大きい。そうしたなかで重要度もプラス側にある農業と雇用はこの分野における重点課題として捉えられる。

【性 別】満足度は男女でおおむね同様の評価だが、工業の重要度は男女で差があり、男性が若干プラス側にあるのに対して女性は大きくマイナス側にある。

【年齢別】65歳前後の比較では満足度、重要度ともにおおむね同様の評価だが、雇用の重要度の評価は、65歳以上より64歳以下のほうが高い。

「教育、文化、スポーツ」分野 →前ページ図の凡例：▲の施策参照

【全 体】該当6施策すべて満足度がプラス側にある。なかでも学校教育、保育（幼児教育）、家庭教育・地域教育は重要度のプラス度も大きく、継続的な施策推進が求められる。他方、スポーツ・レクリエーション、芸術・文化、社会教育・生涯学習の重要度は相対的に低い。

【性 別】男女とも満足度はおおむね同様の評価だが、重要度は男性では保育（幼児教育）、女性では家庭教育・地域教育の各評価がそれぞれ比較的高い。

【年齢別】65歳前後の比較では満足度、重要度ともにおおむね同様の評価だが、保育（幼児教育）、学校教育、家庭教育・地域教育は65歳以上で満足度がやや高く、家庭教育・地域教育と社会教育・生涯学習は64歳以下で重要度がやや低い。

「安全、安心、快適」分野 →前ページ図の凡例：●の施策参照

【全 体】該当7施策のうち4施策で満足度がプラス側にあるものの、その評価は必ずしも高くはない。他方、満足度が最もマイナス側にある治山・砂防・治水は、重要度も高いことから、今後の重点課題として捉えられる。

【性 別】男女で大きな差があるのは消防防災・危機管理体制の満足度で、女性のこれはプラス側にあるの対し、男性ではマイナス側にある。逆に公共交通は女性の満足度のほうが男性より若干低い。

【年齢別】公共交通、交通安全、防犯の満足度は、65歳以上がプラス側にあるのに対して、64歳以下はマイナス側にあり、65歳前後で比較的大きな評価の差がみられる。

「生活基盤、環境保全」分野 →前ページ図の凡例：■の施策参照

【全 体】該当施策が10と多数あるなかで、満足度は施策によるバラツキが比較的大きく、公園・緑地の評価が全体のなかでもとくに高い一方で、土地利用に対する評価は低い。

【性 別】満足度、重要度ともおおむね同様の傾向で、この分野では男女により評価の差が小さい。

【年齢別】住宅、自然環境保全、景観育成の各満足度は、64歳以下ではいずれもプラス側にあるのに対し、65歳以上はマイナス側でやや評価が低い。

「自治、協働、交流」分野 →前ページ図の凡例：▲の施策参照

【全 体】該当10施策のうち重要度がプラス側にあるのは財政と行政サービス・行政事務の2施策のみ。男女共同参画は重要度は高くないものの、この分野のなかでは満足度が際立って低い。

【性 別】消防団活動の満足度は男性がマイナス側、女性がプラス側で、分野4で記載した評価の特徴とも符合している。

【年 齢】地域活動、住民参加、移住・定住の満足度は64歳以下ではプラス、65歳以上ではマイナスで、64歳以下のほうがやや評価が高い。

■ 重点プロジェクトの妥当性と評価

① 新型コロナウイルスの克服

- ・妥当性は「妥当である」が約 86%で、全プロジェクトのなかで最も比率が高い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が 90%で、他のプロジェクトと比べて突出して高く、「わからない」の比率も全プロジェクト中、最も低い。

② 国道 143 号青木峠バイパスの整備・活用

- ・妥当性は「妥当である」が約 75%で、全プロジェクト中 3 番目の比率。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 68%で全プロジェクト中 4 番目だが、「非常に評価できる」が比較的高い。
- ・他方で「評価できない」も一定数いる。

③ 産業基盤の強化、企業誘致の促進

- ・妥当性は「妥当である」が約 72%で、全プロジェクトのなかでは 4 番目の比率。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 66%と低くはないが、全プロジェクト中では 5 番目で、「わからない」も約 22%と、相対的には認知度も高くはない。

④ 関係人口・交流人口の拡大

- ・妥当性は「妥当である」が約 68%と低くないが、全プロジェクトのなかでは相対的に比率が低い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 69%で全プロジェクト中 3 番目に高く、「わからない」も 2 番目に低く、認知度も比較的に高い一方、「評価できない」も一定数いる。

⑤ あおきっ子 2 クラス化の実現

- ・妥当性は「妥当である」が約 68%と低くないが、全プロジェクトのなかでは相対的に比率が低い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 57%で過半数は超えているものの、全プロジェクト中最も低く、「わからない」も 30%超で最も高く、相対的に認知度が低い。

⑥ 健康寿命の延伸

- ・妥当性は「妥当である」が約 81%で、全プロジェクト中、2 番目に比率が高い。
- ・評価は「非常に評価できる」「まあ評価できる」の合計が約 70%で全プロジェクト中 2 番目に高い一方で、21%の方が「わからない」とも回答している。

問10 重点プロジェクトの妥当性						
※択一回答	① 新型コロナウイルスの克服	② 国道143号青木峠バイパスの整備・活用	③ 産業基盤の強化、企業誘致の促進	④ 関係人口・交流人口の拡大	⑤ あおきっ子2クラス化の実現	⑥ 健康寿命の延伸
妥当である	86.4	75.3	71.8	67.7	68.4	80.5
妥当ではない	2.3	5.7	5.9	9.1	3.4	3.1
わからない	9.6	17.6	20.7	21.2	26.5	15.0
無回答・無効	1.7	1.3	1.6	2.1	1.6	1.4
回答数	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049
問10 重点プロジェクトのこれまでの取り組みの評価						
※択一回答	① 新型コロナウイルスの克服	② 国道143号青木峠バイパスの整備・活用	③ 産業基盤の強化、企業誘致の促進	④ 関係人口・交流人口の拡大	⑤ あおきっ子2クラス化の実現	⑥ 健康寿命の延伸
非常に評価できる	90.0	67.8	65.6	68.7	56.7	69.7
まあ評価できる	45.3	41.3	44.1	46.3	38.1	47.9
あまり評価できない	1.1	9.1	8.8	11.0	8.8	6.6
まったく評価できない	0.3	1.6	1.2	1.8	1.1	1.1
わからない	7.2	19.7	21.7	16.3	31.0	21.0
無回答・無効	1.3	1.8	2.6	2.2	2.4	1.8
回答数	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049	1,049

■ どのような施策に力を入れるべきか（記述回答から一部要約抜粋）

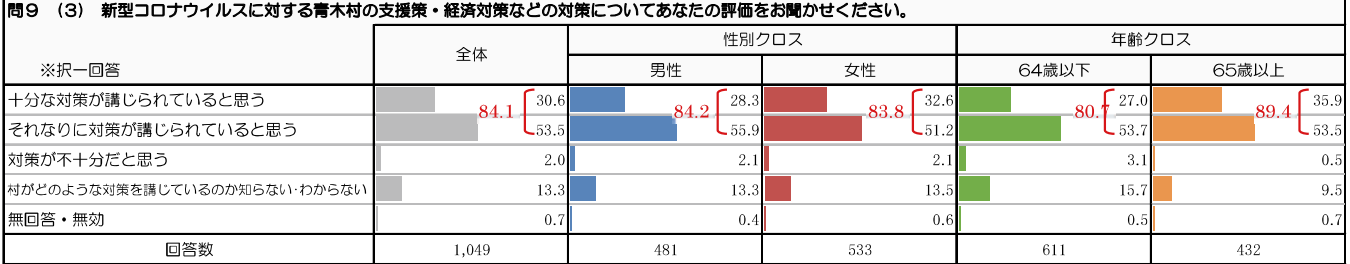
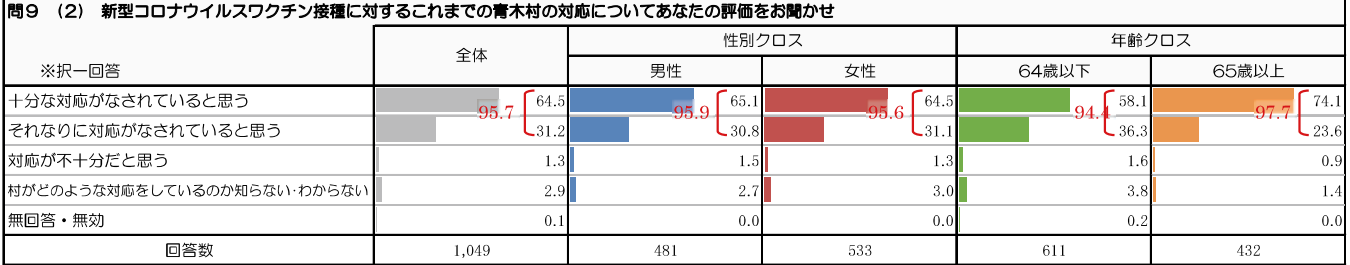
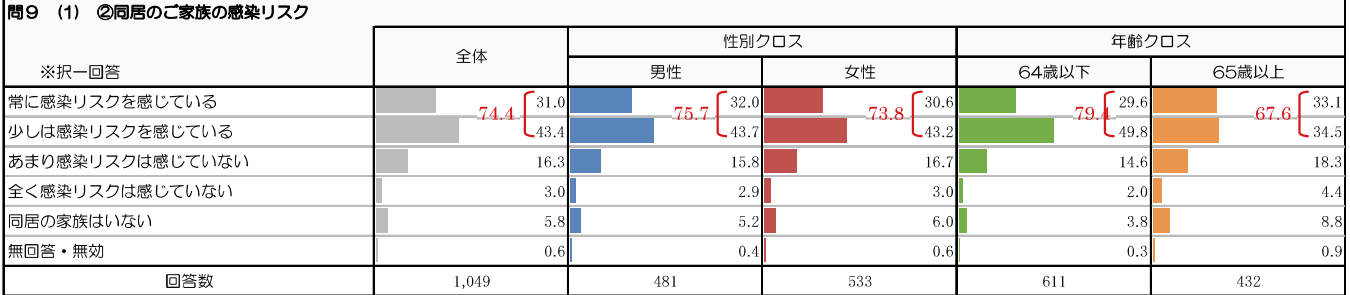
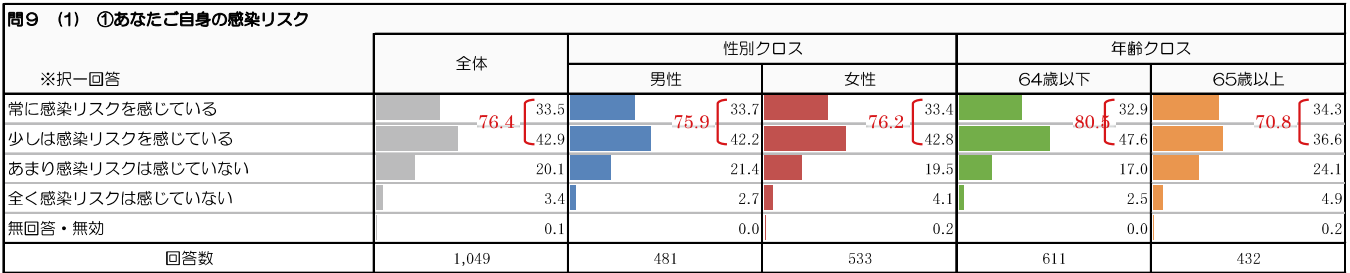
<商業> スーパーマーケットがほしい、生活必需品の買い物は上田市まで行かないといけない
<医療> 診療所しかなく医療機関が不十分、大きな病気は上田市まで行かないといけない
<雇用> 村内で働ける場所が必要、若者が住み続けられる環境が必要
<移住・定住> 空き家の活用、企業誘致による人口増加、自然・景観の保全、住みたい住環境の整備
<公共交通> 交通弱者の交通手段の確保、高齢者の買い物・通院が不便
<防災> 災害への対策の強化、治山・治水・砂防事業の推進
<道路> 生活道路の安全確保、通学路の安全確保、今後の交通量増加への対策、草刈りなど維持管理

■ 青木村の将来像・魅力（記述回答からキーワード分析）

★キーワード出現回数トップ 10
「村」：600 回 「住む」：142 回 「自然」：96 回 「青木」：95 回 「安心」：56 回
「豊か」：54 回 「人」：53 回 「村民」：49 回 「思う」：45 回 「日本一」 38 回

■ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に関して

- 自身の感染リスク【問 9 (1)①】・家族の感染リスク【問 9 (1)②】
 - ・「常に感染リスクを感じている」「少しは感染リスクを感じている」の合計は全体の約 75%で、「全く感染リスクを感じていない」は、全体及びいずれの属性でも非常に少なく、いずれも 1 割に満たない。
 - ・性別で大きな差はないが、年齢別では 65 歳以上の方より、64 歳以下の方のほうが感染リスクを感じている方の比率が高い。
- ワクチン接種【問 9 (2)】
 - ・「十分な対応がなされていると思う」「それなりの対応がなされていると思う」の合計は、全体及びいずれの属性でも約 95%と非常に高く、ワクチン接種の対応への評価は全体的に高い。
- 支援策・経済対策【問 9 (3)】
 - ・「十分な対応がなされていると思う」「それなりの対応がなされていると思う」の合計は、全体及びいずれの属性でも 80%以上で、支援策・経済対策に対しても一定の評価が得られている。
 - ・上記の比率を年齢別にみると若干差があり、65 歳以上が約 90%に対して 64 歳以下は約 80%で、高齢層のほうが支援策・経済対策に対する評価は高い。
 - ・「どのような対策を講じているのか知らない・わからない」という方も一定数いる。
- 記述回答からの一部要約抜粋
 - ・高齢者のワクチン接種の対応が他市町村に比べて早くてよかった
 - ・ワクチン接種が予約制ではなく日時指定だったのがスムーズでよかった
 - ・若い世代のワクチン接種の対応が高齢者に比べて遅れている
 - ・放送などによる感染者が出た際の対応がよかった
 - ・給食費の補助・支援金等がありがたい



資料3 地区懇談会

① 青木地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
建築業を営んでいるが、国道 143 号トンネルの開通により松本地域でも仕事ができるようになると考えている。仕事がやりやすくなるよう松本地域への PR や支援をお願いしたい。	2	広域行政
岡石工業地で働く人たちが青木に住むために何かプロジェクトはあるか。	3	住宅／移住・定住 ／工業
若者の移住定住促進のため、村営住宅に单身でも住めるようにしてほしい。	5	住宅／移住・定住
コロナワクチン接種を迅速にさせていただいたおかげで安心して生活できている。	1	健康管理
国道沿いに住んでいるので、143 号整備により大型車や夜間の交通量増加に不安があるが、上田地域は医療体制が弱いと感じており、143 号トンネル開通により医療の選択肢が増えるので、143 号プロジェクト自体は歓迎している。	2	交通安全／ 地域医療体制
人口増・移住定住促進の点では、若い人が住みたくなる村にしてほしい。ゴミ出しや消防団、地区のルールなど、めんどくさくないこと、シンプルであることが大事だと思っているので、制度や決まりなどをわかりやすくしてほしい。	5	移住・定住／ 生活環境保全 ／消防防災
国道 143 号整備について、青木区の道路の幅員はせまいと感じる。また高齢者ドライバーも増えているので対策をしてほしい。	2	交通安全／道路
農業をしているが、岡石工業地開発で農地の一部が潰れた。やむを得ないことだと思っているが、できれば農地を潰さないで開発を進めてほしい。農業も大きくやっていかないと成り立たないので農業と工業を両立（バランスよく）できるようにしてほしい。	3	農業／工業
子どもが多かったので、村の子育て支援はよかった。これからも続けてほしい。	5	子育て支援
村営住宅といっても賃貸であり、仮住まいの状態である。定住を増やすためにも宅地の斡旋をしてほしい。 また、村の中でも地区によって人口にばらつきがある。入奈出身だが、消防をやっていた仲間も半分は地区外に出て行った。こういった地区の宅地の確保をして斡旋すれば定住者が増えるのではないか。	5	住宅／移住・定住
国道 143 号整備に伴い、交通量が増えるのかと心配している。子どもの通学路でもあるので対策をしてほしい。	2	交通安全
10 年前に仲間とジャンボにんにくの生産を始めた。きっかけは山間地でも問題なく荒廃地を利用できること、またサラリーマンをやりながらでも生産できること。販売は道の駅等で定着してきている。これからタチアカネ蕎麦のような特産にしたいので、農地や販売の相談や村のアイデアなど助言をしてほしい。	3	農業
田沢温泉・沓掛温泉を活かす形を考えてほしい。田沢温泉は近代的、沓掛温泉はレトロなところが特色だと思う。	3	観光
天候に恵まれている土地なので、太陽光や自然の力を活用して伸びてほしい。	3	地球環境保全
10 年後を見据えた内容で、幅広いことが網羅され構築されているのでよい。		行政事務
アンケート結果を見ると男女共同参画の満足度が低い。これについて、10 年後はどうしていこうと考えているかお聞きしたい。		男女共同参画
村の基幹産業は農業であり、タチアカネのブランド化など進めているが、村として 10 年後の農業をどうしていこうと考えているかお聞きしたい。	3	農業
災害に強い地域であるが、危険箇所の点検はしているか。	1	治山・砂防・治水 ／消防防災・危機 管理体制

② 殿戸地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
自分もいい年になり医療について心配している。現在、青木診療所は医師が 1 名体制だが、医師の補充は考えているのか。また、新しい医療機器等の導入予定はあるか。	4	地域医療体制

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
道の駅でマツタケを買おうとしたところ、土曜日だったので朝から 200 人近く並んでいた。最後の人には買えなかったほど人で、「マツタケなら青木村」が定着してきたと感じてうれしかった。マツタケ以外にも「青木村といえば〇〇」が増えてほしい。	3	農業
村内をパンフレットを見ながらまわってみた。義民の墓など半分はどこにあるのかわからなかった。「義民の村」としてやっているのに、外から来た人は残念に思うのではないか。	6	観光／文化・芸術
年金の支給年齢が上がっており、70 歳になっても働かなければならない。会社を辞めてから地域に貢献できる期間が短くなる。高齢化が進んでいて、80 歳近くまで第一線で活躍しないと村が回っていかない。高齢者でも社会貢献できて満足できる村になってほしい。	4	高齢者対策／ 地域活動／ 住民参加
企業誘致をもう 1 社くらいできれば財政的に安定するのではないか。	3	工業／財政
医療について、青木村では胃カメラなどの検査ができない。高齢になり車が運転できなくなると検査ができる病院まで行けなくなるので青木村の中で検査ができるようにしてほしい。	4	地域医療体制
車が運転できなくなると買い物にいくのも厳しくなるので、何か対応を考えてほしい。		消費者保護
山の方に行くほどよい蕎麦が出来ているように感じている。	3	農業
143 号トンネル開通や岡石工業地の稼働に伴い、交通量が増えると考えられる。歩車分離するなど交通安全対策を取ってほしい。また、白橋・細谷付近から市側に抜けるバイパスなども含めて整備を進めていただければと思う。	2	交通安全／道路
五島慶太の生家に車を停める場所を整備してほしい。		観光／道路
空き家が増えており、人を呼び込むための取組をさせていただいているが、他の地区の状況はどうか。	5	住宅／移住・定住
殿戸では、新たに移住してきた方と考え方の違いから摩擦が起きてしまうことがあった。行政の方であらかじめ地区の状況等、説明していただけるとスムーズになるのではないか。		移住・定住／ 住民サービス ／地域活動
空き家の草がひどいので管理してほしい。		地域活動

③ 細谷地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
村道の交通安全について、細谷地区から夫神地区に抜ける道がまっすぐなのでスピードを出す車が多く、長年懸念していたが、道路標示を設置していただけると聞きありがたい。国道、県道と違い、交通量の少ない村道は見落とされがちなので、村道の交通安全対策もお願したい。		交通安全
糸魚川方面によく行く機会があるが、白馬村、小谷村では歩道と車道の間にガードレールが設置されている道路が多い。大型車が多いからだと思う。国道 143 号も青木峠バイパスが開通すれば大型車が増えると思うので、交通安全のため、とくに村の中心に近いところだけでもガードレールを設置してほしい。	2	交通安全／道路
村道で車を飛ばす方が多いので、村道以外にバイパスを検討してほしい。		交通安全／道路
防犯カメラを村内の必要な場所に設置してほしい。事故等があったときにも役に立つと思う。		防犯
退職して家にいる時間が増えたが、救急車が走っていることが多いと感じる。上田まで送り届け帰ってくるまでに時間もかかるので、要請が重なることも想定し、川西消防署にもう一台救急車があった方がよいのではないか。	1	消防防災・ 危機管理体制 ／地域医療体制
SDG s について村としてどのような目標を持って取り組んでいくのか具体的な考えがあれば教えてほしい。	5	—
過去に田畑だった所が荒れているのが目立つが、区民の土地であり注意しづらい。中山間直支補助金を活用して法面の整備をしているが、環境問題でもあるので綺麗にできるような制度はないか。先日台風では荒地から出た竹や木など片付け作業で週末が潰れた。日々綺麗を維持できればいい。		景観育成／ 地域活動

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
子どものころは近所の川で魚が釣れたが最近魚がいなくなった。理由がわからないので大学等と連携し河川の調査をしてもらえないか。昔のようになれば「魚の釣れる村」と外に PR できるし、子どもたちが自分で釣った魚を夕食に食べるようなこともできる。		生活環境保全
山に入ると以前は通れた道が荒れて通れなくなっている（とくに私有地）。整備が出来れば自然に恵まれた村ということで魅力が増すし、ウォーキング等に活用し健康寿命にも好影響になると思うので、村で対応できないか。		自然環境保全

④ 夫神地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
松本地域との交流も盛んになるように、青木峠トンネルの開通を早く実現してほしい。	2	道路
当郷～森林組合まで歩道整備され道が広がったが、小学校前～洞の間は広げづらい場所だと思う。今後、迂回路整備は検討しているか。	2	道路
工業団地整備が盛んに進められているが、竹内製作所の開業に伴い進出を希望する企業を募っているのか。	3	工業
工業団地を中心に活性化と思うが、交通網も含め安全な村を第一に進めてほしい。	3	工業
国道 143 号整備について、適切な残土処理がされるよう業者への指導をお願いしたい。	2	道路
村外の方からタチアカネそばをどこで食べられるか聞かれることが多い。評判がよいのでタチアカネの PR をさらに進めてほしい。	3	農業
遊休農地について、いくつかの団体に所属し活動しているが、少子高齢化もあり仲間も増えていかない。夏の草刈りや維持管理がとくに大変で難しさを感じている。		農業
村外の人所有地が荒れていることが多いが、勝手に草を刈るわけにもいかず、刈ることを申し出ても断られるので、村外の所有者の空き地対策をお願いしたい。		土地利用
夫神地区にも移住者が増えているが、区費や上下水道料金が都市に比べて高いと言われる。高いのは仕方がないことだが、移住者に聞いてないと言われ揉めたことがあった。トラブルにならないためにも、あらかじめ移住者に説明し了解をとるなどの対応が必要と感じた。	5	移住・定住
区内の荒廃地について、とくに竹藪の管理が大変で、2、3 人で刈れる量ではないが、美しい夫神地区にしたいので取り組んでいる。		景観育成
役場前のカーブが危ない。横断歩道がないが、役場と農協の近道ということで高齢者が横断しているのを見る。今後交通量も増えると思うので対策をお願いしたい。	2	交通安全
外で仕事をしていると災害が発生してもそのことを知る術がない。昔はサイレンやスピーカーでお知らせがあったが今はない。	1	消防防災・危機管理体制
村外から来た人に情報端末を勧めるが、初期費用や月々の料金が高いので、スマホで連絡がほしいと言われる。		情報通信環境
情報端末が使いつらいという声が多い。情報端末を使うくらいならスマホで連絡すればよいのではないかという方もいる。お年寄りからは昔の黒電話とスピーカーの方が音も大きくよかったという話も聞く。何とかならないか		情報通信環境
都会からみれば青木村は魅力的だが、とくに子育て世代や若い世代にとって重要な仕事と物件の情報が少ない。実際に足を運んで聞いて調べて初めて分かることが多いので、情報発信に力を入れてほしい。	5	移住・定住
外の人にとって荒廃農地は魅力なので情報発信すれば活用してもらえるのではないか。	6	土地利用
蕎麦粉を引く作業所が老朽化しているが、区で建て替えるのは難しい。タチアカネと絡めて全体がよりよくなる取組をしてほしい。	3	農業

⑤ 沓掛地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
コロナワクチンの 3 回目接種はいつからか。	1	健康管理
143 号トンネルは有料か無料か。	2	道路
災害時、各戸の避難を誘導するが、避難が完了しているのか把握するのに時間がかかるので、「避難済」等の札を全世帯に配布し、家の入口に掲示するようにしたらどうか。	1	消防防災・危機管理体制
沓掛地区を流れる河川は過去の台風等でだいぶやられている。河川改修の予定はあるか。		治山・砂防・治水
旅館を経営しているが、村営バスは日曜日に営業していないので、月曜日チェックアウトの宿泊客が予約できない。休日も運行しているのが理想だが、予約だけでも土日も受付してもらえるとありがたい。	3	公共交通
図書館が連休や正月休みなど閉まっていることが多い。開館日を増やしてほしい。		社会教育・生涯学習
沓掛地区にある残土置き場の今後の対応を聞かせてほしい。		治山・砂防・治水
犬の散歩中にフンを片付けない人が多い。よい対処法はあるか。		生活環境保全
村営バスのダイヤを変更してほしい。小学生が委員会活動などで朝早く通学する必要があり、今のダイヤだと間に合わないため親が送っている。		公共交通
中学校の部活について、人数が減っていく中で縮小傾向にあるが、子どもの可能性を減らさないためにも部を減らすのではなくある程度残してほしい。部活をするために他の通学区へ引っ越す話も聞く。青木中学校は文化部が少ないので生徒がやりたいことに取り組めるよう選択肢を増やしてほしい。	5	学校教育
急傾斜の農地が多い中で、荒廃化を防ぐために草刈で何かいい手立てはないか。		地域活動
リフレッシュパークの施設の老朽化が進んでいる中で、コロナによる営業制限もあった。今後の経営方針等どのように考えているかお聞きしたい。		観光
丸子信州新線をはじめとした別所、田沢、沓掛、鹿教湯温泉等観光地を結ぶルートについて、青木村以外の地域の道路改良が進んでいない。これについてどのように考えているか。		道路

⑥ 入奈良本地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
青木の森の別荘は区画が 400 あり、空いている区画もまだ沢山ある。コロナ禍で地方移住やワーケーションが増えている今が活性化のチャンスだと思う。	5	移住・定住
青木の森への移住促進にネックとなるのは冬の雪道である。沿道の樹木の伐採や側溝整備が必要。		道路
デマンドバスをより充実させてほしい。		公共交通
青木の森に郵便ポストを設置してほしい。		消費者保護
青木村は歴史・文化・自然が豊かで教育にもってこいの場所なので、これらの情報発信に力を入れてほしい。	6	芸術・文化
歴史・文化・自然を活かすため東山道の活性化を国に提案し、予算をつけて取り組むことを検討してほしい。	6	芸術・文化
カーボンニュートラル宣言に関して、青木村に適しているのは太陽光発電だと思う。入奈良本牧場等に設置したらどうか。		地球環境保全
C02 の吸収に森林は有効である。木材を生産する地域、生態系保存地域、保安林地区等がわかる森林利用マップを作してほしい。		林業
五島慶太未来創造館の活用をお願いしたい。（定期講演会の開催等）	6	社会教育・生涯学習
最近移住してきた。住む場所を探す際に、いきなり家を購入するのは不安なので賃貸物件を探したが、選択肢がほとんどなかった。空き家バンクには多くの登録があるが、「売り」ではなく「賃貸」にした方が空き家が埋まっていくのではないか。	5	住宅／移住・定住
定年を迎え一人暮らししており老後が心配。村内に日本一大きな老人ホームのような施設を作って心配なく入れるようにしてほしい。	4	高齢者対策

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
入奈良本は人口が少ない地区であり、今後 10 年、20 年先が心配。区長等の役員構成も同じ人が続けなければ成り立たない可能性もあり負担が増える。		地域活動
脱炭素、温暖化対策に関して、昔、天神様の奥にダム建設・水力発電計画があったが発掘調査の結果とん挫した。山間地では水資源を活用するくらいしかないので水力発電計画の検討をお願いしたい。		地球環境保全
消防団は定年が 40 歳のところ、選択性で 55 歳まで協力団員として活動することになっているが、消防団の在り方に疑問を持っている。区の役員をやってもらうのにも消防団をやっていることを逃げ道にされる。団員数を 200 人維持したいとのことだが、人数が少なくてもできる活動をすればいいのでは。ポンプ技法大会が負担だし、ラッパ班は必要ないと思う。火事や災害対応に特化する体制の方がよい。今後、若い人の中に消防団が嫌で青木村を出ていってしまう人がいるかもしれないと不安。手当も頂けるが、割に合わないと感じるので、村としても考えてもらいたい。	1	消防防災・危機管理体制
コロナ禍でキャンプが流行している。村にもマルベリー、横手キャンプ場があるが、予約方法が電話しかない。ネットで予約や問い合わせができれば稼働率も上がると思う。横手キャンプ場は料金も安いし景色・設備もよいので、外の人を呼び込むためにも改良してほしい。	6	観光

⑦ 下奈良本地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
岡地区との財産区の山林整備について、国の予算が付かず、手が付けられない状況。現在、滝川の砂防堰堤の上の森林が伐採されているが、土砂災害などが起きないか不安。		治山・砂防・治水
下奈の公民館は施設がよいが、川沿いに位置していて危険。瀧仙寺も土砂災害の危険性がある。火事ならともかく風雨災害の時は避難場所がない。	1	消防防災・危機管理体制
国道の融雪剤散布について、当郷はしっかり撒いてあるが、上田市の出浦の坂などは撒かれていなくて、スリップして事故を起こしたことがあるので、しっかり対応してほしい。		道路
村長や包括支援センターにはとてもよく対応してもらっている。青木村に住んでいてよかった。よく坂城町に行くが、坂城でも村長や道の駅の評判は良い。		住民サービス・行政事務
道の駅の食堂は、タチアカネそばはよいが、その他のメニューはいまひとつ。他のメニューも改良してもらえるとよい。「やまさん」も最初はいまひとつだったが、研究を重ねて美味しくなった。	3	観光
文化会館のスリッパが古いので新調してほしい。		
コロナで事業が厳しい。国からの支援金は 1 回しかもらえない。国や県がやらない場合は、村から生活支援金や事業費補助をいただけるとありがたい。	1	
就労支援センターのカレブ（上田市）に通い、コーヒーの販売に取り組んでいる。道の駅でもカレブの商品を取り扱ってほしい。		観光
コインランドリーが村内には無く不便。道の駅に併設してほしい。		消費者保護
滝山連峰は荒れる一方で、眺望もよくないが、整備すればトレッキングによいのではないか。十観山や子壇嶺岳の西側の手入れをすれば眺望がよくなり、観光の名所になるのでは。		観光／自然環境保全
道の駅の出入口が見通しが悪くて危険。スピードも出やすい箇所なので、いつ事故が起きてもおかしくない。		交通安全
御代田町に通勤しているが、青木ー上田間より、上田ー御代田間の方が、距離が長いにもかかわらず時間的に近く感じる。渋滞などの道路状況がよくないからと考える。		道路
青木にはスーパーがなく、デリシアまでいかなければならない。スーパーの代わりにもなるよう道の駅ではお土産品ばかりでなく、日常品も取り扱ってほしい。		消費者保護
滝川ダムの本堤のコンクリートの切れ目のようなものが気になる。安全確認をしたほうがよいのでは。堆積土砂も心配。		治山・砂防・治水
(主) 丸子信州新線　豆石峠の改良についての考えは。		道路

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
青木村でも、当郷のように工場誘致しているところはよいが、下奈のような奥まったところは少子高齢化が深刻な状況。		
農地も荒れてしまう場所が多い、次の世代のことを思うと不安。今から対策を考えていただきたい。		農業
条件のよくない田は荒れてしまい、ただ草を刈っているだけの状況。今後の農業について考えてほしい。	2	農業
青木峠バイパスで交通量が増えるので、安全対策をしてほしい。	2	交通安全
役場から道路に出る時に見通しが悪いので、対策をしてほしい。		交通安全

⑧ 中挾地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
夫が入退院を繰り返し、老々介護をしている。自分が夫の面倒をみれなくなったときに入れる施設があるのか探したが、青木村にはない。	4	高齢者対策
村営住宅は山ほどあるが、ほとんど 2 階建てで高齢者向けの住宅がない。若者向けの村営住宅があるが、なぜ 45 歳までしか入れないのか。		高齢者対策／住宅
訪問介護をお願いしたが、ラポートではなく上田の病院から職員が来る。なぜ青木にはないのか。ラポートを運営している大樹会がそういうことができる施設を作ってほしい。	4	高齢者対策
介護サービス付き高齢者住宅を青木村にも作ってほしい。佐久平駅前にそのような施設があり、利用者はほとんどが東京などの都会の人。面会がてら子どもが行き来すれば青木村が気に入って人口が増える可能性もある。	4	高齢者対策
ゼロカーボンに関して、中挾防災センターに小水力発電のようなものを設置すれば避難時に発電できて便利だと思う。	1	消防防災・危機管理体制／地球環境保全
災害対策について、千曲川、依田川では河床を掘り下げ対策をとっている。青木村の川も浅く大きな石が転がっている場所もあるので対策したらどうか。	1	治山・砂防・治水
ガソリンが高く電気自動車を検討しているが、購入の際、補助金は出ないか。軽井沢町や東御市には制度があるので青木村でも検討してほしい。		地球環境保全
コロナで世の中が様変わりしていくと思うが、農業も変わると思う。農業と観光が結び付いた自然型旅行が生まれると考えている。自然にプラスして何かしかけを。村は新しい考えを取り入れ、基盤づくりに取り組んでほしい。	3	農業／観光
子どもがいる立場として、教育分野に力を入れてほしい。教員の負担を減らす体制をお願いしたい。2 クラスにしても教員が疲れていれば意味がないので、教員に限らずスタッフを増やす等の対応を。子どもにとっても、いろいろな大人と接する経験はよいことだと思う。	5	学校教育
国道 143 号が整備されれば大型車が増え事故も増えると思う。青木中心部の道が一番狭い。道を広げるかバイパスを作ることを検討してほしい。	2	交通安全／道路
プロジェクトについて、メリットだけでなくデメリットも説明するようにしてほしい。		
男女共同参画が課題と考えている。女性が活躍できる場を推進してほしい。村議会議員も女性一人で寂しい。		男女共同参画
6 つのプロジェクトには賛成だが、観光を大きく打ち出してなくて残念。村内に目玉となる観光施設がないと思う。宿泊施設も元気がないように感じる。観光拠点がほしい。	3	観光
人が増えればスーパーも出店してくれると思う。スーパーがないと住みづらい。		商業
これからの農業を心配している。現在は機械化部会が頑張っているからよいが、10 年、20 年後が心配。農業で生活が成り立つしくみがないと厳しいと思う。全く新しい若者が取り組める農業を望む。観光との連携や、村で多角的な経営に取り組むプロジェクトチームを立ち上げてほしい。	3	農業

⑨ 中村地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
温泉地域であるので、観光にもう少し力を入れられないか。	3	観光
交通、道路整備等率先して進めて頂きたい。		道路
子どもを育てるなら青木村と言われるが、小中学校になるとお父さん方が出てこなくなるので、興味を持って参加して頂ける方向づけをお願いしたい。	5	家庭教育・地域教育
田沢温泉有乳湯の側に険しい山があり、災害時に土砂崩れが心配である。災害重点地区にはなっていると思うが、対策をお願いしたい。	1	治山・砂防・治水
孫が小学校に通っているが、手洗いの時に水しか出ず冷たいと言う。お湯も出るようにしてほしい。		公共建築物／学校教育
ごみの分別について、もう少し分別への意識的に取り組みば資源を大切に使えると思う。		生活環境保全
水道の配管が古くなってきている。保育園・小学校・中学校をはじめとした公共施設も古くなってきているため、計画的に修繕、取替を行ってほしい。冬場の手洗いはきついのでお湯も出るようにしてほしい。		上下水道／公共建築物
国道 143 号バイパス整備について、交流人口が増えるのは大変よいが、交通量も増えると思う。国道沿いに住んでいて、スピードを出す車も多く心配である。歩道整備や横断歩道の確保をお願いしたい。	2	交通安全
アンケート調査結果を見ると、観光の重要度が低く驚いた。村外から来た観光客が青木村の何に魅力を感じているのか、また課題に感じていることは何かを調査し、それを活かしてみてはどうか。	3	観光
中村地区には子檀嶺神社等の観光資源があるので、国道 143 号の開通に合わせて観光の発展につながるアイデアを地元と一緒に考えてほしい。	2	観光
国道 143 号の開通について、既存の道路でも夏に事故があったので、安全性をどのように確保していくか考えてほしい。	2	交通安全

⑩ 入田沢地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
入田沢地区にとって国道 143 号トンネルの開通は大きく、これをきっかけに経済、医療、教育などいろいろな問題が解決すると思う。	2	道路
農協前のカーブが危険。昔バイパスの計画があったが、土地の確保ができず進まなかった。青木の中心部を通らないバイパスを検討できないか。	2	交通安全／道路
移住を促進しているが、受け入れの問題がある。後でトラブルにならないように、村の条例で区の決まりを守ることを規定したり、住民票を移した時点で区費を徴収してもらえれば助かる。猟友会員として活動しているがそれを邪魔されたり、自分たちの考えばかり押し付け、協力する姿勢がないので困っている。		移住・定住
防災情報伝達について、停電の時に情報端末が動かない。スマホでも防災メール送って頂いているが、高齢世帯は利用が難しいので、停電時にも伝える方法を考えてほしい。また、情報センターの設備も古くなっているので改修の検討を。	1	消防防災・危機管理体制／情報通信環境
区費は税金の中で何とかならないか。生活が苦しい時に徴収があり大変だった。		地域活動
中山間地に小さくて効率の悪い耕作放棄地が多く、引受手がない。土地も安いので移住希望者に見てもらい希望のところを宅地にする取組をしたらどうか。		土地利用
国道 143 号整備で出た残土処理について、地元や村内で利用の要望がある箇所。高低地盤の解消や修那羅峠のカーブの解消、耕作放棄地を埋めなおして優良農地に改善など、活用を検討していただきたい。あわせて現在の土木技術で土砂災害対策もお願いしたい。	2	道路／治山・砂防・治水
仕事は東御市に通っていて長い時間運転する。今日は休みだったが、村外に出なければ必要な買い物は済ませられない。できれば村外に出たくない。女性目線で、買い物に時間をかけたくない人が多いと思う。	3	商業

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
国道 143 号トンネルの開通は早く願うが、それに合わせて沓掛～鹿教湯の県道も拡張、整備してほしい。信大病院は鹿教湯側にあり、利用も多い。	2	道路
修那羅峠の急斜面の改良予定はあるか。		道路

⑪ 村松地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
男女共同参画の関心度が低い、人権教育を進めていただきたい。		男女共同参画／社会教育
大学や就職で一度村を離れるとほとんどの人が帰ってこないが、戻ってきたいと思っている人は多いと思う。魅力ある村づくりを進めてほしい。	5	移住・定住
アンケートの回答者が高齢者に大きく偏っている。若者の意見も取り入れて計画してほしい。		
10 年計画もよいが、もっと長い長期構想も検討するべき。例えば、核廃棄物を青木村で受けてくれといわれた場合はどうするかなど。		行政事務
農地を貸したいという人が増えている。農業だけでは生活できない、他の収入も必要。営農型太陽光等、農地の利活用を進めるべき。	3	農業／土地利用
自主財源について。固定資産税を考えると、太陽光発電設備の招致、規制の緩和をしていったらどうか。		財政

⑫ 当郷地区

質疑・意見の内容	関連重点 P	関連分野
農水保全会として農地を守る立場にいますので、竹内製作所周辺は優良農地として維持して欲しいが、工業用地はさらに拡がる予定があるのか。	3	農業／工業／土地利用
筑北村では、老朽化した水道の取替工事を行っている。青木村でも計画的に更新を進めてほしい。		上下水道
人口減少、少子高齢化が、村だけでなく日本全体の課題であるので、関係する施策を進めてほしい。	5	少子化対策／高齢者対策
青木峠のトンネルが開通したら、松本地域の通勤者が青木村に家を建てるかもしれない。その場合、冬場の通勤がきついと思う（道路状況）ので対策をしてほしい。	2	移住・定住／道路
村が通過点とならないよう観光をはじめとした施策を進めてほしい。	2	観光
重点プロジェクト3（産業）について、商工業と農業は両立できるのか。現状は企業誘致を進める一方で農業は衰退している。	3	農業／工業
企業誘致等により労働者が増えるのはよいが、治安が悪くなるのが不安という声がある。	3	防犯
新たに転入してきた人の中には、区費を納めなかったり行事に出ない人もいると聞く。元の住民と協調するよう村からも伝えてほしい。	5	移住・定住
国道の歩道整備が進んでいるが、自転車も通れる広い歩道を検討してほしい。また、乗鞍のようなサイクリングロードがあれば誘客に繋がるのではないか。	2	道路

資料4 意見募集

(1) 審議委員への意見募集

① 「青木村の将来像」と「将来像に向けたキャッチフレーズ」

ID	青木村の将来像		将来像に向けたキャッチフレーズ
1	皆が健康でハツラツと生活できる村づくり	→	皆（村民）が健康で安心して住める村
2	高齢者が生き生きと輝ける村づくり	→	高齢者の笑顔があふれる青木村
3	子どもから高齢者まで、将来を憂うことなく夢を持てる。安心して暮らせる村づくり	→	いつまでも、あおきっ子でいられる青木村
4	・子どもも大人も高齢者も、村の人たちがいつも笑顔で元気に過ごしている ・福祉・教育等が充実し、心も体も健康な村づくり	→	笑顔満開 青木村！ ～みんな笑顔 みんな元気 みんな幸せ～
5	農村と工業の共存を実現	→	暮らすなら青木村 豊かな自然を守ろう
6	予測不可能な未来を語るからこそ、ふるさとの歴史や文化を語ることができる未来を担う青木村民でありたい 義民や五島慶太の思いを学び、知り、生かしていこう	→	先の見えない未来を語る今だからこそ、義民や五島慶太の思いを受け継いでいこう
7	豊かで住みやすい村ーデジタル化を目指して	→	日本一住みたい村ー青木村へ
8	豊かな自然と共生する村	→	青木三山の豊かな自然・歴史と共生する出湯の里
9	田園や森林を守り生活環境が豊かに安心になる村づくり	→	緑豊かな生活しやすい村 青木
10	中信と東信を結ぶ 人の交流により、更に豊かな自然 青木村の良さを PR	→	豊かなふるさと青木村で子育てを
11	男女みんながそれぞれ持つ能力が発揮できいきいきと生活できる村づくり	→	男女が力を合わせ作る未来 明るい村
12	多様な人たちと融合する持続可能な村づくり	→	信州の田舎をステキに変える🍄
13	たくさんの観光客が訪れる村ー住みたいにつながれば・・・自然環境アピール	→	みんなおいでよ 青木村！ ～あっちも こっちも こちいい～
14	昔からの里山の原風景が残っている。自然が豊か。環境が良い。村民が安心安全に暮らせる。	→	地球にも村民にも優しい青木村
15	観光による誘客と定住者の増加	→	来てもよし、住めばなお良し青木村
16	観光施設や特産品などの PR と誘客。定住者の増加。	→	来て！見て！食べて！住んでみて！
17	定住者の増加。	→	日本の真ん中、青木村。人が中心、青木村。
18	温泉文化、仏教文化が漂う満天の星がきれいに見える安心・安全な村	→	暖かい人柄
19	誰もが活躍し、生き生きと暮らせる村づくり	→	あなたのための青木村。
20	あなたも私も希望あふれる未来のために	→	認め合おう、お互いの絆
21	田舎の良さ（自然・文化・人柄・歴史）を大切に暮らし良さ（商工・医療・仕事・交通）の向上を青木村に住んでいる人の豊かさ、青木村とつながる人も幸せになる村 発信力 田舎暮らしが時代の主流（先端）になっていく発信力を持って、その先端に行く青木村モデルをめざす	→	暮らしは㊦んしん、村人㊦ったか ㊦いしい食べ物、㊦んせんやすらぐ、㊦れいな村里、歴史はゆう㊦ゅうの 青木村（ここ）で暮らす
22	街に近い田舎。文化が残る。明るい未来。		
23	持続可能自治体としての先進的な取り組み		あっ🍄 あったんだ🍄 こんな自治体🍄 青木村🍄

② 青木村の「強み」

○自然環境

- ・自然が豊か（真っ青な空、満天の星空、おいしい空気、山や緑がたくさん、温泉） ・自然が近い
- ・四季折々の自然環境 ・自然に囲まれた環境があること ・里山の自然 ・自然豊かで空が広い
- ・自立している村ならではの山、川、田畑などの自然環境 ・自然が近い ・温泉がある
- ・自然環境に恵まれている（農産物、山野の恵み） ・昔からの里山の原風景が残っている
- ・山村の田舎・程よい田舎感 ・田舎・環境保全型農業が可能 ・気候非常事態宣言をしている
- ・雨が少ない ・自然災害が少ない
- ・天候に恵まれている（晴天が多く、長野県は雪国のイメージだが降雪も少ない）

○立地

- ・都市近郊型 ・北信、中信、東信のどこに行くにも比較的よい立地条件 ・土地が安い
- ・上田市、松本市へのアクセスがいい ・新幹線駅のある上田市に近い ・空港のある松本市に近い

○観光資源

- ・観光資源（二つの温泉地域・旅館・東山道、国宝等の建造物、義民の歴史、等）
- ・道の駅あおきを中心とした村の PR が上手くできている
- ・道の駅、ふるさと公園への集客（村外の方が多い） ・道の駅が大変賑わっている
- ・道の駅の知名度 ・特産物がある（タチアカネそば、コンバラ、マツタケ）

○歴史・文化

- ・歴史、文化資源が豊か ・五島慶太さんの生誕地である
- ・「義民の里」を子どもが実感できる「義民太鼓」や「伝統芸能」の継承

○教育・子育て

- ・教育に熱心 ・子育て～中学まで教育が充実している ・保小中一貫教育の推進
- ・インクルーシブ教育 ・教育が手厚い
- ・教育をはじめとして、村の子どもたちの未来に対して惜しみない支援
- ・教育や子育て支援が手厚い ・子育て支援が充実し、子育てがしやすい ・子育て環境のよさ

○人柄・地域特性

- ・高齢者の方が元気 ・あたたかい村人のよさ ・青木村が大好きな子どもたち
- ・人情味があり、温かい人が多い ・地域の支え合い ・地域、村民の一体感
- ・義民の里にみる自己犠牲や先駆的な取り組みの風土

○インフラ・生活

- ・道路、上下水道、通信インフラ（ライフライン）が整っている ・バスが安い
- ・143 号トンネルの開通 ・光ファイバー等の通信網が完備されている
- ・コンビニエンスストアがある ・温泉を含めた地域とのつながり等の生活環境のよさ

○行政

- ・行政能力が高い：少人数の職員が多様な業務を先進的かつ積極的に取り組んでいる
- ・行政対応が素早い（臨機応変な対応が出来る） ・コロナウイルス対策など行政の危機意識が高い
- ・行動力のある村長と実行力のある職員 ・北村村長さんがやり手である ・小さくて小回りがきく
- ・イベント等の開催など、行政サービスが積極的に行われている

○その他

- ・基幹農業がある ・移住者が増えてきている ・村から県議が出ている
- ・企業誘致による新規雇用の拡充

③「強み」をさらに活かす取組は？

○自然環境

内容	関連分野
里山の原風景を身近に感じられる体験型のイベントや拠点を作り、滞在時間を長くする。	観光
独自ブランドの確立 ①六次産業化への取り組み推進	農業
自然を活かした教育（野外活動）をもっと取り入れる。	学校教育
自然環境に恵まれている事を利用した各種イベントの開催をする。	自然環境保全
山間での、建売住宅等々	住宅
カーボンニュートラル戦略（環境に配慮した再生可能エネルギーの開発、森林整備）	地球環境保全
自給・自足・自立型農業の提供（対象者：サテライトオフィス利用者、田舎暮らし、中長期滞在旅行者、観光客等）	農業／観光
災害が少なく生活しやすいことをホームページなどで発信する。	移住・定住
（自然に恵まれている点をアピールポイントとした） 移住希望者増加への取り組み ①都市部への情報発信強化 ②SDGs の積極取組 PR（都市部で取組困難な） ③リモートワークによる在宅勤務推奨（既存インフラの PR）	移住・定住

○立地

内容	関連分野
首都圏に向けた PR	多分野関係
サテライトオフィスの誘致	情報通信環境
松本市へのオンデマンドサービスなど	公共交通
当郷・村松に住宅団地の造成	土地利用／住宅

○観光資源

内容	関連分野
観光資源を活かした取り組みが必要。ふるさと公園に隣接して青木「観光ホテル」等建設する（足湯、喫茶店、日帰り入浴施設等を作る）	観光
観光資源の有効活用による誘客増加 ①メディア活用による PR ②既存施設とのコラボと整備（ストーリー性を持たせる）	観光
温泉を利用した宿泊客の定着 ①温泉利用による新施設の建築（温泉プール、ジム等） ②宿泊施設への新規参入事業者誘致活動	観光
温泉・旅館の活性化を図る。	観光
道の駅、ふるさと公園で、休日イベントを行う。	観光

○歴史・文化

内容	関連分野
東山道の復元プロジェクト（浦里駅～保福寺峠）の検討（散策路、アルプス景観、神社、万葉碑、森林セラピー、自然観察等の教育）	芸術・文化
郷土芸能（太鼓、踊り、神楽等）の他劇団とのコラボ（恋渡神社、宮淵神社）	芸術・文化

○教育・子育て

内容	関連分野
子育て～教育について非常に恵まれている。この事をマスコミ等に PR し移住者の増加につなげていくべきである。	移住・定住
子育てしやすく生活しやすいことを実感できるようホームページなどで、メリットもデメリットも情報を発信する。	子育て支援
教育講演会で、最新の教育事情等も発信し、青木村でできることを考える。	学校教育
教育、子育て支援の充実を知らない人が多いので PR していく	子育て支援

内容	関連分野
インクルーシブ教育を中心としながら、「日本一子育てに適した村」をアピールしていきたい。／先輩の校長先生から「教員採用試験の面接の際、青木村出身者が多い年があった。教員志望の動機を聞くと、皆、通学合宿での学びのよさをあげていた」と伺ったことがあった。青木村の教育の温かさや確かさを改めて感じさせられた。	保育(幼児教育)／学校教育／家庭教育・地域教育
今回の長期進行計画に合わせたキャッチコピーの応募に関して、大変前向きであった中学生の姿があった。青木村についてもっと学びあう機会を保護者とともにつくっていく。そのためにもフォーラムを今後も大事に位置づけたい。	学校教育／家庭教育

○人柄・地域特性

内容	関連分野
人材教育	多分野関係
高齢者等（ボランティア）がどんどん保小中に集い、一緒に活動する。	高齢者対策／地域教育
コロナ禍で2年間実施ができずにいる「アイリスセミナー」を来年度以降は実施するとともに、中学校における「総合的な学習の時間」に「ふるさと青木村」について学ぶことを改めて位置づけ、青木村のよさや課題について生徒の視点から考えられるようにし、発信していく場をつくっていく。	学校教育／地域教育
温かい心のかい合う身も心も豊かで活力ある村づくりに 今行っているような村長が各地区をまわって村民と車座集会を3年に一度くらいはと思います。	行政サービス
青木村村民憲章を各家庭に配布する。	地域教育

○インフラ・生活

内容	関連分野
企業誘致	工業／商業
良好な沿道の景観づくり	道路／景観育成
主要幹線道路の整備(道端の除草、植栽)をし、通り過ぎるだけの車や人にもきれいな村だと印象付ける。	道路／景観育成
移住希望者増加への取り組み ①リモートワークによる在宅勤務推奨（既存インフラの PR）	移住・定住

○行政

内容	関連分野
行政施策のさらなる PR、読みやすいわかりやすい広報、施策を自治会に浸透させる方法を検討	行政サービス
保健補導員の健康 PR 活動の充実→村の健康問題を住民に知らせ疾病予防活動を充実し医療費を減らし国保税の削減等に関与する	健康管理／社会保険制度

○その他

内容	関連分野
農林業等の新規就業者の受け入れ体制の強化（企業支援、研修、情報発信）	農業
青木の森別荘の活性化対策（移住促進、雪道改善、デマンドバスの充実、情報発信）	移住・定住 道路 公共交通
人口増促進（とくに若者）	移住・定住
女性が活躍できるよう配慮する。	男女共同参画
世界の流れの先端をいく（環境・SDGs など）	多分野関係

④ 青木村の「弱み」

○人口減少・少子高齢化

- ・人口の減少　・働き手の減少　・若年層の村外流出　・若者の村外転居　・子どもが少ない
- ・子どもが減少している＝子育て世代が少ない＝若者が少ない　・独身の男性が多い
- ・高齢化率が高い　・空き家が多い　・空き家の増加
- ・Iターン、Jターンの受け入れが不足、受け入れ体制が整っていない

○PR 不足・活用不足

- ・青木村の素晴らしさ、よさがまだまだ十分に他の地域の方々に認知されていない部分がある
- ・魅力的な村（アピール不足）
- ・青木村がどこに位置しているのかあまり知られていない
- ・温泉施設が活かされていない。また、PR 不足　・自然環境を活かしていない
- ・産業の振興が遅れ豊かな地域資源、観光資源を活かしきれていない

○教育・人材育成

- ・親子関係や乳幼児期の子育てに行政がかなり関わる比率が高い。親教育も必要？
- ・素直すぎて、自己主張ができにくい。指示待ちになることが多く、主体性にかける生徒が多い。
　人の眼を気にしすぎてしまうことが大人も多いのではないか。（コロナ禍にあって、とくに自覚させられた）
- ・女性の方が村政等に積極的に関わろうとしない→差別意識がまだ残っている
- ・公民館活動で自主社会教育活動が少ない　・生涯学習の機会が少ない

○雇用・収入所得

- ・働く場が少ない　・高齢者の働き場が少ない　・住民所得の高低
- ・援助費や保護家庭等の多さ（財政難になるのでは？）　・特産品の開発が少ない
- ・村の若者たちの活動が、村の産業として成り立っていない（とくに女性）

○商業・買い物

- ・買い物弱者　・ちょっと買い物をしたくても店がない。ホームセンターのような
- ・村内にスーパーマーケットやホームセンターが無く、買い物が不便
- ・スーパー（商店）が少ない　・飲食店が少ない　・夜ご飯を食べられる飲食店が少ない

○農業

- ・耕作放棄地の増加（山間部の荒廃）　・農業後継者の不足　・農業者の高齢化
- ・荒廃農地が拡大している　・獣害被害の増加（獣害増加）

○交通

- ・交通不便　・交通事情が悪く、行き止まり感がある　・郡境の道路が狭く、交通状況が悪い

○その他

- ・傾斜地形があり危険　・医療機関が少ない　・総合病院がない　・高校生の通学条件が悪い
- ・主要幹線道路の雑草が目立ち、寂れている感がある　・観光施設が少ない
- ・青木村の特産物を気軽に買いたい

⑤ 「弱み」を克服するにはどんな取組が必要か？

○人口減少・少子高齢化

内容	関連分野
子どもたち、老人には住みやすい村ではあるが、若者に居住してもらえるメリットの強化に力を入れるべき	多分野関係
竹内製作所に次いで、もっと多くの企業の誘致を行い、労働者の地元採用を進める。（若者の雇用を増やすことで、定住者が増えるのではないか。）	雇用／工業／商業
青木村独自の若者への建売住宅販売	住宅
住宅団地の造成	住宅
空家の有効活用と人口減少歯止め策の模索 ① リノベーションによる魅力ある古民家の再生 ② 一気通貫体制構築による移住者受入れ体制の強化	移住・定住
Uターン、Iターンの若年層の受け入れ態勢の強化。働き場所の確保。起業の補助。	移住・定住
空き家、空き家バンクの有効活用	移住・定住
若者が住みやすい村（集い合える居場所がほしい）	地域活動
老後、安心して住める住宅が必要（サ高住など）	高齢者対策

○PR 不足・活用不足

内容	関連分野
もっと、青木村にしか出来ない魅力を作りアピールポイントとして、PRしていく必要がある。	多分野関係
現在も率先して行われているように、マスコミを活用した広報活動の継続や発信。	多分野関係
発信力の充実	多分野関係
特産品や観光地としての更なるアピール。	観光
位置のPR（上田駅まで〇〇分、松本空港まで〇〇分など）	観光 移住・定住
温泉熱の利用、足湯の設置	観光 地球環境保全
温泉地の高付加価値化（藤村文学、野生サトイモ、ホテル、東山道散策、ワーケーション）	観光
観光立村として商工観光課の強化	観光

○教育・人材育成

内容	関連分野
親カフェのような場所を作り、気軽に語り合えるようにする	子育て支援
子育て支援センターの設置	子育て支援
「トライ&エラー」を存分に時間できるように、今まで以上に失敗が許される温かい周り、地域の意識の醸成。	地域教育
五島慶太などの学習を通して、改めて「義民の精神」について学び、それを体現していく子どもや大人であるという誇りをもちたい。	生涯学習
女性が力を発揮できるよう様々な面で配慮する	男女共同参画
男女もそれぞれが持てる能力を発揮できる社会教育（講座・各区での啓発活動など）を充実させる。	社会教育
五島慶太生誕地を記念した定期講演会（地域づくりの専門家）	生涯学習

○雇用・所得収入

内容	関連分野
優秀な企業誘致	工業／商業／雇用
シルバー人材センターとの連携強化	高齢者対策
高齢者が培った経験を活かすための事業の仕掛け	高齢者対策
若い女性達の活動が産業化できる方法を探る（女性の会のグループが大豆を育てみそを作っているが販売までいかない。商品化できる支援をすることが大切だと思う）	農業
農林業の6次産業化（食の安全、有機農業、特産品開発）、大学との連携強化	農業
援助費等はしっかり精査する。	子育て支援

○商業・買い物

内容	関連分野
買い物弱者が出ないようスーパー等を作る	商業／消費者保護
移動販売車を運行する。一般のお店とも連携して、食料だけでなく様々な物が買えるようになるとうい。(移動販売車（青木村の特産物を含め）と企業のマイクロバス販売などを組み合わせるなど)	商業／消費者保護
道の駅へミニ「ツルヤ」誘致／国道 143 号沿いに商業施設の誘致	商業／消費者保護
宅配スーパーの普及	商業／消費者保護

○農業

内容	関連分野
農地の借り上げによる農業法人の設立／農業所得の増加対策／新たなブランド品の創生	農業
荒廃農地の解消策の一つは金儲けのできる事業仕掛けが前提条件、そのための事業仕掛けが必要	農業
耕作放棄地の有効活用（太陽光、風力、バイオマス、小水力などの再生エネルギー開発等）	地球環境保全
人材育成（就業－生産・販売－消費までをコーディネート）	農業
宿泊体験型農・林業従事プログラムの取り組み強化 ① クラインガルテン的な取り組み（既存宿泊施設との効果的コラボ） ② オーナ制的な成果物育成体験メニュー策定（自分で作る自分のワイン、種々農作物の育成・収穫、山菜の収穫）	観光
駆除獣害の有効活用 ①猟友会との連携強化によりジビエブランドの確立を図る。	農業

○交通

内容	関連分野
国道 143 号の青木トンネルの早期開通と開通後の対策。	道路
地域医療の充実（訪問診療）	地域医療体制

○その他

内容	関連分野
土砂災害特別警戒区域内の住宅地を保護、ダムの洪水調節	治山・砂防・治水
生活に必要な資源（病院・商店・職場・交通）環境の整備	移住・定住
青木村のメイン通り（主要幹線道路）の環境整備等	道路／景観育成
143 号トンネル道路の環境保全（土捨て場）と環境創出（桜並木等）の検討	景観育成／生活環境保全

（２）青木中学校生徒への意見募集（キャッチコピー）

ID	キャッチコピー	キャッチコピーの意味・考えた理由など（要約）	抽出キーワード・フレーズ
1	豊かな自然、みんなから親しまれる青木村	村の豊かな自然と観光客から親しまれるような思いを込めて	豊かな自然、親しまれる
2	郷（ふるさと）めぐり青木村・伝説とふりかえり見る国宝	青木三山にまつわる伝説や、国宝大法寺三重塔、日吉神社、温泉など巡れる資源があるから	郷（ふるさと）、伝説、国宝
3	来なよ！青木村 ～住みやすい村づくりで新しい未来へ～	新しい村づくり、新しい時代をつくってくれる人へ向けて考えた 来てくれればよい未来が待っているよという意味で	住みやすい、新しい未来
4	笑顔が多く優しい青木村	いじめがなく、みんなが笑顔で過ごせる村になってほしいから	笑顔、優しい
5	新しい青木村でのびのび暮らそう	トンネルができて新しくなるのはよいけど、自然環境（緑）や安全性は大事にしてほしいから	新しい村、のびのび、暮らす
6	明るい!!子どもが元気な青木村	青木村の子どもは明るくて元気なので、もっとたくさんの子どもの来てくれると高齢化問題も解消されるから	明るい、子ども、元気な
7	未来へはばたく青木村	未来に向けて、青木村から全国、世界へはばたいってほしいから	未来、はばたく
8	お互いを尊重し、笑顔あふれる青木村	移住者を気持ちよく受け入れながら、笑顔がすてきな青木村でいたいから	尊重、笑顔あふれる
9	新・青木村 自然のなかで楽しく暮らそう	新しい工場やトンネルができて新しい青木村になっても、きれいな自然のなかで楽しく暮らせるように	自然、楽しく暮らす
10	観光ができる New 青木	観光スポットをもっと増やし、リニューアルもしてほしいから	観光、New
11	青木村！みんなで造る未来	未来に向けて、村民みんなで村づくりをしたいから	未来、みんな
12	平和の青木 元気になるろう	コロナをなくして、元気になるたいから	平和、元気
13	新・青木村！～楽しく、豊かな、青木村～	新たな温泉施設をつくって、観光客を増やし楽しく、豊かになってほしいから	新、楽しく、豊かな
14	自然豊かな青木村	自然豊かな村であってほしいから	自然、豊かな
15	新しい青木にリニューアル！～楽しく、にぎやかな青木村～	宿泊施設などをたくさん建てて、観光客や移住者を増やして、楽しくにぎやかな村にしたいから	新しい、リニューアル、楽しく、にぎやか
16	自然豊かな村	青木三山に囲まれて自然豊かだから	自然、豊かな
17	自然が豊かな青木村！	自然豊かで緑がきれいで、作物がよく育つから	自然、豊かな
18	充実した生活を！ ～美しい風景と豊かな自然～	きれいな場所がたくさんある青木村で充実した生活を送りたいから	充実した生活、美しい風景、豊かな、自然
19	自然がいっぱい青木村	植物でたくさん植えると、自然豊かで空気がきれいな村になるから	自然がいっぱい
20	楽しい明るい青木村	青木村に楽しさと明るさがないから	楽しい、明るい
21	楽しい明るい 青木村	青木村に楽しさと明るさがないから	楽しい、明るい
22	緑に囲まれていて空気がきれいで山が３つある青木村	緑がたくさんあり、自然豊かで空気がきれいな村だから	緑、きれいな空気、3つの山
23	未来へ、歴史、文化、自然を守る青木村へ	自分の故郷を大切にしてほしいから	未来、歴史、文化、自然
24	大人も子どもも笑顔で暮らせる青木村	みんなが笑顔で幸せに過ごせる村になってほしいから	笑顔、暮らし
25	緑豊かな青木村～たくさんの自然に親しめる！～	青木村の豊富な自然をいつまでも残したいから	緑豊か、自然、親しむ
26	子どもたちに住み続けたいと思える村を目指して	子どもたちが大人になっても住み続けたいと思える村になってほしいから	子ども、住み続ける
27	青木村の豊かな自然に感謝！	自分たちが生きられるのは青木村の豊かな自然のおかげで、感謝するべきと思ったから	豊かな自然、感謝
28	自然・文化・歴史を愛せる青木村	人口が増えても緑は減らさず、将来に文化や歴史を伝えていきたいから	自然、文化、歴史、愛せる

ID	キャッチコピー	キャッチコピーの意味・考えた理由など (要約)	抽出キーワード・フレーズ
29	公園にお花畑を作ってほしいです	花がある公園ならもっと楽しめるから	公園、花畑
30	美しい緑があふれる 青木村!!	たくさんの美しい緑を未来に残してほしいから	美しい緑、あふれる
31	施設を増やして村の人口を増やしたい	人口と建物が増えれば村が栄えるから	施設、人口、増やす
32	青木村トンネルづくりはげんでます	早くトンネルでできれば、コロナが収まった後にすぐ出かけられるから	トンネル、励む
33	青木村に広がる満天の星空と満点の笑顔	星空がきれいで、村民の笑顔があふれるように	満点の星空と笑顔
34	みんながやさしい青木村	みんなが親切な村であってほしいから	みんな、やさしい
35	工業発展と緑、交流あふれた青木村	新トンネルで交流にあふれ、工場ができて発展しながら、いまある自然も残してほしいから	工業発展、緑、交流
36	すべての人で自主的に協力できる青木村	みんなが自主的に協力できる村であってほしいから	自主的、協力
37	コロナで生活が変わっても、昔から変わらない青木村の自然	コロナで日常生活が変わっても、青木村の豊かな自然は変わらないから	コロナ、生活、変わらない自然
38	緑に囲まれていて、3つの山に囲まれている 自然が豊かで空気がきれいな青木村です	自然に恵まれ、山もきれいで、空気もきれいだから	緑、3つの山、自然、豊か、空気、きれい
39	未来へつなごう！青木村 自然豊かな力強い義民の郷（さと）	コロナ禍で先行きは見えないが、豊かな自然と力強い義民の心は未来につなげたいから	未来、つなぐ、自然豊か、力強い、義民の郷
40	大人も子どもも笑顔あふれる青木村	誰もが笑いあえる青木村であってほしいから	笑顔、あふれる
41	平和で長生き青木村	事件、事故のない平和な青木村で、みんな長生きしてほしいから	平和、長生き
42	ずっと住みたい！全年齢層に愛されて、緑香り平和で景気のよい郷	日本一住みたい田舎に選ばれたことがあり、緑も豊かで澄んだ空気の平和な村で、世代を超えて愛され、新しい工場もできて景気もよくなるという思いを込めて	住みたい、みんな、愛され、平和、景気、郷
43	郷土愛 自然の豊かな郷	住民が自分の郷土を好きだと言って、来訪者には自然豊かでリラックスできると言われたら素敵だから	郷土愛、自然、豊か、郷
44	村は小さいけれど、心は大きい青木村	村民みんな心が大きくて優しいから	心が大きい
45	～自然豊かな青木村～	自然が豊かで、緑が多く、これからさらに緑が増えて、豊かな自然が続いてほしいから	自然豊かな
46	青木三山と義民の郷（さと）青木村	シンボリックな存在だから	青木三山、義民、郷（さと）
47	目指そう いまよりももっと明るい青木村	今よりももっと明るくなればよいと思ったから	もっと明るい
48	ぜひ食べたい！青木村タチアカネ蕎麦	タチアカネ蕎麦がおいしいから	タチアカネ蕎麦
49	緑豊かで住みやすい村 青木村！	自然豊かだから	緑豊か、住やすい
50	過去から未来をつなぐ駅 青木村	青木村には昔駅があったことにちなみ、五島慶太さんのように未来を考える村であってほしいから	過去から未来、つなぐ、駅
51	豊かな自然 住みやすい村	平和で安心して住める村で、自然豊かだから	豊かな自然、住みやすい
52	目指そう いまよりももっと豊かな青木村	今よりもっと豊かな青木村であってほしいから	豊かな
53	いまよりも自然豊かな郷をめざして	森などの自然をいまよりきれいにして自然豊かな郷と思える村を目指したいから	自然豊かな、郷

ID	キャッチコピー	キャッチコピーの意味・考えた理由など (要約)	抽出キーワード・フレーズ
54	明るい未来をめざして	今よりもっと明るい未来にしたいから	明るい、未来
55	明るくてコロナにも負けない村	コロナも明るく乗り越えたいから	明るい、コロナに負けない
56	うまい水 うまい蕎麦 うまい空気 木霊あふれる豊かな郷 青木村	都会から来た人が空気や水においしいと言われたから 蕎麦が美味しいし、青木村の山々が四季折々に都会では見られない美しさを見せてくれるから	うまい水、うまい蕎麦、うまい空気、木霊、豊かな郷
57	タチアカネそばおいしい青木村	おいしいから	タチアカネそば、おいしい
58	すごいよ！住みたい田舎日本一	住みたい田舎で、日本一になったのはすごいと思ったから	住みたい、田舎、日本一
59	夢と希望とともに明るい郷（ふるさと）を目指して	子どもたちの希望と夢で明るい青木村を目指して実現させたいから	夢、希望、明るい郷（ふるさと）
60	ガンバレ！青木村 災害に負けぬ強い郷（さと）	台風やコロナに負けない強い村であってほしいから（応援の意味を込めて）	ガンバレ、災害に負けない、強い郷（さと）
61	ストップ高齢化！活気ある青木村へ	もっと活気ある村になってほしい いつまでも村であってほしい	活気
62	がんばれ 青木村	いろいろやばいから	がんばれ
63	温泉と緑に心やすらぐ自然あふれる青木村	疲れたときに青木村に来て、青木三山の緑と温泉で心を休めてほしいから	温泉、緑、心やすらぐ、自然あふれる
64	届け私たちの声！目指せ住みよい田舎	村民の声を聞いて、いまより生活が豊かで（村内で飲食や日用品がまかなえる）便利な村になり、10年後も美しい自然は残っていてほしいから	届け、声、住みよい、田舎
65	保小中そろった子育てしやすい青木村	村で保・小・中が揃っているいるのは珍しく、そのことをみんなに知ってほしいから	保小中そろった、子育てしやすい
66	青木村で生きる！	住みやすい青木村で一生を生きたいから	生きる
67	青木村、のどかな自然と緑あふれる郷	緑が多く、いつも平和だから	のどかな自然、緑、あふれる、郷
68	第2の首都「青木」	繁栄を意味して	第2の首都
69	あったかい人 おいしい食べ物 きれいな自然	あおきの頭文字によいところをぎゅっとまとめて作文	あったかい、おいしい、きれい、自然
70	毎日が、笑顔とあいさつで満ちあふれている青木村	毎朝登校で、色んな人があいさつを返してくれるよい気持ちを表現して	毎日、笑顔、あいさつ、満ちあふれて
71	～青木村から繋ぐ未来へ～	将来、オリンピック選手が村内からたくさん出るくらい子どもたちを支える村になってほしいから それにより青木村の認知度が上がり、移住につながりそうだから	繋ぐ、未来
72	輝く！青木村	コロナに負けずに 自然が輝く村にしたいから	輝く
73	自然がいっぱい温かい郷 青木村	青木三山など自然が豊かで、村の人が優しいから	自然がいっぱい、温かい、郷
74	澄んだ空気と緑がかおる郷（ふるさと） 青木村	きれいな空気と一面に広がる自然を感じてほしいから	澄んだ空気、緑かおる郷（ふるさと）
75	みんなで創る、笑顔あふれる青木村	大変なことが多いが、村民みんなで助け合って明るい村にしたいから	みんな、創る、笑顔あふれる
76	活気あふれる青木村へ！	人がたくさん住んで、活気あふれるまちになってほしいから	活気あふれる
77	村民でウイルスを防ごう 青木村	村民が協力して、新型コロナを防がないといけないと思ったから	ウイルスを防ぐ
78	笑顔たえない 自然豊かな村を創ろう	何年たっても豊かな自然であふれ、みんなの笑顔があふれる村になってほしいから	笑顔たえない、自然豊かな、創る
79	Aoki is perfect village	青木村は完璧な村だから	パーフェクト
80	子どもとお年寄りまで笑顔たえない義民の里、青木村	みんながよりよい環境を目指して、義民の心を忘れない村にしたいから	笑顔たえない、義民の里

資料5 パブリックコメント

① 第6次青木村長期振興計画（案）に係る意見公募（パブリックコメント）手続実施要綱

○ 計画等（案）の名称

第6次青木村長期振興計画（案）

○ 実施の目的

村の将来の方向性を示す、第6次青木村長期振興計画策定にあたり、広く村民のみなさまからご意見をいただき、策定作業の参考とさせていただきます。

○ 第6次青木村長期振興計画（案）の閲覧方法

- ・村ホームページ（http://www.aoki.nagano.jp）
- ・役場総務企画課（コロナ感染症の状況から郵送による素案の送付も可能ですのでご相談ください。総務企画課にてご意見提出用紙を用意しています。）

○ 意見等の提出期間

令和4年1月28日（金）～令和4年2月10日（木）

○ 意見の提出方法

- ・郵便による送付
（〒386-1601 青木村大字田沢 111 番地青木村役場 総務企画課 事業推進室）
- ・ファクシミリによる送付 FAX49-3670
- ・電子メールによる送付（E:mail:somu@vill.aoki.nagano.jp）
- ・役場に直接提出（コロナ感染症の状況からできるだけ上記の方法で提出してください。）

○ 意見を提出できる方

青木村にお住まいの方

○ 提出された意見の公表

お寄せいただいたご意見は、住所・氏名などの個人情報除き、類似のご意見などは集約させていただいた上で、村ホームページで公表いたします。なお、意見提出者への個別の回答はいたしませんのでご了承ください。また個人情報については他の目的で使用することはありません。

ID	キャッチコピー	キャッチコピーの意味・考えた理由など （要約）	抽出キーワード・フレーズ
81	日本一住みたい村を取り戻せ!!	日本一住みたい村ランキング1位の座を奪われてがっかりしているから	日本一、住みたい、取り戻す
82	あ 明るく お 穏やかで き キレイな郷(さと) 青木村	青木村の頭文字から、村民が明るく、穏やかで、きれいな村づくりに心がけられるように	明るい、穏やか、キレイな郷（さと）
83	よってらっしゃい！青木村 そばと温泉が薫るやすらぎの郷	おいしいタチアカネ蕎麦と源泉かけ流しの温泉で癒されてほしいから	よってらっしゃい、温泉が薫る、やすらぎの郷
84	緑豊かな歴史あふれる村	遺跡や古墳、三重塔などの歴史があり、森林も豊富だから	緑豊か、歴史あふれる
85	おいでよ！青木村！ 青い空、深い緑の木々の郷（さと）	自然豊かな青木村に住んでほしいから 住みたい田舎日本一にも選ばれ、ふるさと公園あおきやリニューアルされた道の駅あおきがある青木村にどんどん来てほしいから	おいでよ、青い空、深い緑、木々、郷（さと）
86	青木のたえぬ笑顔と郷土愛を	人に優しく笑顔で、将来も郷土愛のある人になってほしいから	たえぬ笑顔、郷土愛
87	歴史の村 ～いい文化はいつまでも～	義民太鼓、伝統芸能、三重塔など他にはない誇れる歴史があるから	歴史、いい文化、いつまでも
88	あおきむらって知ってる？	青木村には有名なもの（歴史的建造物、食べ物、人物）をたくさんことを知ってほしいから	知ってる？
89	伝統を守ろう 青木村の伝統芸能	これからも青木村の伝統芸能を続けてほしいから	伝統、伝統芸能
90	義民の心が根づく 緑あふれる青木村	村民が義民の心を知り、それが根づいてほしいから 青木三山や緑に囲まれているから	義民の心、根づく、緑あふれる
91	ありがとう！自然豊かな青木村	自然豊かな青木村を伝えたかったから ずっと自然を維持してほしいと思ったから	ありがとう（感謝）、自然豊か
92	緑いっぱい笑顔いっぱいの村へ	いまよりもっと緑を増やせば空気もきれいになって、笑顔も絶えなくなってよいと思うから	緑いっぱい、笑顔いっぱい
93	守ろう郷土 受け継ごう伝統	義民太鼓などの伝統を絶やず、後世に伝えたいから	守る、郷土、受け継ぐ、伝統
94	やっぱり青木村 田舎だけど田舎じゃない！	田舎でもコンビニや公園があって便利で、田舎過ぎないことを伝えたいから	田舎だけど田舎じゃない
95	タチアカネを世界へ	日本食文化が好まれている外国に、タチアカネを売り込み、お金を稼いで、タチアカネを有名にしたいから	タチアカネ、世界
96	タチアカネを未来へ	タチアカネ蕎麦を未来に残して、色んな人が食べられるようにしたいから	タチアカネ、未来
97	未来を作る青木村	新しいトンネルや工場ができて、未来が楽しみだから	未来を作る
98	東急グループ創始者五島慶太がふんだ地	五島慶太が有名だから	東急、五島慶太

② 提出された意見の内容とその対応

	意見の内容	対応
1	難しい用語が多いので、図等を活用して全体の流れがわかりやすく表示してください。	ページ毎に用語解説を掲載しました。
2	写真が古いので、コロナ等でイベントがなかったかもしれませんが、新しいものにしてください。	全体を通して写真の見直しを行いました。
3	6つの重点プロジェクトと基本計画の6つの分野のつながりは？	基本計画の6つの分野は村の施策すべてを網羅的かつ包括的に記載したものになります。一方、6つの重点プロジェクトは村の施策の中でもとくに重点的に取り組む必要があるものを抜き出し、分野横断的に戦略化したものになります。
4	計画体系図のプロジェクトの目標と2.基本構想 第2章に記載されているプロジェクトの目標の整合がとれていない。	ご指摘のとおり、修正しました。
5	青木村の概況の地図に夫神の地名がないので記載してほしい。また、地図が全体的に見難い。	ご指摘のとおり、修正しました。
6	分野6②住民サービス・行政事務にDXやマイナンバーの記載がない。	新たに「マイナンバーカードの普及に努め、DXに対応した行政サービスの提供」を追加しました。
7	「基本理念」の策定をお願いします。 （１）そもそも「理念」に基づかない政策や施策などあり得ません。 青木村の村造りのために「基本理念」を策定し内外に発表すべきです。今回の第6次長期振興計画でもこのことの記述は見当たらないので、改めて申し上げる次第です。 北村村長の比類なき精力的活動とその実績には、心から感謝しておりますが、村造り政策の基本とする考え方は理解し難いです。 村長は青木村の理念は「村民憲章」であって、私とは見解の相違だと常々言われています。 （２）「基本理念」と「村民憲章」は異なる概念です。 昨年の気候非常事態宣言、村の長期構想、大型企業の誘致、キャッチコピーの小さなことなど、これらが必要で重要であることは理解して賛同いたします。 しかしこれら世界規模の宣言や施策、村の将来を考えるアイデアの募集などのテーマは、村長の理念であるという「村民憲章」のどの部分に基づいて発せられるのでしょうか。私ならず誰でも理解に苦しみます。 その訳は村民憲章は日常活動で留意すべき村民の「行動規範」であって、村政の基本的考え方や政策の基盤である「基本理念」ではないからです。「基本理念」は「村民憲章」の上位にあたる異なる概念で、見解の相違ではありません。 （３）「基本理念」の意識は村民の心に潜在しています。 上述の宣言や諸政策などに村民の理解や協力が得られるのは、村を将来このようにしたい、実現してほしいと期待する村の姿をみんながイメージしているからです。それならイメージする将来の村造りを目指して進むために基本的な考え方精神や姿勢など大事な要点を言葉でまとめようではありませんか。 政治や宗教に偏らない普遍的信念や考え方を胸張れるメッセージに集約する、それが基本理念です。ここから政策施策が生まれ住みよい村造り人作りに繋がっていきます。この基盤を策定することが、私たち世代の役割ではありませんか。 （４）基本理念を発信して村の存在を熱く広くアピールしましょう。 義民、一揆の歴史や偉人の輩出を誇示しても、将来にむけた考え方、信念や姿勢を問われて返答に窮すようでは、義民は負の残像になり元気がない過疎の一村になりかねません。 安易なキャッチコピー、フレーズの虚飾や独り歩きは、村の鼎の軽重を問われます。何も見えない村のホームページ、アピールは何なの？、	本計画は、村民の皆さまからいただいたご意見をもとに定めたキャッチフレーズ「明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村 ～人と自然と産業が融和した豊かな郷～」のとおり、「ひと」の豊かさやつながりを中心にしながら、村の豊かな自然と、村が育む産業と融和させて、村づくりを進めていくことをコンセプトにしています。

	意見の内容	対応
7	先に進もうと思いますか。？ おおー！、なるほど！、と眼を見開き唸らせる「これが青木村だ！」という存在感あるメッセージを入れようではありませんか。 義民末裔の不屈の信念、勇気、将来に向けた熱き気概を広くアピールして若者を呼び込み、村造りをしようではありませんか。	
8	「村歌 常盤のみどり」の放置不作為は看過できません。新規創作がぜひ必要です。・「常盤のみどり」に代わる村歌の新規創作がぜひ必要です。・村の風景や歴史、誇り、心、絆などの詞に、活力と勇気や希望が湧き、慰め癒し、望郷が滲む旋律の誰でも歌える新しい村歌を創ろうではありませんか。	長期振興計画に直接関わる内容ではありませんので、ご意見の一つとして今後検討いたします。
9	「気候非常事態宣言」「脱炭素社会」へ積極的取組み、をお願いします。 （１）太陽光発電リスク回避のために設備設置に厳しい基準を作るのは、村人の生産意欲を失し後継者のUターンする道を塞ぐことになります。 （２）苦労と時間をかけても関係者の理解を得て、荒廃が進行する中山間地の太陽光発電と地元の農業の共立を目指す地域振興をぜひ積極的に推進願います。 （３）気候変動の非常事態は子供や孫たちの時代には、毎日が想像を絶する環境になることを身近な具体例で説明して、その回避のための方策、努力や発想の転換を今から村民に積極的に求めなくて間に合いません。そのためには文化や生活様式は違っても国内外の脱炭素活動や生活を紹介して、村民に理解いただくことも重要です。 （４）同時に行政自身が意識や行動を大胆に転換する勇断が必要です。	脱炭素社会（ゼロカーボン）への対応は、村だけでなく世界的な課題であるため、1.序論 第1章（２）「時代の潮流・社会の要請」に現状や課題について記載しました。今後の村づくりにおいても、幅広い分野において脱炭素社会の実現を意識した施策の展開に努めていきます。

資料6 各団体等からのご助言・意見聴取

内容	ご助言団体等
○重点プロジェクト6 関係・交流人口拡大・創出による村づくりプロジェクトについて―当面はコロナの感染状況により、事業が計画したとおりの実施が難しいことが予想されるので、VR技術やWeb会議などを活用して、交流が定期的に行われる事業展開も検討してください。最も身近な東急グループの上田電鉄別所線と一緒に行う事業展開を期待しています。	東急グループ
○重点プロジェクトについて―国道143号新トンネルを早期に実現して、松本との交流を含めて、地域の活性化を。農業基盤をしっかりとさせて、青木村らしい特産品の育成を進めてほしい。免許返納による高齢者について、デマンドバスの更なる充実を進めて、買い物困難者などをなくしてほしい。女性の能力を活かした地域活動を推進し、区の役員など積極的に女性を登用する環境を整えてほしい。	女性の会 女性団体連絡会
○重点プロジェクト3 産業を育む村づくりプロジェクトについて―村外や県外からの新規就農者の確保。クラインガルテンの創設。永住型新規就農者の確保。空き家と農地をセットにした移住施策の展開。タチアカネ蕎麦のブランド化の推進。	県農業共済組合
○重点プロジェクト4 健康で元気な村づくりプロジェクトについて―摂食機能の低下防止。全身フレイルとオーラルフレイルは大いに関係があります。全身フレイルを防ぐには、オーラルフレイルを防ぐ取り組みが必要かと思います。胎児期、乳幼児期の歯の知識の普及。歯の出来る時期の歯の出来方について、もっと知識を得られる取り組みが必要かと考えます。	宮原歯科医院長
○重点プロジェクト3 産業を育む村づくりプロジェクトについて―機械作業受託組合の田んぼの草刈り支援市場の創設。遊休・荒廃地の復元策と導入作物の調査振興。タチアカネ蕎麦の生産安定対策の構築。	村農業委員長
○重点プロジェクトについて―道の駅あおきの施設の充実（駐車場の拡充、足湯やコインランドリーの事業検討）。岡石工業地工場操業開始に向けて、営業時間延長の検討、食品類の販売充実、社員食堂への食材の提供。国道143号新トンネル開通にむけて、イベントの充実、惣菜部門の充実、インターネット販売の開始、新規出荷者の創出。	道の駅あおき
○重点プロジェクト4 健康で元気な村づくりプロジェクトについて―コロナ感染症の対策として、青木診療所はバリアフリー環境や正面玄関の自動ドア化や発熱外来の設置など、受診しやすい環境を整えてきました。今後も村内の医療のニーズに対応するため、村の関係機関と協力して、医療の提供をしてまいります。	青木診療所長
○重点プロジェクト5 小・中2クラス化・次世代を育てる村づくりプロジェクトについて―現在、全国的に子どもの人口が減少している状況の中、不登校やいじめの問題に加え、貧困や虐待、発達障がい、ヤングケアラー等、新たな課題も明らかになってきている。学校教育においては、教員の働き方の問題を背景に、教員志望者の減少も課題になっている。こうした現状を踏まえると、重点プロジェクト5重点施策で示されている「子育て環境の充実」は、保護者が安心して仕事も子育てもできる生活環境を整えることであり、子どもの主体的な育ちを支えるという面で重要である。また、「青木村ならではの教育の充実」として示されている「保小中一貫教育」「地域内外との連携」「既存施設の活用」も、多様性のある子どもの実態に柔軟に対応するための具体的施策につながるものとして期待できる。さらに、分野4については、村民が、学校教育はもちろん、保育、家庭教育、社会教育という生涯を通して学び続ける機会を保障するという意味において重要な計画が示されている。とくに、学校教育においては、すべての子どもについて個々の能力を伸ばす教育が展開されなければならない。国は、小学校の学級定数を35人とする決め、推進しているが、小学校低学年では、より少人数の学級で複数の教員が指導に当たることができる体制を作る、あるいは思春期を迎える中学校の段階では、カウンセラー等の心理の専門家が具体的に介入できる場面を拡充するなど、青木村独自の大胆な施策もぜひ視野に入れ検討してほしい。このことは、教員の働き方の改善にも影響し、学校を活性化すると考える。SDGsの観点からも、村民一人ひとりが生きがいを持って、幸せに生きることにつながる、様々な学びの機会が保障されるよう、一層の具体的計画を期待したい。	信州大学学術研究院 総合人間科学系 教授 庄司和史先生

【役場庁内 策定体制】

第6次青木村長期振興計画企画委員会名簿

（総括）	総務企画課長	片田 幸男		
	教育長	杓掛 英明		
	税務会計課長	多田 治由		
	商工観光移住課長	花見 陽一		
	建設農林課長	稲垣 和美		
	住民福祉課長	小根沢義行		
	教育委員会次長	宮下 剛男		
	企画員	塩澤 和宏（総務企画課 事業推進室長）		
	企画員	山田 佳代（総務企画課 企画財政係 主任）		

第6次青木村長期振興計画策定委員会名簿

（総括）	片田 幸男	杓掛 英明	多田 治由	花見 陽一
	稲垣 和美	小根沢義行	依田 哲也	奈良本いずみ
	早乙女 敦	高柳 則男	清水 真巳	上原 博信
	小林 義昌	横沢 幸哉	小山 明之	奈良本安秀
	増田 憲寛	宮下 剛男	金井 大介	成沢 亮子
	小林 利行	小林 宏記	宮澤 俊博	塩澤 和宏
	山田 佳代			

村づくり重点プロジェクト戦略策定チーム

- プロジェクト1 ～コロナの克服と災害等に強い村づくり～
◎総括 危機監理官 多田 治由 ●策定リーダー 奈良本安秀
- プロジェクト2 ～国道143号整備促進・活用した村づくり～
◎総括 建設農林課長 稲垣 和美 ●策定リーダー 小林 義昌
- プロジェクト3 ～産業を育む村づくり～
◎総括 商工観光移住課長 花見 陽一 ●策定リーダー 上原 博信
- プロジェクト4 ～健康で元気な村づくり～
◎総括 住民福祉課長 小根沢義行 ●策定リーダー 高柳 則男
- プロジェクト5 ～小・中2クラス化・次世代を育てる村づくり～
◎総括 教育長 杓掛 英明 ●策定リーダー 宮下 剛男
- プロジェクト6 ～関係・交流人口拡大・創出による村づくり～
◎総括 総務企画課長 片田 幸男 ●策定リーダー 塩澤 和宏



**明るい！ 優しい！ あったかい！
笑顔あふれる村づくり計画
（第6次青木村長期振興計画）**

発行年月 令和4年3月
発行 青木村
編集 青木村役場 総務企画課 事業推進室
〒386-1601
長野県小県郡青木村大字田沢 111 番地
電話：0268-49-0111（代） FAX：0268-49-3670
メール：somu@vill.aoki.nagano.jp

